

事業名：学校図書館事業

【事業番号 386】
 学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内公立小中学校の児童生徒

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	市内公立小中学校の児童生徒数	人	8,654	8,689	8,656	8,785
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

学校図書館の図書の新規購入・更新

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	図書購入冊数	冊	7,841	7,553	7,519	7,233
活動指標 2	環境改善にかかる費用	千円	1,103	1,064	1,052	1,144

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

学校図書館の蔵書の充実を図る。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	蔵書率	%	97.1	98.1	98.9	99
成果指標 2	学校図書館図書標準蔵書冊数達成校割合	%	48	60	76	80

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費 (A)		千円	14,714	14,655	14,669	14,418
正職員人件費 (B)		千円	3,052	3,044	6,084	6,148
総事業費 (A+B)		千円	17,766	17,699	20,753	20,566

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	図書及び書架の購入	・ 図書購入費	小学校 8,464千円 中学校 4,136千円
		・ 書架購入費	小学校 879千円 中学校 139千円

事業開始背景

学校図書館法に基づき、学校図書館の整備及び充実を図るため。

事業を取り巻く環境変化

平成13年12月に「子どもの読書活動の推進に関する法律」が制定され、地方交付税が措置されるなど、文部科学省も学校図書の充実を図っているところである。
 また、平成24年度からの新学習指導要領では、「調べ学習」を行う機会が増えるなど、学校図書の充実が従来以上に重要となっている。
 文部科学省は令和4年度においても、第6次「学校図書館図書整備5か年計画」を策定し、総務省では当該計画に基づき、学校図書室の円滑な整備が行われるよう必要な経費について地方交付税により財政措置を講ずることとしている（5年間で計2,400億円（年480億円））。そのため、江別市においても、この財政措置に合わせて、計画的に図書整備を推進していく。

令和4年度の実績による担当課の評価（令和5年度7月時点）

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	上がっている	理由根拠
	どちらかといえば上がっている	
	上がっていない	
蔵書率の低い学校に重点的に予算配分を行うことで、計画通り蔵書率を増加させることができた。また、蔵書率の増加に伴い、学校図書館図書標準蔵書冊数達成校についても増加となった。		
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	成果向上余地 大	理由根拠
	成果向上余地 中	
	成果向上余地 小	
段階的に蔵書率を増加させることができている。引き続き計画的に図書や書架の購入を行い、学校図書館の整備の充実を図っていく。		
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありますか？		
コスト	ある	理由根拠
	なし	
継続的に図書及び書架の購入は必要である。		

事業名：教育研究会事業

【事業番号 395】
 学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	団体運営補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別市教育研究会

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	教育研究会所属教員数	人	594	600	620	647
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき、江別市教育研究会が行う事業の経費の一部を補助する。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	補助金額	千円	4,008	3,925	4,362	5,000
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

教職員の資質を向上させるための研修会等を開催する。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	研修会等開催日数	日	87	87	97	69
成果指標 2						

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費 (A)		千円	4,008	3,925	4,362	5,000
正職員人件費 (B)		千円	763	761	760	1,537
総事業費 (A+B)		千円	4,771	4,686	5,122	6,537

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	江別市教育研究会に対し所要の経費を補助する。	江別市教育研究会補助金 4,362千円	

事業開始背景
教職員の指導力向上等のため、教職員の自主的な研究・研修などに対して補助を行っている。
事業を取り巻く環境変化
新型コロナウイルス感染症の影響により、研修会等の開催には制約がある状況だが、リモートによる活動を積極的に行うなど、教職員の資質を向上させるための研修を工夫しながら実施した。

令和 4年度の実績による担当課の評価（令和 5年度7月時点）				
成果動向及び原因分析	(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？			
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;"> <input checked="" type="checkbox"/> 上がっている <input type="checkbox"/> どちらかといえば上がっている <input type="checkbox"/> 上がっていない </td> <td style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">理由根拠</td> <td style="width: 60%; vertical-align: top;"> <p>会員が所属する各部門で研究や発表を行っており、様々な場面で活かされている。</p> </td> </tr> </table>	<input checked="" type="checkbox"/> 上がっている <input type="checkbox"/> どちらかといえば上がっている <input type="checkbox"/> 上がっていない	理由根拠	<p>会員が所属する各部門で研究や発表を行っており、様々な場面で活かされている。</p>
	<input checked="" type="checkbox"/> 上がっている <input type="checkbox"/> どちらかといえば上がっている <input type="checkbox"/> 上がっていない	理由根拠	<p>会員が所属する各部門で研究や発表を行っており、様々な場面で活かされている。</p>	
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？				
成果向上余地	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;"> <input type="checkbox"/> 成果向上余地 大 <input type="checkbox"/> 成果向上余地 中 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上余地 小 </td> <td style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">理由根拠</td> <td style="width: 60%; vertical-align: top;"> <p>教職員が課題研究や研究結果などの発表を行い、指導力向上に最大限務めているため。</p> </td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/> 成果向上余地 大 <input type="checkbox"/> 成果向上余地 中 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上余地 小	理由根拠	<p>教職員が課題研究や研究結果などの発表を行い、指導力向上に最大限務めているため。</p>
<input type="checkbox"/> 成果向上余地 大 <input type="checkbox"/> 成果向上余地 中 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上余地 小	理由根拠	<p>教職員が課題研究や研究結果などの発表を行い、指導力向上に最大限務めているため。</p>		
コスト	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;"> <input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> なし </td> <td style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">理由根拠</td> <td style="width: 60%; vertical-align: top;"> <p>研究活動項目が多岐に渡っており、コスト削減は難しい。</p> </td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> なし	理由根拠	<p>研究活動項目が多岐に渡っており、コスト削減は難しい。</p>
<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> なし	理由根拠	<p>研究活動項目が多岐に渡っており、コスト削減は難しい。</p>		

事業名：校外学習推進事業

学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育			戦略				
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

- ・スキー授業を受ける小中学校児童生徒
- ・ファースト・コンサート事業に参加する小学校児童数

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	スキー授業を受ける小中学校児童生徒数	人	5,733	5,140	6,100	5,202
対象指標 2	ファースト・コンサート事業に参加する小学校児童数	人	0	278	816	953

手段（事務事業の内容、手法）

- ・学校単位で行うスキー授業のうち、1回分のバス賃借料を負担する。
- ・ファースト・コンサートに参加するために、学校が借り上げるバス賃借料を負担する。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	借上したスキーバスの台数	台	153	141	165	163
活動指標 2	借上したファースト・コンサート事業のバス台数	台	0	10	24	32

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・スキー授業実施に係る保護者の負担軽減により、スキー授業の円滑な実施を図る。
- ・ファースト・コンサート参加に係る保護者負担を軽減し、参加を促進することにより、教育活動の充実を図る。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	スキー授業に参加した児童生徒の延人数	人	5,733	5,140	6,100	5,202
成果指標 2	ファースト・コンサート事業に参加した児童の延人数	人	0	278	816	953

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費 (A)		千円	11,524	11,422	13,725	16,011
正職員人件費 (B)		千円	1,526	1,521	1,521	1,537
総事業費 (A+B)		千円	13,050	12,943	15,246	17,548

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校がスキー授業等の実施にあたり、1回分のバス賃借料を負担する。 ・小学校がKitaraファースト・コンサート事業に参加するにあたり、バス賃借料を負担する。 	<ul style="list-style-type: none"> スキー授業等 ・小学校8,967千円 ・中学校3,338千円 Kitaraファースト・コンサート事業 ・小学校1,420千円

事業開始背景

江別市内にスキー場がなく、体育授業の一環である「スキー授業」を行うにあたり、バスを借り上げスキー場に行く必要があるため。

事業を取り巻く環境変化

バス借上げにおいて、国内外からの観光客の増加および運転手不足により、バスがフル稼働できず、バスが不足している現状である。また、国土交通省が、貸切バスの安全性向上を図る取り組みの一環として、貸切バスの運賃制度を抜本的に見直し、時間・キロ併用制運賃を平成26年4月より実施。貸切バス事業者は、各運輸局等が公示した運賃の上限額と下限額の幅の中で運賃を決定することとなった。この新運賃体制では、時間および距離によって料金が変動するため、料金が高騰する遠方の貸切バス事業者に配車を依頼することができず、バスの確保が大変厳しい。このような状況の中で、一定数のバスを確保し続けるため、北海道運輸局で示されている大型バスの運賃の範囲において、事業者が受注可能な金額が必要となっている。

令和4年度の実績による担当課の評価（令和5年度7月時点）

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	上がっている	理由根拠
	どちらかといえば上がっている	
	上がっていない	
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	成果向上余地 大	理由根拠
	成果向上余地 中	
	成果向上余地 小	
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？		
コスト	ある	理由根拠
	なし	

学校が必要とするバス台数を確保することができ、円滑に授業が行われた。

各学校の1回分のバス借上げ料の負担軽減は図られているが、スキー授業全てのバス借上げ料を市が助成することは、市の財政上困難である。

近隣（札幌・岩見沢近郊のスキー場）に行先を限定したり、バス台数を削減するため、学年・学級別の配車ではなく、学年や学級を混在して乗車するなど、コストダウンをできる限り行っている。

事業名：江別市教育研究所事業

【事業番号 397】
 学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別市教育研究所

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	研究所数	箇所	1	1	1	1
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

教育に関する調査、研究、資料の収集整理などを行う。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	研修会等開催回数	回	1	1	1	1
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

江別市の教育研究の進展と充実を図る。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	研修会等参加者数	人	38	129	241	300
成果指標 2						

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費 (A)		千円	2,490	2,564	2,714	2,820
正職員人件費 (B)		千円	1,526	1,521	1,521	1,537
総事業費 (A+B)		千円	4,016	4,085	4,235	4,357

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・教育に関する調査、資料の収集及び教育行政の情報提供 ・教育相談、研修及び関係各機関との交流 ・教育研究所所報等の出版 	教育研究所運営経費 教職員セミナー等研修会開催経費 家庭向けリーフレット作成経費	2,520千円 133千円 61千円

事業開始背景
教育の諸課題について研究するため、昭和30年度に設立された。
事業を取り巻く環境変化
平成29年3月に新学習指導要領が告示され、令和2年度から小学校で、令和3年度から中学校で全面实施される。

令和4年度の実績による担当課の評価（令和5年度7月時点）				
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？				
成果動向及び原因分析	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;"> <p>上がっている</p> <hr style="border: 2px solid black;"/> <p>どちらかといえば上がっている</p> <p>上がっていない</p> </td> <td style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">理由根拠</td> <td style="width: 60%; padding-left: 10px;"> <p>教職員のニーズに沿った内容の研修が実施されており、教育に関する調査研究成果が教職員に還元されている。</p> </td> </tr> </table>	<p>上がっている</p> <hr style="border: 2px solid black;"/> <p>どちらかといえば上がっている</p> <p>上がっていない</p>	理由根拠	<p>教職員のニーズに沿った内容の研修が実施されており、教育に関する調査研究成果が教職員に還元されている。</p>
<p>上がっている</p> <hr style="border: 2px solid black;"/> <p>どちらかといえば上がっている</p> <p>上がっていない</p>	理由根拠	<p>教職員のニーズに沿った内容の研修が実施されており、教育に関する調査研究成果が教職員に還元されている。</p>		
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？				
成果向上余地	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;"> <p>成果向上余地 大</p> <p>成果向上余地 中</p> <p>成果向上余地 小</p> <hr style="border: 2px solid black;"/> </td> <td style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">理由根拠</td> <td style="width: 60%; padding-left: 10px;"> <p>現状においても、当市の教育上の諸課題についての研究成果が十分に提供されている。</p> </td> </tr> </table>	<p>成果向上余地 大</p> <p>成果向上余地 中</p> <p>成果向上余地 小</p> <hr style="border: 2px solid black;"/>	理由根拠	<p>現状においても、当市の教育上の諸課題についての研究成果が十分に提供されている。</p>
<p>成果向上余地 大</p> <p>成果向上余地 中</p> <p>成果向上余地 小</p> <hr style="border: 2px solid black;"/>	理由根拠	<p>現状においても、当市の教育上の諸課題についての研究成果が十分に提供されている。</p>		
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？				
コスト	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;"> <p>ある</p> <hr style="border: 2px solid black;"/> <p>なし</p> </td> <td style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">理由根拠</td> <td style="width: 60%; padding-left: 10px;"> <p>所報の内部印刷による経費削減などを実施済みであり、これ以上のコスト削減は難しい。</p> </td> </tr> </table>	<p>ある</p> <hr style="border: 2px solid black;"/> <p>なし</p>	理由根拠	<p>所報の内部印刷による経費削減などを実施済みであり、これ以上のコスト削減は難しい。</p>
<p>ある</p> <hr style="border: 2px solid black;"/> <p>なし</p>	理由根拠	<p>所報の内部印刷による経費削減などを実施済みであり、これ以上のコスト削減は難しい。</p>		

事業名：特別支援学級生活介助事業

【事業番号 399】
教育支援課 主査(教育支援)

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

市内公立小中学校の特別支援学級の児童・生徒

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	小中学校の特別支援学級の児童生徒数	人	267	304	331	329
対象指標 2						

手段(事務事業の内容、手法)

- ・特別支援学級を設置している小中学校に特別支援教育支援員を配置する。
- ・特別支援学級の運営に必要な環境整備を行う。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	特別支援教育支援員(特別支援学級)数	人	33	35	38	39
活動指標 2	特別支援学級教員数	人	111	118	123	128

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

障がいの状態に応じた支援により、児童生徒の生活や学習上の困難が改善・克服される。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	教職員(特別支援学級教員及び介助員)1人当りの特別支援学級在籍児童生徒数	人	1.85	1.99	2.06	1.97
成果指標 2						

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費(A)		千円	51,576	51,359	52,044	57,715
正職員人件費(B)		千円	3,815	3,804	3,802	3,842
総事業費(A+B)		千円	55,391	55,163	55,846	61,557

事業内容(主なもの)		費用内訳(主なもの)	
4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育支援員(特別支援学級)の配置 ・特別支援学級の運営等 	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育支援員(特別支援学級)報酬等：49,088千円 ・特別支援学級の運営経費(消耗品等)：2,807千円 ・特別支援教育に必要な器具等の購入費：148千円 	

事業開始背景
平成18年6月に学校教育法等の改正が行われ、平成19年4月から、障がいのある児童生徒等の教育の充実を図るため、従来、障がい種別ごとに設置されていた盲・聾・養護学校の制度を、複数の障がい種別を教育の対象とすることができる特別支援学校の制度に転換するとともに、小・中学校等に在籍する教育上特別の支援を必要とする児童生徒等に対して、特別支援教育を行うことが明確に位置づけられた。
事業を取り巻く環境変化
障害者権利条約批准の制度改正に伴い、インクルーシブ教育システムが推進され、障がいのある子どもと障がいのない子どもが、出来る限り共に学ぶ共生社会を目指すようになった。

令和4年度の実績による担当課の評価（令和5年度7月時点）				
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？				
成果動向及び原因分析	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;"> <div style="background-color: black; color: white; padding: 2px;">上がっている</div> どちらかといえば上がっている 上がっていない </td> <td style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">理由根拠</td> <td style="width: 60%; padding: 5px;"> 支援員の配置、施設整備により、障がいのある児童生徒一人ひとりに対してよりきめ細やかな対応ができるようになった。 </td> </tr> </table>	<div style="background-color: black; color: white; padding: 2px;">上がっている</div> どちらかといえば上がっている 上がっていない	理由根拠	支援員の配置、施設整備により、障がいのある児童生徒一人ひとりに対してよりきめ細やかな対応ができるようになった。
<div style="background-color: black; color: white; padding: 2px;">上がっている</div> どちらかといえば上がっている 上がっていない	理由根拠	支援員の配置、施設整備により、障がいのある児童生徒一人ひとりに対してよりきめ細やかな対応ができるようになった。		
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？				
成果向上余地	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;"> <div style="background-color: black; color: white; padding: 2px;">成果向上余地 大</div> 成果向上余地 中 成果向上余地 小 </td> <td style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">理由根拠</td> <td style="width: 60%; padding: 5px;"> 障がいのある児童生徒一人ひとりのニーズを十分に把握し、施設整備を行うとともに、支援員を必要とする学校に適切に配置することで、成果の向上が期待できる。 </td> </tr> </table>	<div style="background-color: black; color: white; padding: 2px;">成果向上余地 大</div> 成果向上余地 中 成果向上余地 小	理由根拠	障がいのある児童生徒一人ひとりのニーズを十分に把握し、施設整備を行うとともに、支援員を必要とする学校に適切に配置することで、成果の向上が期待できる。
<div style="background-color: black; color: white; padding: 2px;">成果向上余地 大</div> 成果向上余地 中 成果向上余地 小	理由根拠	障がいのある児童生徒一人ひとりのニーズを十分に把握し、施設整備を行うとともに、支援員を必要とする学校に適切に配置することで、成果の向上が期待できる。		
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？				
コスト	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;"> ある <div style="background-color: black; color: white; padding: 2px;">なし</div> </td> <td style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">理由根拠</td> <td style="width: 60%; padding: 5px;"> 障がいのある児童生徒一人ひとりのニーズに十分に対応していくため、支援員の配置や施設整備は必須である。 </td> </tr> </table>	ある <div style="background-color: black; color: white; padding: 2px;">なし</div>	理由根拠	障がいのある児童生徒一人ひとりのニーズに十分に対応していくため、支援員の配置や施設整備は必須である。
ある <div style="background-color: black; color: white; padding: 2px;">なし</div>	理由根拠	障がいのある児童生徒一人ひとりのニーズに十分に対応していくため、支援員の配置や施設整備は必須である。		

事業名：学校給食事業

給食センター 業務係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	団体運営補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内の小中学校児童生徒等

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	小中学校児童生徒数	人	8,654	8,689	8,656	8,785
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

給食センターで作った給食を専用搬送車両で市内全公立小中学校へ配送し、各学校に配置している配膳員が各クラスに配膳する。
給食に地場産野菜を提供してくれる農家団体やJA道央と調整し、出来るだけ多くの地場産野菜を導入する。
「江別市学校給食会運営費補助要綱」に基づき、江別市学校給食会へ補助金を支出する。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	年間給食センター稼働日数	日	181	201	202	201
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

正しい食事のあり方や、望ましい食生活を身につけ、食事を通じて育成時に必要な食事を摂取（栄養バランス、量）し、健康が維持される。また、食事、給食活動を通じて、豊かな心が育成される。
児童生徒に新鮮で安全安心な地場産野菜をたくさん使って、バランスのとれた栄養豊かな食事を提供することにより健康の増進と体位の向上に貢献する。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	地場産野菜の使用率	%	52.2	43.4	43.5	50
成果指標 2						

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費 (A)		千円	270,479	273,261	291,916	308,609
正職員人件費 (B)		千円	119,012	116,387	116,341	117,550
総事業費 (A+B)		千円	389,491	389,648	408,257	426,159

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	<ul style="list-style-type: none"> 調理場運営、維持管理費用 配膳員をはじめとする給食関係職員の人件費 給食配送や弁当箱洗浄など給食関係業務委託費 江別市学校給食会運営費への補助金 	<ul style="list-style-type: none"> 学校給食調理補助員等報酬及び期末手当 84,843千円 重油代 31,608千円 電気料 22,223千円 水道料 13,065千円 学校給食配送業務委託料 49,830千円 江別市学校給食会運営費補助金 15,774千円 小中一貫教育における給食提供経費 1,790千円 	

事業開始背景

学校給食が児童及び生徒の心身の健全な発達に資し、かつ、国民の食生活の改善に寄与するものであることから、学校給食の普及充実を図ることを目的として、昭和29年に学校給食法が制定された。江別市の学校給食は、昭和37年に単独校方式によって旧江別小学校と豊幌小学校で始まり、昭和44年には給食センターが建設され、全校給食が開始された。

事業を取り巻く環境変化

- ・アレルギー児童生徒への対応。
- ・児童・生徒数（学級数）が減少傾向にあったが、近年は横ばい傾向である。
- ・調理員の退職者不補充を会計年度任用職員の増員によって対応している。

令和4年度の実績による担当課の評価（令和5年度7月時点）

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？						
成果動向及び原因分析	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">上がっている</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由根拠</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;">給食事業の中で、食に関する指導の必要性は高まっており、指導内容の向上にも努めている。</td> </tr> <tr> <td style="background-color: black; color: white;">どちらかといえば上がっている</td> </tr> <tr> <td>上がっていない</td> </tr> </table>	上がっている	理由根拠	給食事業の中で、食に関する指導の必要性は高まっており、指導内容の向上にも努めている。	どちらかといえば上がっている	上がっていない
上がっている	理由根拠	給食事業の中で、食に関する指導の必要性は高まっており、指導内容の向上にも努めている。				
どちらかといえば上がっている						
上がっていない						
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？						
成果向上余地	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">成果向上余地 大</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由根拠</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;">給食には出来る限り地場産食材を取り入れており、メニュー等給食の内容は、高いレベルを維持している。今後、栄養教諭による児童生徒や保護者への指導が充実することで、上位貢献度及び各指標の向上が期待できる。</td> </tr> <tr> <td style="background-color: black; color: white;">成果向上余地 中</td> </tr> <tr> <td>成果向上余地 小</td> </tr> </table>	成果向上余地 大	理由根拠	給食には出来る限り地場産食材を取り入れており、メニュー等給食の内容は、高いレベルを維持している。今後、栄養教諭による児童生徒や保護者への指導が充実することで、上位貢献度及び各指標の向上が期待できる。	成果向上余地 中	成果向上余地 小
成果向上余地 大	理由根拠	給食には出来る限り地場産食材を取り入れており、メニュー等給食の内容は、高いレベルを維持している。今後、栄養教諭による児童生徒や保護者への指導が充実することで、上位貢献度及び各指標の向上が期待できる。				
成果向上余地 中						
成果向上余地 小						
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？						
コスト	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">ある</td> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由根拠</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">照明や冷暖房等、日常的にコストの削減を徹底しているが、限界がある。</td> </tr> <tr> <td style="background-color: black; color: white;">なし</td> </tr> </table>	ある	理由根拠	照明や冷暖房等、日常的にコストの削減を徹底しているが、限界がある。	なし	
ある	理由根拠	照明や冷暖房等、日常的にコストの削減を徹底しているが、限界がある。				
なし						

事業名：遠距離通学送迎事業

総務課 総務係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

遠距離通学が必要な児童生徒

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	遠距離通学が必要な児童生徒数	人	102	102	113	120
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

登下校の予定時間に合わせ、委託先の会社がスクールバス及びスクールタクシーを運行し、児童生徒を送迎する。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	延べ運行時間数	時間	3,698	3,564	3,596	4,200
活動指標 2	利用児童生徒数	人	102	102	113	120

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

居住する遠隔地から学校までの間を、安全に通学させる。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	事故等により、スクールバスを運行できなかった便数	便	0	0	0	0
成果指標 2	事故等により、スクールタクシーを運行できなかった便数	便	0	0	0	0

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費 (A)		千円	54,362	53,198	53,873	57,146
正職員人件費 (B)		千円	3,815	3,803	3,802	3,842
総事業費 (A+B)		千円	58,177	57,001	57,675	60,988

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	スクールバス及びスクールタクシーの運行	・小学校	12,012千円
		・中学校	41,859千円

事業開始背景

本事業は、遠距離通学が必要な児童生徒を対象に、安全に通学することを目的として開始した。

事業を取り巻く環境変化

平成12年度から豊幌地区はJR定期補助から変更している。費用的にも、子どもたちの通学環境からも大きなメリットがあったと思われる。平成23年度から江北中学校の江別第三中学校への統合に当たり、スクールバス路線を増やし、平成25年度からは角山中学校の中央中学校への統合に当たり、スクールバス路線を増やした。平成27年度からは新運賃・料金制度により委託料の大幅な増加が予想されたことから、スクールバスのほか、スクールタクシーの運行を並行して実施している。

令和 4年度の実績による担当課の評価（令和 5年度7月時点）

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？							
成果動向及び原因分析	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; background-color: #cccccc;">上がっている</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">➔</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;">通学に際し、事故は発生していない。</td> </tr> <tr> <td>どちらかといえば上がっている</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">上がっていない</td> </tr> </table>	上がっている	理由 根拠	➔	通学に際し、事故は発生していない。	どちらかといえば上がっている	上がっていない
上がっている	理由 根拠	➔				通学に際し、事故は発生していない。	
どちらかといえば上がっている							
上がっていない							
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？							
成果向上余地	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; background-color: #cccccc;">成果向上余地 大</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">➔</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;">必要最小限の範囲を対象にしている。</td> </tr> <tr> <td>成果向上余地 中</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">成果向上余地 小</td> </tr> </table>	成果向上余地 大	理由 根拠	➔	必要最小限の範囲を対象にしている。	成果向上余地 中	成果向上余地 小
成果向上余地 大	理由 根拠	➔				必要最小限の範囲を対象にしている。	
成果向上余地 中							
成果向上余地 小							
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？							
コスト	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; background-color: #cccccc;">ある</td> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">➔</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">年により多少の増減はあるものの、利用者は一定数おり、必要最小限の範囲を対象としていることから、コスト削減は難しい。</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">なし</td> </tr> </table>	ある	理由 根拠	➔	年により多少の増減はあるものの、利用者は一定数おり、必要最小限の範囲を対象としていることから、コスト削減は難しい。	なし	
ある	理由 根拠	➔				年により多少の増減はあるものの、利用者は一定数おり、必要最小限の範囲を対象としていることから、コスト削減は難しい。	
なし							

事業名： 中文連・中体連各種大会参加補助事業

学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	奨励的補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別市中学校文化連盟（中文連）
江別市中学校体育連盟（中体連）
※令和5年度については、中文連・中体連補助金と事業を統合したため、指標は0とした。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	連盟の会員数	人	3,457	3,504	3,410	0
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき、江別市中学校文化連盟及び江別市中学校体育連盟に対して、大会に参加するための経費の一部を補助する。
※令和5年度については、中文連・中体連補助金と事業を統合したため、指標は0とした。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	補助金額	千円	1,961	8,407	8,662	0
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

中学生の文化活動や、体育活動の振興を図る。
※令和5年度については、中文連・中体連補助金と事業を統合したため、指標は0とした。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	大会参加者数	人	2,652	2,570	2,524	0
成果指標 2						

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費 (A)		千円	1,960	8,407	8,662	0
正職員人件費 (B)		千円	1,907	1,521	1,521	0
総事業費 (A+B)		千円	3,867	9,928	10,183	0

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	中文連、中体連の各種大会・発表会に参加する経費の一部を補助する。 補助対象となる大会や発表会 ・中文連吹奏楽コンクール、演劇発表会等 ・中体連の市内・管内・全道・全国大会 ※令和5年度については、中文連・中体連補助金と事業を統合したため、事業費は0とした。	・中文連参加補助金	2,400千円 ・中体連参加補助金 6,262千円

事業開始背景
部活動に係る経費の一部を助成することで、保護者等の経済的負担を軽減し、多くの生徒が部活動に参加できる環境を整えるため補助を行っている。
事業を取り巻く環境変化
令和4年度は、新型コロナウイルスの感染対策を講じながら各種大会が開催された。

令和4年度の実績による担当課の評価（令和5年度7月時点）		
成果動向及び原因分析	(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？	
	上がっている	理由根拠
	どちらかといえば上がっている	
上がっていない		
<p>中学校の全生徒及び部活動加入者数は減少傾向ではあるが、部活動に加入している生徒が、大会等へ参加するための経費を補助することで、文化活動や体育活動の振興が図られている。</p>		
成果向上余地	(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？	
	成果向上余地 大	理由根拠
	成果向上余地 中	
	成果向上余地 小	
<p>中学校の生徒数及び部活動加入者数は減少傾向であるため、成果向上の余地は少ない。</p>		
コスト	(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？	
	ある	理由根拠
	なし	
<p>江別市教育振興事業補助金交付規則、江別市中学校文化連盟派遣費等助成基準、中学校体育大会派遣費助成基準を基に、全ての各種補助金は最も経済的で合理的な方法で算出している。</p>		

事業名：奨学資金貸付金

学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	昭和41年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内在住の高校生

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	市内在住の高校生数	人	3,539	3,510	3,450	3,815
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

高等学校への修学意欲があるにもかかわらず経済的な理由により、修学困難な高校生に修学に必要な資金の一部を貸与する。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	奨学資金申請者数	人	3	3	4	12
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

修学困難な高校生に教育を受ける機会を与える。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	奨学資金貸与認定者数	人	3	3	4	12
成果指標 2	奨学資金貸与者の就学率	%	100	100	100	100

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費 (A)		千円	651	567	663	2,269
正職員人件費 (B)		千円	3,052	3,043	3,042	3,073
総事業費 (A+B)		千円	3,703	3,610	3,705	5,342

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	奨学金の貸与	報酬	35千円
		費用弁償	4千円
		貸付金	624千円

事業開始背景

教育基本法第4条第3項に規定する「国及び地方公共団体は、能力があるにもかかわらず、経済的な理由によって修学が困難な者に対して、奨学の措置を講じなければならない。」との精神に基づき、昭和41年度から制度化されている。

事業を取り巻く環境変化

今日の経済状況の格差や雇用環境の悪化が懸念される中、半ば義務教育化されている高等学校への修学に際し、あらゆる世帯に教育の機会を均等に与えることが重要である。

令和4年度の実績による担当課の評価（令和5年度7月時点）

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	上がっている	理由根拠
	どちらかといえば上がっている	
	上がっていない	
<p>予算規模を維持しつつ制度を周知することができおり、支援を必要とする者に対して適切に貸与することができる。</p>		
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	成果向上余地 大	理由根拠
	成果向上余地 中	
	成果向上余地 小	
<p>募集に際しては、申請漏れを防ぐため、市のHPへの掲載及び保護者や高等学校宛てに案内文を配布するなど、制度の周知に努めている。加えて、経済的理由による修学困難者に対しては、外部有識者等で構成される審議会を経ることで適切に奨学金が貸与されている。</p>		
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？		
コスト	ある	理由根拠
	なし	
<p>必要に応じた最低限の貸与月額である。</p>		

事業名：教育扶助

学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内小中学校児童生徒の保護者

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	市内小中学校児童生徒保護者数	人	8,654	8,689	8,656	8,785
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

経済的理由により就学困難な児童生徒の保護者に対し、就学に必要な経費の一部を支給する。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	就学援助認定者数	人	1,471	1,374	1,309	1,321
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

児童生徒が等しく義務教育を受けられるようにする。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	就学援助認定率	%	17	15.8	15.1	15
成果指標 2						

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費 (A)		千円	151,895	152,075	152,590	159,667
正職員人件費 (B)		千円	7,248	7,608	7,604	7,684
総事業費 (A+B)		千円	159,143	159,683	160,194	167,351

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	保護者に対し、学用品費、給食費、修学旅行費、医療費等を支給する。	就学援助に必要な経費	152,590千円

事業開始背景
学校教育法第19条の規定に基づき、経済的理由により就学困難と認められる児童生徒の保護者に対して、必要な援助を与えるもの。
事業を取り巻く環境変化
認定者数及び認定率が減少傾向にある。

令和4年度の実績による担当課の評価（令和5年度7月時点）						
成果動向及び原因分析	(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？					
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; padding: 5px;">上がっている</td> <td rowspan="3" style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠 ➔</td> <td rowspan="3" style="padding: 5px;">経済的な理由により就学が困難と認められる児童生徒の保護者に必要な学用品費等を支給しており、児童生徒が等しく義務教育を受けることができていますが、認定者数及び認定率は減少傾向である。</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc; padding: 5px;">どちらかといえば上がっている</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">上がっていない</td> </tr> </table>	上がっている	理由 根拠 ➔	経済的な理由により就学が困難と認められる児童生徒の保護者に必要な学用品費等を支給しており、児童生徒が等しく義務教育を受けることができていますが、認定者数及び認定率は減少傾向である。	どちらかといえば上がっている	上がっていない
	上がっている	理由 根拠 ➔			経済的な理由により就学が困難と認められる児童生徒の保護者に必要な学用品費等を支給しており、児童生徒が等しく義務教育を受けることができていますが、認定者数及び認定率は減少傾向である。	
どちらかといえば上がっている						
上がっていない						
成果向上余地	(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？					
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; padding: 5px;">成果向上余地 大</td> <td rowspan="3" style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠 ➔</td> <td rowspan="3" style="padding: 5px;">当事業により、経済的理由による不就学・不登校児童生徒はすでに支給対象となっており、児童生徒が等しく義務教育を受ける環境は整っているため、成果向上余地は少ない。</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">成果向上余地 中</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc; padding: 5px;">成果向上余地 小</td> </tr> </table>	成果向上余地 大	理由 根拠 ➔	当事業により、経済的理由による不就学・不登校児童生徒はすでに支給対象となっており、児童生徒が等しく義務教育を受ける環境は整っているため、成果向上余地は少ない。	成果向上余地 中	成果向上余地 小
	成果向上余地 大	理由 根拠 ➔			当事業により、経済的理由による不就学・不登校児童生徒はすでに支給対象となっており、児童生徒が等しく義務教育を受ける環境は整っているため、成果向上余地は少ない。	
成果向上余地 中						
成果向上余地 小						
コスト	(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？					
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; padding: 5px;">ある</td> <td rowspan="2" style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠 ➔</td> <td rowspan="2" style="padding: 5px;">認定者数は減少傾向だが、毎年1,500件以上の申請を受けており、複数人によるチェック等で確実に認定処理等を行う必要があるため、現状、正職員人件費の削減は望めない状況である。 認定基準及び支給額についても、就学援助が必要な世帯に対して就学に必要な最低限の額を支給しているところであり、コストを削減することは難しい状況である。</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc; padding: 5px;">なし</td> </tr> </table>	ある	理由 根拠 ➔	認定者数は減少傾向だが、毎年1,500件以上の申請を受けており、複数人によるチェック等で確実に認定処理等を行う必要があるため、現状、正職員人件費の削減は望めない状況である。 認定基準及び支給額についても、就学援助が必要な世帯に対して就学に必要な最低限の額を支給しているところであり、コストを削減することは難しい状況である。	なし	
	ある	理由 根拠 ➔			認定者数は減少傾向だが、毎年1,500件以上の申請を受けており、複数人によるチェック等で確実に認定処理等を行う必要があるため、現状、正職員人件費の削減は望めない状況である。 認定基準及び支給額についても、就学援助が必要な世帯に対して就学に必要な最低限の額を支給しているところであり、コストを削減することは難しい状況である。	
なし						

事業名：市内私立高校助成金

総務課 総務係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内に私立高校を設置する学校法人

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	市内の私立高校数	校	2	2	2	2
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

「江別市私立学校補助金交付要綱」に基づき、私立高校の特色のある教育を支援又は教材教具の充実を図るために必要な補助をする。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	補助金額	千円	6,000	6,000	6,000	6,000
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

各校の建学精神に基づき個性豊かな教育活動を積極的に展開し、特色ある教育が一層促進できるようになる。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	市内の中学校卒業生のうち、市内の私立高校に入学する生徒の割合	%	10	8	9	9
成果指標 2						

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費 (A)		千円	6,000	6,000	6,000	6,000
正職員人件費 (B)		千円	1,144	1,141	1,141	1,152
総事業費 (A+B)		千円	7,144	7,141	7,141	7,152

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
4年度	市内私立高校に対し助成金を支出	<ul style="list-style-type: none"> ・特色のある教育を実施するための事業への補助金 ・教材教具の整備事業への補助金 ・その他教育委員会が必要と認める事業の補助金 ・6,000千円

事業開始背景
教育条件の維持・向上と充実、高校の健全な発展と振興による経営基盤の確立と安定を高め、公立、私立の機会均等と保護者負担の軽減を図るため、教材・教具整備及び学校運営にかかる費用の一部について平成7年度から補助金を交付している。
事業を取り巻く環境変化
特色ある教育を比較検討するなど、多様化が進み、その選択において私立高校を志望する気運も高まってきている。

令和4年度の実績による担当課の評価（令和5年度7月時点）		
成果動向及び原因分析	(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？	
	上がっている	理由根拠
	どちらかといえば上がっている	
上がっていない		
補助に対する一定の教育的取り組みは行なわれている。		
成果向上余地	(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？	
	成果向上余地 大	理由根拠
	成果向上余地 中	
	成果向上余地 小	
学校予算に占める割合が低く、現状の補助額では成果の向上余地は大きくない。		
コスト	(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？	
	ある	理由根拠
	なし	
公立・私立の機会均等と保護者負担の軽減を図る上では、最低限の補助額であるため、コスト削減の余地はない。		

事業名：地域体験活動事業

生涯学習課 青少年係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	平成14年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内小中学生

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	市内小中学校児童生徒数	人	8,654	8,689	8,656	8,785
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

地域資源を活用した体験活動を子どもたちに提供する。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	実施事業数	事業	2	1	3	3
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

体験活動を通して子どもの可能性を引き出すとともに、学力だけでは計ることのできない感性・意欲・忍耐力などの育成を図る。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	事業参加者数	人	36	18	48	51
成果指標 2						

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費 (A)		千円	21	0	30	129
正職員人件費 (B)		千円	2,289	2,282	1,141	1,921
総事業費 (A+B)		千円	2,310	2,282	1,171	2,050

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	【自然体験】ツリーイング体験会の実施 【生活体験】はじめてのお泊まり会（コロナ禍のため休止）	自然体験委託料	30千円

事業開始背景	
平成14年度からの学校完全週5日制や子どもたちを取り巻く環境の変化に対応するため、「江別市体験活動ボランティア活動支援センター」を設立した。支援センターでは、学校を核に家庭と地域との連携を図り、地域資源を活用した様々な体験活動を企画実施し、「地域で子どもを見守る」取組みを推進してきた。平成28年度に支援センターと1年間をかけて江別の子どものためにどんな体験事業が必要か検討した結果、平成29年度、平成30年度は2泊3日の宿泊体験事業を行うこととなった。しかし、支援センターとの連携や、費用対効果の面で課題を残し、平成31年度からは数種の体験プログラムを行うこととした。	
事業を取り巻く環境変化	
令和2年度から、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、様々な社会教育事業が延期・中止されている。	

令和 4年度の実績による担当課の評価（令和 5年度7月時点）		
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	上がっている	理由根拠 ➡
	どちらかといえば上がっている	
	上がっていない	
屋外での自然体験活動「ツリーイング」は実施できたが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、屋内での生活体験活動「1泊2日の宿泊学習」は昨年度に引き続き中止とした。 自然体験学習「ツリーイング」は、定員を大きく超える申し込みがあったほか、生活体験活動「1泊2日の宿泊学習」についても、実施できた年度は定員を大きく超えた申込があったことから、両事業ともに、子どもたちの体験活動への興味関心が高く、成果は上がっている。		
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	成果向上余地 大	理由根拠 ➡
	成果向上余地 中	
	成果向上余地 小	
コロナ禍においては事業中止を余儀なくされたが、制限解除以降は事業が再開でき、参加者の増加が望める状況となる。		
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？		
コスト	ある	理由根拠 ➡
	なし	
事業計画段階から、費用のかからない会場の使用など、コスト削減に努めており、これ以上の大幅なコスト削減は見込めない。		

事業名：子ども会育成事業

【事業番号 462】
生涯学習課 青少年係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	昭和36年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	団体運営補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別市子ども会育成連絡協議会（江別、野幌、大麻・文京台地区育成会）

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	補助金交付団体数	団体	1	1	1	1
対象指標 2	市内の各地区子ども会育成会の数	団体	3	3	3	3

手段（事務事業の内容、手法）

江別市子ども会育成連絡協議会が取り組む、幅広い年齢層の子どもたちへの豊かな体験活動と各地区育成会の行う活動に対し、「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき補助金を交付する。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	補助金額	千円	540	737	737	737
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

江別市子ども会育成連絡協議会及び各地区育成会において、各種体験型事業が開催され、参加する児童・生徒数が増えることで、会の活動の活発化と子どもたちへの体験の機会が図られる。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	子ども会活動への地域住民の参加延べ数	人	22	48	90	48
成果指標 2	子ども会活動の取り組み数	件	4	7	10	8

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費 (A)		千円	540	737	737	737
正職員人件費 (B)		千円	1,907	1,902	1,521	2,689
総事業費 (A+B)		千円	2,447	2,639	2,258	3,426

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
4年度	<p>【実施事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> こいのぼりフェスティバル 青少年キャンプ村 ドッチビー体験会 各地区育成会との連携、協力 ジュニアリーダー養成の支援 <p>【中止事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学生相撲大会 小中学生かるた大会の開催 スノーフェスティバル 	・子ども会への補助金 737千円

事業開始背景
昭和30年代から増加した青少年の非行問題対策と青少年の健全育成のために地域の育成会が行う諸活動の円滑化を目的として開始した。
事業を取り巻く環境変化
<ul style="list-style-type: none"> ・ 少子化や地域社会のつながりが希薄化しているとともに、子どもたちも習い事や部活動等で忙しく、地域の大人とふれあう機会が減少してきている。一方で、子どもを見守る大人たちの固定化、高齢化が顕著であり、子ども会役員の世代交代が課題となってきている。 ・ 令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症の影響により、様々な社会教育事業が中止・延期されている。

令和 4年度の実績による担当課の評価（令和 5年度7月時点）		
成果動向及び原因分析	(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？	
	上がっている	理由根拠
	どちらかといえば上がっている	
上がっていない		
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	成果向上余地 大	理由根拠
	成果向上余地 中	
	成果向上余地 小	
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？		
コスト	ある	理由根拠
	なし	

事業名：はたちのつどい開催事業

生涯学習課 青少年係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	昭和33年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	行事イベント補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

- ・はたちのつどい実行委員会
- ・20歳年齢到達者

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	実行委員数	人	5	8	4	5
対象指標 2	20歳の年齢到達者数（令和3年度までは「新成人数」）	人	1,447	2,825	1,362	1,269

手段（事務事業の内容、手法）

- ・その年度に20歳（はたち）となる青年の有志から構成される実行委員会が、自ら企画や準備を行い、「はたちのつどい」を開催する。
- ・「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき、江別市はたちのつどい実行委員会に対して、アトラクション出演謝礼、交歓会景品代など、はたちのつどい開催に要する経費について補助金を交付する。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	補助金額	千円	86	360	180	180
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・20歳（はたち）の年齢到達に伴い、成年としてのほぼすべての権利を行使できるようになる人生の節目を祝福・激励することで、参加した20歳年齢到達者に対して、自らが自立した社会人であることへの責任と自覚を促し、より良い社会の創造への貢献の決意に加え、市民としての連帯感を高める。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	はたちのつどい出席者数（令和3年度までは「成人のつどい参加者数」）	人	0	1,375	762	605
成果指標 2	出席率	%	0	48.7	55.95	55

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費 (A)		千円	426	1,077	569	571
正職員人件費 (B)		千円	2,289	2,282	1,901	1,921
総事業費 (A+B)		千円	2,715	3,359	2,470	2,492

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会の開催 ・案内状の発送 ・しおりの作成 ・はたちのつどいの開催及び運営 	<ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会への補助 ・案内状の郵送料 ・しおりの印刷費用 ・会場使用料 	<ul style="list-style-type: none"> 180千円 100千円 36千円 193千円

事業開始背景	
過去には、式典中に新成人の起こす問題行動が散見される状況にあったため、未成年から成年となった自覚を意識付けるための式典を円滑に行なうことを目的に、有志の新成人から構成される実行委員会の設置及び実行委員会への補助事業に見直しを行い、行政と実行委員会が協働して式典を企画・運営することで一体感を持たせた。	
事業を取り巻く環境変化	
江別市でも、過去には式典中及び式典前後の問題行動が見られたが、近年は問題行動もなく落ちついている。2022年4月に民法を一部改正する法律が施行され、成年年齢が20歳から18歳に引き下がった。これに伴い、本事業は、事業名を「成人式開催事業」から「はたちのつどい開催事業」に変更し、事業の対象者を新たな成年年齢（18歳）ではなく20歳のまま維持して事業を継続している。過去からも、新成人やそのご家族のは式典を心待ちにしており、事業の見直しを行った「はたちのつどい」においても同様に20歳年齢到達者やそのご家族が本事業の開催を心待ちにしている。	

令和 4年度の実績による担当課の評価（令和 5年度7月時点）		
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	上がっている	理由根拠
	どちらかといえば上がっている	
	上がっていない	
令和4年度は、新型コロナウイルス感染症対策として、二部制での実施やアトラクションを省略する等して開催した。感染症に配慮しながらでも楽しめるよう写真撮影用のフォトスポットを設置するなどしたこともあり、コロナ禍以前の水準にまでは回復していないものの、前年度よりも参加率の向上が見られた。		
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	成果向上余地 大	理由根拠
	成果向上余地 中	
	成果向上余地 小	
少子化による対象者数の減少に伴い、参加者の減少が見込まれるところではあるが、依然として、本事業を心待ちにしている当事者やその家族も多いことから、時代に即した開催方法を実行委員会で検討し、より一層の成果向上を図りたい。		
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？		
コスト	ある	理由根拠
	なし	
これまで、継続的にコスト削減を図っており、これ以上の削減は成果の低下を招く可能性が高い。		

事業名：科学体験教室開催事業

【事業番号 465】
生涯学習課 青少年係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	令和 4年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

小学校 1年生から 6年生までの児童・生徒

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	市内の小学 1年生から 6年生までの児童数	人	0	0	5,825	5,853
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

- ・小中学校への周知や市広報などを通して参加者を募集する。
- ・科学講師を招き、参加者に科学の不思議さや楽しさを伝えながら、考える力を養うきっかけを提供できる体験教室を開講する。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	年間開催回数	回	0	0	2	4
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・科学の不思議さや楽しさを体験することで科学に興味・関心を抱くようになる。
- ・子どもたちの知的好奇心が刺激されることで、疑問に思うことへの探求心が育まれる。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	年間延べ参加者数	人	0	0	60	120
成果指標 2						

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費 (A)		千円	0	0	58	163
正職員人件費 (B)		千円	0	0	1,141	1,152
総事業費 (A+B)		千円	0	0	1,199	1,315

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	科学体験教室の開催	講師謝礼	29千円
		消耗品	18千円
		募集チラシ印刷費	11千円

事業開始背景

従来から実施してきた「発明教室開催事業」は、青少年の科学技術離れが叫ばれるようになったことから開始した事業だが、近年は指導者の中に発明に係る有識者がいなかったため、「発明」ではなく「木工」を主な活動とするクラブとなっていた。そこで当初掲げていた目的である「青少年の科学技術離れ」に対する事業として内容の見直しを図った。

事業を取り巻く環境変化

新型コロナウイルス感染症の渦中で始まった事業であり、初年度は制限を設けながら実施せざるを得なかった。令和5年5月以降は、行動制限が撤廃されたことから、食べ物を扱う実験や接触の多い実験等の実施も可能となる等、事業開始当初よりも幅広い内容で展開することが可能となった。

令和 4年度の実績による担当課の評価（令和 5年度7月時点）

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	上がっている	理由根拠
	どちらかといえば上がっている	
	上がっていない	
理科教育の専門家である講師を招き、科学体験教室を2回開催した。募集定員を大きく上回る申込があり、子どもたちの興味関心が高い内容を提供できており、成果は上がっている。		
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	成果向上余地 大	理由根拠
	成果向上余地 中	
	成果向上余地 小	
講師と調整を行い、より大学生が参画する形での事業の実施を検討しており、開催回数の増加及び参加者数の増加の余地がある。		
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありますか？		
コスト	ある	理由根拠
	なし	
前身事業である「発明教室開催事業」に比べ、大きく予算を削減したほか、利用料無料の会場の使用、大学生のボランティアでの協力等、可能な限り支出を抑えており、これ以上の経費削減は、開催回数減でしか実現しない。		

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	昭和55年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	団体運営補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別市青少年のための市民会議

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	補助交付団体数	団体	1	1	1	1
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

江別市青少年のための市民会議が取り組む、青少年の健全育成等の啓発活動や青少年の非行防止活動及び有害環境の点検活動に対し、「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき、活動費の一部を補助する。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	補助金額	千円	120	120	120	120
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

江別市青少年のための市民会議が行う活動が充実し、青少年を取り巻く環境が向上していく。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	主催事業協力者数（令和3年度まで）	人	39	30	35	35
成果指標 2	健全育成標語応募件数	件	2,414	0	0	800

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費 (A)		千円	120	120	120	120
正職員人件費 (B)		千円	1,907	1,902	1,901	2,689
総事業費 (A+B)		千円	2,027	2,022	2,021	2,809

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年健全育成啓発などの標語募集・選考 ・少年の主張石狩地区大会江別代表者の選考 ・からくりの道体験会・コンテスト ・青少年健全育成活動発表会 ・課外活動E X P O 	市民会議への補助 120千円	

事業開始背景
昭和50年代に青少年の非行が社会問題となり、地域ぐるみで非行問題改善、青少年を取り巻く環境の浄化が必要とされたため。
事業を取り巻く環境変化
発足当初と比べ、近年は、非行は格段に減少傾向にあることから、環境調査や該当啓発等の従来行ってきた事業は時代に合わなくなってきてきた状況を受け、令和4年度には事業の大規模な見直しを行った。

令和 4年度の実績による担当課の評価（令和 5年度7月時点）		
成果動向及び原因分析	(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？	
	上がっている	理由 根拠
	どちらかといえば上がっている	
上がっていない		
<p>事業開始の当初の目的であった、「青少年の非行防止」に対する現代的なアプローチとして、令和4年度には新たに「からくりの道事業」、「課外活動EXPO事業」を実施した。これはそれぞれ、「熱中できるテーマの提供と、家族で取り組むことでのコミュニケーションの増大」、「放課後の居場所となる団体とのマッチング」をそれぞれテーマとしており、多くの申込があったことから興味関心の高い事業として順調な滑り出しとなった。一方、既存事業についても、子どもたちが自身の考えを発表する場を継続的に提供し、一定数の応募があることから、成果は上がっているといえる。</p>		
成果向上余地	(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？	
	成果向上余地 大	理由 根拠
	成果向上余地 中	
成果向上余地 小		
<p>新規事業については初年度の実施結果を受け、改善の余地がある。既存事業である標語の募集についても、電子媒体での提出を可能にするなど実施方法を見直すことで、応募者数増加の余地はある。</p>		
コスト	(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？	
	ある	理由 根拠
	なし	
なし		
<p>市民会議の財源は、市からの補助金のほか、個人会員及び団体会員からの会費となっており、限られた財源の中で事業を実施する等、既にコストの削減を図っている。 近年は、高齢化に伴い会員数の減少傾向にあり収入減が見込まれているが、行政、家庭、学校、地域が協働して青少年の健全育成を推進する事業の趣旨から、今後も継続した支援が必要である。</p>		

事業名：青少年キャンプ村事業

【事業番号 467】
生涯学習課 青少年係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	昭和43年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内の小学校4年生から中学校3年生の児童生徒

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	市内の小学校4年生から中学校3年生の児童生徒数	人	0	5,852	5,783	5,880
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

自然体験事業として日常の生活から離れ、自然豊かな環境の中で青少年キャンプ村を1泊2日の日程で開催する。大学生、高校生で構成されるボランティアサークルの指導によりキャンプを行う。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	キャンプ村開催日数	日	0	5	5	5
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

野外生活の楽しさを感じるとともに、異年齢との交流及び集団生活を通して、規律ある生活態度・生活技術を学び、子どもたちの協調性や社会性を高める。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	参加グループ数	グループ	0	37	64	90
成果指標 2	青少年キャンプ村参加人数	人	0	104	165	250

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費 (A)		千円	0	618	688	784
正職員人件費 (B)		千円	2,289	2,282	1,901	1,921
総事業費 (A+B)		千円	2,289	2,900	2,589	2,705

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	8月上旬に江別市森林キャンプ場において、高校生と大学生からなるボランティアサークルの指導の下で1泊2日のキャンプを実施。	・生活指導員謝礼	336千円
		・生活指導員ほか食材	70千円
		・仮設トイレ設置等の委託料	279千円

事業開始背景

・昭和43年開始。
 ・高度経済成長のもと、生活様式の急激な変化等により、自然の中で行われる総合的な野外活動の体験活動の取組が健全な青少年の育成にとって重要なものと認識されはじめた。

事業を取り巻く環境変化

H30年度で開催50年目を迎えた伝統ある事業であり、江別市の子ども達にとって野外体験活動の楽しさを知るイベントになっている。森林キャンプ場は、札幌近郊にある整備されたキャンプ場として利用者が年々増えてきている。令和2年度は新型コロナウイルスの影響により事業を中止、令和3年度は感染症対策を徹底した上で日帰りで実施した。

令和 4年度の実績による担当課の評価（令和 5年度7月時点）

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	上がっている	理由根拠
	どちらかといえば上がっている	
	上がっていない	
コロナ禍以前から、少子化や生活様式の多様化により参加者数は減少傾向にあったが、1年間の中止を経て日帰りキャンプとして再開した令和3年度には令和元年度に比べ3分の1程度にまで減少した。一方、令和4年度は、完全対策を徹底する旨を広く周知したこともあり、参加者数は再び増加傾向が見られてる。		
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	成果向上余地 大	理由根拠
	成果向上余地 中	
	成果向上余地 小	
新型コロナウイルス感染症への不安感から減少した参加者数も、行動制限の撤廃等を受け、増加の兆しが見られており、今後も短期的には参加者数増が見込めるところではあるが、コロナ禍以前からの少子化、生活様式の多様化の影響は依然続いているため、一定の水準で頭打ちになる可能性は否めない。		
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？		
コスト	ある	理由根拠
	なし	
高校生・大学生からなるボランティア団体が企画・運営に携わっているほか、当日の運営も、子ども会育成連絡協議会等のボランティアが行っている。 また、受益者負担の観点から参加費も徴収しており、市の財源負担を最小限に留めるようコスト削減を図っており、これ以上のコスト削減は困難。		

事業名：青少年文化賞顕彰事業

【事業番号 468】
生涯学習課 生涯学習係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	昭和62年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

小学生以上24歳以下の市民

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	小学生以上24歳以下の市民	人	19,742	19,584	19,278	19,278
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

各種コンクール等において優秀な成績を収めるなど、市内における芸術及び文化の振興に貢献した青少年に対し、「江別市青少年文化賞規則」等に基づき各賞を贈る。贈呈式は青少年スポーツ賞と共同開催している。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	審査会開催回数	回	3	3	3	3
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

芸術及び文化に対する意識を高め、創造性豊かな青少年の育成を図る。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	受賞者数	人	10	22	27	21
成果指標 2						

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費 (A)		千円	184	391	522	476
正職員人件費 (B)		千円	763	761	760	1,152
総事業費 (A+B)		千円	947	1,152	1,282	1,628

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	・教育機関・文化団体等に対し該当者の推薦依頼を行い、推薦があった中から表彰基準を満たしたものについて、受賞歴やコンクールの内容を精査し、庁議等において審議の上、表彰者を決定する。	楯代	522千円

事業開始背景	
昭和62年に第1回青少年・文化奨励賞の授与を開始	
事業を取り巻く環境変化	
新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、全国大会やコンクールの中止が相次ぎ、それまで増加傾向にあった受賞対象者が令和2年度に大幅に減少したが、令和3年度以降はオンラインを取り入れた全国大会等が徐々に増えた影響もあり、市内の各学校等における文化艺术教育への取組がコロナ流行前の水準に戻りつつあり、再び受賞対象者が増加傾向にある。	

令和4年度の実績による担当課の評価（令和5年度7月時点）		
成果動向及び原因分析	(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？	
	<p>上がっている</p> <p>どちらかといえば上がっている</p> <p>上がっていない</p>	<p>理由根拠</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和4年度の受賞件数は27件で、前年の22件及び新型コロナウイルスの影響を受ける前の令和元年度の21件よりも増加した。（新型コロナウイルスの影響を大きく受けた令和2年度は10件） 新型コロナウイルスの影響が続いていた中においても若干ではあるが増加傾向を示していることから、成果は上がっていると言える。
	成果向上余地	<p>(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？</p> <p>成果向上余地 大</p> <p>成果向上余地 中</p> <p>成果向上余地 小</p> <p>理由根拠</p> <ul style="list-style-type: none"> 表彰することで、活動を行う個人・団体の意欲が向上し、優秀な成績を収める青少年の増加につながっている。 新型コロナウイルスの感染法上の取扱いの変更等により、今後は全国大会やコンクールの更なる活発化が見込まれる。
コスト	(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？	
	<p>ある</p> <p>なし</p>	<p>理由根拠</p> <p>表彰盾などの授与物品等が値上がりしている中で、効率的に当事業を運営しており、削減は難しい。また、スポーツ賞と同時に表彰を行っているため、事業内容を変更する場合には調整を行う必要がある。</p>

事業名：問題行動対策事業

【事業番号 469】
教育支援課 主査(教育支援)

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

- ・児童生徒、保護者及び教育関係者

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	小中学校児童生徒数	人	8,654	8,689	8,656	8,785
対象指標 2						

手段(事務事業の内容、手法)

- ・専任指導員、少年育成委員を配置し巡回街頭指導等を行う。
- ・小・中・高の生徒指導担当教員や市の子育て支援課、警察などで構成する江別市指導連絡会等を開催し、関係機関の連携を図る。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	巡回指導実施回数	回	200	120	182	170
活動指標 2	関係機関連携会議開催回数	回	14	10	14	14

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

- ・児童生徒による問題行動が発生しなくなる。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	補導された小中学校児童生徒数	人	44	43	92	40
成果指標 2						

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費(A)		千円	4,978	5,056	5,175	6,245
正職員人件費(B)		千円	6,485	6,466	6,463	6,531
総事業費(A+B)		千円	11,463	11,522	11,638	12,776

	事業内容(主なもの)	費用内訳(主なもの)
4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・巡回街頭指導の実施 ・祭典巡回指導の実施 ・江別市指導連絡会等の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・専任指導員報酬・手当：4,740千円 ・少年育成委員報酬：224千円

事業開始背景
児童生徒の非行防止のため
事業を取り巻く環境変化
新型コロナウイルスによる外出自粛ムードが徐々に解消に向かう中、児童生徒の活動も活発となり補導件数が昨年度と比較すると倍増した。生徒指導担当教員や警察などの関係機関との連携をより強化し、問題行動の早期発見、早期対応に取り組む必要がある。

令和 4年度の実績による担当課の評価（令和 5年度7月時点）						
成果動向及び原因分析	(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？					
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; padding: 5px;">上がっている</td> <td rowspan="3" style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="width: 60%; padding: 5px; vertical-align: top;">補導件数は増加しているものの、凶悪な犯罪行為の発生は認められない等、関係機関との連携による児童生徒の非行防止に一定の成果が認められる。</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc; padding: 5px;">どちらかといえば上がっている</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">上がっていない</td> </tr> </table>	上がっている	理由 根拠	補導件数は増加しているものの、凶悪な犯罪行為の発生は認められない等、関係機関との連携による児童生徒の非行防止に一定の成果が認められる。	どちらかといえば上がっている	上がっていない
	上がっている	理由 根拠			補導件数は増加しているものの、凶悪な犯罪行為の発生は認められない等、関係機関との連携による児童生徒の非行防止に一定の成果が認められる。	
どちらかといえば上がっている						
上がっていない						
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？						
成果向上余地	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; padding: 5px;">成果向上余地 大</td> <td rowspan="3" style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="width: 60%; padding: 5px; vertical-align: top;">関係機関とのさらなる連携による教員の指導能力向上及び生徒指導の充実により、成果が向上する余地はある。</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc; padding: 5px;">成果向上余地 中</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">成果向上余地 小</td> </tr> </table>	成果向上余地 大	理由 根拠	関係機関とのさらなる連携による教員の指導能力向上及び生徒指導の充実により、成果が向上する余地はある。	成果向上余地 中	成果向上余地 小
	成果向上余地 大	理由 根拠			関係機関とのさらなる連携による教員の指導能力向上及び生徒指導の充実により、成果が向上する余地はある。	
	成果向上余地 中					
成果向上余地 小						
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？						
コスト	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; padding: 5px;">ある</td> <td rowspan="2" style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="2" style="width: 60%; padding: 5px; vertical-align: top;">事業内容はマンパワーを必要とするものであり、最低限の予算で事業遂行しているため、コスト削減は困難である。</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc; padding: 5px;">なし</td> </tr> </table>	ある	理由 根拠	事業内容はマンパワーを必要とするものであり、最低限の予算で事業遂行しているため、コスト削減は困難である。	なし	
	ある	理由 根拠			事業内容はマンパワーを必要とするものであり、最低限の予算で事業遂行しているため、コスト削減は困難である。	
なし						

事業名：いじめ・不登校対策事業

【事業番号 470】
教育支援課 主査(教育支援)

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

・児童生徒、保護者及び教育関係者

指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標1 小中学校児童生徒数	人	8,654	8,689	8,656	8,785
対象指標2 不登校児童生徒数	人	208	258	286	260

手段(事務事業の内容、手法)

・いじめ・不登校の専用相談窓口を設置し、専任指導員等が相談対応する。
 ・青年センターにおいて、スクールカウンセラーによる教育相談を実施する。
 ・不登校児童生徒を対象に、適応指導教室「すぽっとケア」を運営する。
 ・いじめ問題等について、児童生徒が市教委に直接伝える「心のダイレクトメール」を実施する。
 ・いじめ問題をテーマの一つとして中学生サミットを開催する。
 ・情報モラル講演会を開催するほか、普及啓発資料を配付する。

指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標1 いじめ・不登校相談件数	件	80	68	62	80
活動指標2 すぽっとケア・ケア事業開催回数	回	120	159	178	200

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

・いじめが解消される。
 ・不登校の児童生徒が再登校できるようになる。
 又は、登校には至らないものの、学校外の機関等での相談・支援等を受けるなど状況が変化する。

指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標1 いじめの解消率	%	99	99	66	67
成果指標2 再登校率	%	8	22	29	20

事業費の推移	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費(A)	千円	5,671	6,393	8,548	8,578
正職員人件費(B)	千円	8,773	8,748	8,364	3,842
総事業費(A+B)	千円	14,444	15,141	16,912	12,420

	事業内容(主なもの)	費用内訳(主なもの)
4年度	<ul style="list-style-type: none"> いじめ・不登校の専用相談の実施 スクールカウンセラーによる教育相談の実施 不登校児童生徒を対象にすぽっとケア(学習支援)とケア事業(体験活動)の実施 心のダイレクトメール事業の実施 中学生サミットの開催 情報モラル普及啓発の実施 	専任指導員等報酬・手当：7,284千円 心のダイレクトメール事業経費：29千円 中学生サミット開催経費：57千円 情報モラル普及啓発経費：186千円

事業開始背景
いじめ・不登校の増加。
事業を取り巻く環境変化
家庭環境や教育環境、社会背景など児童生徒を取り巻く環境の変化により不登校児童生徒数が全国的に増加傾向にあり、本市においても同一事情にある。またいじめの問題についても教育上の大きな課題となっている。

令和 4年度の実績による担当課の評価（令和 5年度7月時点）			
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？			
成果動向及び原因分析	上がっている	理由根拠 ▶	不登校支援では、不登校児童生徒の社会的自立に向けた支援を充実させるため、適応指導教室「すぼっとケア」のスタッフを増員した。いじめ対策では、市独自のいじめアンケートを冬休み明けに実施したことに伴い、いじめの解消率は減少しているが、心のダイレクトメールを一人一台端末から送信することができるようにする等、いじめの早期発見・早期対応に向けた取組を行った。
	どちらかといえば上がっている		
	上がっていない		
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？			
成果向上余地	成果向上余地 大	理由根拠 ▶	不登校になりやすい児童生徒一人ひとりの特性や気質、環境要因を理解して、それぞれに適した支援を行うことが必要であることから、即効性は期待しがたいが、今後、各学校への登校サポーターの派遣や「すぼっとケア」の常設会場設置等、不登校児童生徒への支援がさらに充実することで、成果向上の余地はある。
	成果向上余地 中		
	成果向上余地 小		
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？			
コスト	ある	理由根拠 ▶	人件費が主となる事業であり、支援を要する不登校児童生徒が増加していることを踏まえると、人員の削減や職員のボランティア等への置き換えは難しく、コスト削減は困難である。
	なし		

事業名：「心の教室」相談事業

【事業番号 472】
教育支援課 主査(教育支援)

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	平成10年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

・児童及び保護者

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	小学校児童数	人	5,751	5,759	5,825	5,853
対象指標 2						

手段(事務事業の内容、手法)

・相談員を小学校に配置し、学校生活や日常の様々な悩みや困りごとの相談に応じる。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	相談員配置学校数	校	17	17	17	17
活動指標 2	延べ相談時間	時間	5,386	5,096	5,194	5,400

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

・児童及び保護者の悩みが軽減、解消される。
・児童が安心して学校生活を過ごせる。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	延べ相談件数	件	14,689	10,971	13,580	14,700
成果指標 2						

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費(A)		千円	5,402	5,176	5,301	5,550
正職員人件費(B)		千円	1,526	1,521	1,521	1,537
総事業費(A+B)		千円	6,928	6,697	6,822	7,087

事業内容(主なもの)		費用内訳(主なもの)
4年度	・小学校17校に心の教室相談員を配置し、児童及び保護者の悩みや相談に対応	心の教室相談員報酬：5,220千円

事業開始背景
児童の学校生活に起因する悩みや不安を解消するため、心の教室相談員を配置し相談体制をつくる。
事業を取り巻く環境変化
悩みや困りごとを抱え、それに起因して不登校傾向になる児童や問題行動等を起こす児童が低年齢化していること等に伴い、心の教室相談員が受ける年間相談件数は、高い水準で推移している。

令和 4年度の実績による担当課の評価（令和 5年度7月時点）				
成果動向及び原因分析	(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？			
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; padding: 5px;"> <p>上がっている</p> <hr style="border: 2px solid black;"/> <p>どちらかといえば上がっている</p> <p>上がっていない</p> </td> <td style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td style="width: 60%; padding: 5px;"> <p>児童からのいじめや不登校等に関する相談対応だけでなく、不登校傾向の児童の心のケアを行うなど、教員と連携しながら対応しており、学校運営に欠かせない重要な役割を果たしている。</p> </td> </tr> </table>	<p>上がっている</p> <hr style="border: 2px solid black;"/> <p>どちらかといえば上がっている</p> <p>上がっていない</p>	理由 根拠	<p>児童からのいじめや不登校等に関する相談対応だけでなく、不登校傾向の児童の心のケアを行うなど、教員と連携しながら対応しており、学校運営に欠かせない重要な役割を果たしている。</p>
	<p>上がっている</p> <hr style="border: 2px solid black;"/> <p>どちらかといえば上がっている</p> <p>上がっていない</p>	理由 根拠	<p>児童からのいじめや不登校等に関する相談対応だけでなく、不登校傾向の児童の心のケアを行うなど、教員と連携しながら対応しており、学校運営に欠かせない重要な役割を果たしている。</p>	
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？				
成果向上余地	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; padding: 5px;"> <p>成果向上余地 大</p> <hr style="border: 2px solid black;"/> <p>成果向上余地 中</p> <p>成果向上余地 小</p> </td> <td style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td style="width: 60%; padding: 5px;"> <p>相談内容は多岐にわたっており、スクールカウンセラーの派遣時間が少ない小学校では相談員の存在意義は大きいことから、相談員の配置時間の増加により成果の向上が見込める。</p> </td> </tr> </table>	<p>成果向上余地 大</p> <hr style="border: 2px solid black;"/> <p>成果向上余地 中</p> <p>成果向上余地 小</p>	理由 根拠	<p>相談内容は多岐にわたっており、スクールカウンセラーの派遣時間が少ない小学校では相談員の存在意義は大きいことから、相談員の配置時間の増加により成果の向上が見込める。</p>
<p>成果向上余地 大</p> <hr style="border: 2px solid black;"/> <p>成果向上余地 中</p> <p>成果向上余地 小</p>	理由 根拠	<p>相談内容は多岐にわたっており、スクールカウンセラーの派遣時間が少ない小学校では相談員の存在意義は大きいことから、相談員の配置時間の増加により成果の向上が見込める。</p>		
コスト	(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？			
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; padding: 5px;"> <p>ある</p> <hr style="border: 2px solid black;"/> <p>なし</p> </td> <td style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td style="width: 60%; padding: 5px;"> <p>相談員の人件費が主となる事業であり、児童や保護者、教職員の相談を受ける相談員の配置は不可欠であることから、コスト削減は困難である。</p> </td> </tr> </table>	<p>ある</p> <hr style="border: 2px solid black;"/> <p>なし</p>	理由 根拠	<p>相談員の人件費が主となる事業であり、児童や保護者、教職員の相談を受ける相談員の配置は不可欠であることから、コスト削減は困難である。</p>
<p>ある</p> <hr style="border: 2px solid black;"/> <p>なし</p>	理由 根拠	<p>相談員の人件費が主となる事業であり、児童や保護者、教職員の相談を受ける相談員の配置は不可欠であることから、コスト削減は困難である。</p>		

事業名：地域一体型学校の顔づくり事業

総務課 総務係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	平成13年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内市立小・中学校

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	市内市立小・中学校数	校	25	25	25	25
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

「特色のある学校」、「開かれた学校」づくりを進めるため、事業を行う小中学校に対し、事業費の一部を支援する。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	事業実践項目数	項目	38	38	38	38
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

家庭・地域が一体となって事業を展開し「特色のある学校」、「開かれた学校」づくりを進めることにより、教育の充実を図ることができるようになる。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	地域住民等の事業への参加人数	人	2,179	1,341	3,646	5,700
成果指標 2						

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費 (A)		千円	2,602	2,452	2,664	2,966
正職員人件費 (B)		千円	1,907	1,902	1,901	1,921
総事業費 (A+B)		千円	4,509	4,354	4,565	4,887

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	各学校の事業に要する経費の一部を学校配分予算として支出	・講師の謝礼等	425千円
		・消耗品購入費	1,537千円

事業開始背景
本事業は「特色のある学校」、「開かれた学校」づくりの実現に向けて、各学校が地域の特性などを活かして実践項目を掲げ活動していくことにより、江別市全体の教育力を向上することを目的に、平成13年度から実施している。
事業を取り巻く環境変化
事業への参加人数は増加傾向にあり、各学校で工夫しながら実施しており、活発な事業が展開されているといえる。

令和4年度の実績による担当課の評価（令和5年度7月時点）						
成果動向及び原因分析	(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？					
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">上がっている</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;">16年度以降提案型に変更したことで、教職員自らが考え実施する事業になった。そのため、より身近な学校の実態に合わせた事業として実施され、年数の経過とともに事業（顔）として定着してきた。令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響が徐々に治まり、事業を再開することができた。</td> </tr> <tr> <td>どちらかといえば上がっている</td> </tr> <tr> <td>上がっていない</td> </tr> </table>	上がっている	理由 根拠	16年度以降提案型に変更したことで、教職員自らが考え実施する事業になった。そのため、より身近な学校の実態に合わせた事業として実施され、年数の経過とともに事業（顔）として定着してきた。令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響が徐々に治まり、事業を再開することができた。	どちらかといえば上がっている	上がっていない
	上がっている	理由 根拠			16年度以降提案型に変更したことで、教職員自らが考え実施する事業になった。そのため、より身近な学校の実態に合わせた事業として実施され、年数の経過とともに事業（顔）として定着してきた。令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響が徐々に治まり、事業を再開することができた。	
どちらかといえば上がっている						
上がっていない						
成果向上余地	(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？					
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">成果向上余地 大</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;">各学校が自校の特色（顔）に特化して事業に取り組むことで、学校の顔が鮮明となる。このことにより、児童生徒や教職員の取り組む意欲、さらには父母や地域住民の理解や信頼が増し、学校に対する信頼関係も強化される。</td> </tr> <tr> <td>成果向上余地 中</td> </tr> <tr> <td>成果向上余地 小</td> </tr> </table>	成果向上余地 大	理由 根拠	各学校が自校の特色（顔）に特化して事業に取り組むことで、学校の顔が鮮明となる。このことにより、児童生徒や教職員の取り組む意欲、さらには父母や地域住民の理解や信頼が増し、学校に対する信頼関係も強化される。	成果向上余地 中	成果向上余地 小
	成果向上余地 大	理由 根拠			各学校が自校の特色（顔）に特化して事業に取り組むことで、学校の顔が鮮明となる。このことにより、児童生徒や教職員の取り組む意欲、さらには父母や地域住民の理解や信頼が増し、学校に対する信頼関係も強化される。	
成果向上余地 中						
成果向上余地 小						
コスト	(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？					
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">ある</td> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">各学校の実践する取り組みにおいて必要最低限の経費を予算措置しているものであり、これ以上のコスト削減は難しい。</td> </tr> <tr> <td>なし</td> </tr> </table>	ある	理由 根拠	各学校の実践する取り組みにおいて必要最低限の経費を予算措置しているものであり、これ以上のコスト削減は難しい。	なし	
	ある	理由 根拠			各学校の実践する取り組みにおいて必要最低限の経費を予算措置しているものであり、これ以上のコスト削減は難しい。	
なし						

事業名：スクールカウンセラー事業

【事業番号 616】
教育支援課 主査(教育支援)

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	平成 8年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

・児童生徒、保護者及び教育関係者

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	小中学校児童生徒数	人	8,654	8,689	8,656	8,785
対象指標 2						

手段(事務事業の内容、手法)

・小中学校にカウンセラー(臨床心理士等)を派遣し、対象校の児童生徒をカウンセリングの対象として相談業務にあたる(報酬は北海道負担)。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	配置学校数	校	10	11	25	25
活動指標 2	延べ相談時間	時間	785	770	723	780

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

・児童生徒、保護者、教育関係者の悩みが軽減、解消される。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	延べ相談件数	件	1,160	1,189	958	1,170
成果指標 2						

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費(A)		千円	25	0	32	32
正職員人件費(B)		千円	1,526	1,521	1,521	1,537
総事業費(A+B)		千円	1,551	1,521	1,553	1,569

事業内容(主なもの)		費用内訳(主なもの)
4年度	市内小中学校にスクールカウンセラーを派遣し、相談業務にあたる。	消耗品費：32千円

事業開始背景

学校における教育相談体制の充実を図るために、臨床心理士等をスクールカウンセラーとして派遣し、専門的カウンセリング体制を整備する。

事業を取り巻く環境変化

学校内でのいじめ不登校の多発、非行犯罪行為のエスカレートに対応して、子どもたちの心の問題に専門的に関わられるエキスパートが必要との認識のもとに配置されたのがスクールカウンセラーである。問題解決に心理学的側面からのアプローチは今後も欠かせないものと考えられる。

令和 4年度の実績による担当課の評価（令和 5年度7月時点）

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	上がっている	理由 根拠
	どちらかといえば上がっている	
	上がっていない	
相談時間数・相談件数共に減少しているものの、令和4年度からスクールカウンセラーを全ての小学校へ派遣し、児童に対してSOSの出し方に関する研修などを行っており、スクールカウンセラーは児童生徒の心のケアを担う専門職として重要な役割を果たしている。		
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	成果向上余地 大	理由 根拠
	成果向上余地 中	
	成果向上余地 小	
今後、小学校への派遣時間を拡充し、小学生に対する専門的なカウンセリング体制を整備することで、課題の早期解消が期待できる。		
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？		
コスト	ある	理由 根拠
	なし	
必要最低限の消耗品のみの計上であるため、コスト削減は困難である。		

事業名：社会人による教育活動等支援事業

学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	平成18年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内小中学校の児童生徒
 ※令和5年度については、キャリア教育推進事業と事業を統合したため、指標は0とした。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	小中学校児童生徒数	人	8,654	8,689	8,656	0
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

教育活動の講師として、文化・芸術など多岐にわたる分野から、幅広い専門的知識等を有する社会人を活用するための費用を負担する。
 ※令和5年度については、キャリア教育推進事業と事業を統合したため、指標は0とした。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	社会人を活用した授業を申請した学校数	校	12	7	12	0
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

社会人を活用した教育活動を実施する。
 ※令和5年度については、キャリア教育推進事業と事業を統合したため、指標は0とした。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	社会人を活用した授業を実施した学校数	校	6	6	10	0
成果指標 2	社会人を活用した授業を実施した回数	回	7	8	14	0

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費 (A)		千円	138	233	488	0
正職員人件費 (B)		千円	763	761	2,281	0
総事業費 (A+B)		千円	901	994	2,769	0

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	文化・芸術・体育・仕事など多岐にわたる分野から、幅広い専門的知識等を有する社会人を教育活動の講師として活用するための支援を行う。 ※令和5年度については、キャリア教育推進事業と事業を統合したため、事業費は0とした。	報償費	488千円

事業開始背景

様々な分野で秀でた社会人を各学校に派遣し、実践的かつ質の高い授業を行うことで、児童生徒の学習意欲や学力向上を図るほか、職業観の育成を図る。

事業を取り巻く環境変化

「社会に開かれた教育課程」を重視する新学習指導要領が平成29年3月に告示され、小学校は令和2年度から、中学校は令和3年度から施行されている。

令和4年度の実績による担当課の評価（令和5年度7月時点）

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	上がっている	理由 根拠 ➔
	どちらかといえば上がっている	
	上がっていない	
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	成果向上余地 大	理由 根拠 ➔
	成果向上余地 中	
	成果向上余地 小	
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？		
コスト	ある	理由 根拠 ➔
	なし	

事業名：特別支援教育推進事業

【事業番号 768】
教育支援課 主査(教育支援)

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	平成18年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

市内公立小中学校に在籍する特別な支援を必要とする児童・生徒

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	小中学校の通常の学級に在籍する特別な支援を必要とする児童生徒数	人	676	610	652	652
対象指標 2						

手段(事務事業の内容、手法)

- ・特別支援教育支援員(通常学級)を配置する。
- ・専門家チームが巡回相談等により学校・保護者へ助言する。
- ・教員等の能力向上のための研修会を開催する。
- ・支援に必要な環境整備を行う。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	巡回相談等実施回数	回	102	60	104	166
活動指標 2	特別支援教育支援員(通常学級)の配置数	人	36	37	38	40

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

個別の教育的ニーズに応じた支援により、児童生徒の生活や学習上の困難が改善・克服される。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	通常学級で個別の教育支援計画を作成している学校の割合	%	100	100	100	100
成果指標 2						

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費(A)		千円	39,118	36,490	36,403	40,259
正職員人件費(B)		千円	8,010	7,987	7,984	8,067
総事業費(A+B)		千円	47,128	44,477	44,387	48,326

事業内容(主なもの)		費用内訳(主なもの)	
4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育支援員(通常学級)の配置 ・特別支援教育専門家チームの経費 ・特別支援教育に係る施設整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育支援員(通常学級)報酬等：35,136千円 ・巡回相談に係る専門家チーム委員の謝礼等：189千円 ・施設整備費：579千円 	

事業開始背景

平成19年度から特別支援教育の対象とされていなかったLD（学習障がい）、ADHD（注意欠陥多動性障がい）等の障がいについても、適切な教育的支援を行う「特別支援教育」へ移行され、特別支援学級だけではなく通常学級に在籍する特別な支援が必要な児童生徒に対しても支援を行うこととなった。

事業を取り巻く環境変化

平成24年度において、中央教育審議会の特別委員会や内閣府の障がい者制度改革推進会議から「インクルーシブ教育」をめぐる議論の最終報告が出され、障がいのある子どもない子ども共に地域の小・中学校の通常の学級で学ぶための環境整備の推進が求められている。

令和4年度の実績による担当課の評価（令和5年度7月時点）

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	上がっている	理由 根拠 ➡
	どちらかといえば上がっている	
	上がっていない	
<p>通常の学級に支援員を配置することで、特別な支援を必要とする児童生徒に効果的な学習等の支援を行うことができた。また、専門家チームの巡回相談については、コロナ禍により実施できない場合もあったが、学校や保護者からのニーズは高く、実施時には専門的な視点から助言や支援を行うことができた。 その他、コロナ禍においてもオンラインによる研修会を実施し、これまで以上に各校の管理職やコーディネーターと連携を密にし、学校現場における特別支援の専門性の向上を図ることができた。</p>		
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	成果向上余地 大	理由 根拠 ➡
	成果向上余地 中	
	成果向上余地 小	
<p>小中学校に対し、専門家による支援の場や研修等の機会をさらに増やしていくことにより、特別支援教育が充実し、成果が向上することが期待される。</p>		
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？		
コスト	ある	理由 根拠 ➡
	なし	
<p>学校現場において、通常の学級に在籍する特別な支援を必要とする児童生徒の数は年々増加の傾向にあり、指導体制の充実を図るため、支援員の配置、専門家チームによる巡回相談が必要である。</p>		

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	平成18年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

市内公立中学校の生徒

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	市内公立中学校の生徒数	人	2,903	2,930	2,831	2,932
対象指標 2						

手段(事務事業の内容、手法)

中学2年生が、市内の事業所で原則2日間の職場体験を行う。
 ※令和2年度、令和3年度及び令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	職場体験受け入れ事業所数	所	0	0	0	120
活動指標 2						

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

望ましい勤労観や職業感、自己の進路を選択する能力のほか、人間関係形成能力、コミュニケーション能力を育成する。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	キャリア教育参加生徒数	人	0	0	0	797
成果指標 2	自身の進路や将来の考え方を考えるきっかけとなった生徒の割合	%	0	0	0	78

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費(A)		千円	412	458	532	976
正職員人件費(B)		千円	3,052	2,282	6,083	6,146
総事業費(A+B)		千円	3,464	2,740	6,615	7,122

事業内容(主なもの)		費用内訳(主なもの)	
4年度	公立中学校の生徒が事業所において連続する2日間の職場体験を行う。 ※令和4年度については、新型コロナウイルス感染症の影響により中止。	・マナー研修等経費	44千円
		・職業人による講演等に係る経費	488千円

事業開始背景

社会環境の変化に対応するために必要な、社会人としての基礎的資質・能力を育成するため、学校の学習と社会とを関連付け、学校の教育活動全体を通じてキャリア教育の推進が必要となったため。

事業を取り巻く環境変化

学校が家庭や地域と連携し、子どもたちが「生きる力」を身に付け、社会人として自立していくことができるようになる教育が強く求められている。
また、中学生の職場体験は、新型コロナウイルス感染症の感染状況から、生徒と受け入れ先の安全確保が難しくなることを鑑み、令和2年度から実施出来ていない。

令和4年度の実績による担当課の評価（令和5年度7月時点）

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	上がっている	理由根拠
	どちらかといえば上がっている	
	上がっていない	
<p>生徒の社会的・職業的自立に向けて、必要な基盤となる資質・能力を身に付けていくキャリア教育の一環として、勤労観や職業観を育成するための職場体験の実施を予定していたが、令和4年度は新型コロナウイルス感染症の感染状況から、生徒と受け入れ先の安全確保が難しくなることを鑑み、中学生の職場体験の実施を中止したため、成果指標は上がっていない。 なお、職場体験の代替措置として、各学校において複数の職種や様々な経験を持つ講師による講演会などを実施することにより、一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てるための取組を推進した。</p>		
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	成果向上余地 大	理由根拠
	成果向上余地 中	
	成果向上余地 小	
<p>市内には中小企業が多く、生徒を受け入れることで事業所側では追加の人員配置が必要となるなど、昨今の経済状況も相まって大きな負担感を感じている事業所が少なくない。そのため、市内での新たな受け入れ先を開拓することは困難となっている。</p>		
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？		
コスト	ある	理由根拠
	なし	
<p>各事業所のスタッフとして働くためには、事前のマナー研修や、受け入れ事業所への礼状送付は必須であり、その意味での必要最低限の経費である。</p>		

事業名：学校給食食器更新事業

給食センター 業務係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	平成19年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内の小中学校児童生徒等

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	小中学校児童生徒数	人	8,654	8,689	8,656	8,785
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

江別市学校給食用食器検討委員会において、安心して提供できる学校給食用食器の選定について検討する。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	食器更新・追加数	個	2,805	1,780	2,280	3,400
活動指標 2	検討委員会開催数	回	0	0	3	0

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

安全、安心な食器で喫食することにより、楽しく食事し、豊かな心が育つ。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	食器破損率	%	4.37	3.81	4.37	6
成果指標 2						

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費 (A)		千円	0	0	0	0
正職員人件費 (B)		千円	381	380	380	384
総事業費 (A+B)		千円	381	380	380	384

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	安全、安心な食器を提供するため、破損した食器の補充管理、食器についての情報収集を行う。	人件費事業	

事業開始背景
様々な素材の食器が生産される中、プラスチック製品には様々な化学物質が使用されている。より安全、安心な食器を学校給食で使用するため、平成19年度に検討委員会を設置した。
事業を取り巻く環境変化
様々な素材の食器が日々生産されている。

令和 4年度の実績による担当課の評価（令和 5年度7月時点）						
成果動向及び原因分析	(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？					
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">上がっている</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠 ➔</td> <td rowspan="3" style="padding: 5px;">安全安心な食器を使用することで、食事の楽しさの一端を担っている。食器破損数の増加は、経年劣化も要因として考えられるが、児童生徒等による取扱いの慎重度合いや落下等事故の頻度にもよるため、一概に成果を判断することは難しい。</td> </tr> <tr> <td>どちらかといえば上がっている</td> </tr> <tr style="background-color: #cccccc;"> <td>上がっていない</td> </tr> </table>	上がっている	理由 根拠 ➔	安全安心な食器を使用することで、食事の楽しさの一端を担っている。食器破損数の増加は、経年劣化も要因として考えられるが、児童生徒等による取扱いの慎重度合いや落下等事故の頻度にもよるため、一概に成果を判断することは難しい。	どちらかといえば上がっている	上がっていない
	上がっている	理由 根拠 ➔			安全安心な食器を使用することで、食事の楽しさの一端を担っている。食器破損数の増加は、経年劣化も要因として考えられるが、児童生徒等による取扱いの慎重度合いや落下等事故の頻度にもよるため、一概に成果を判断することは難しい。	
どちらかといえば上がっている						
上がっていない						
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？						
成果向上余地	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">成果向上余地 大</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠 ➔</td> <td rowspan="3" style="padding: 5px;">令和元年度に給食用箸を更新し、児童生徒に安全安心な給食を提供している。</td> </tr> <tr style="background-color: #cccccc;"> <td>成果向上余地 中</td> </tr> <tr> <td>成果向上余地 小</td> </tr> </table>	成果向上余地 大	理由 根拠 ➔	令和元年度に給食用箸を更新し、児童生徒に安全安心な給食を提供している。	成果向上余地 中	成果向上余地 小
成果向上余地 大	理由 根拠 ➔	令和元年度に給食用箸を更新し、児童生徒に安全安心な給食を提供している。				
成果向上余地 中						
成果向上余地 小						
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？						
コスト	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">ある</td> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠 ➔</td> <td rowspan="2" style="padding: 5px;">給食を安全に喫食するために必須な食器の更新である。</td> </tr> <tr style="background-color: #cccccc;"> <td>なし</td> </tr> </table>	ある	理由 根拠 ➔	給食を安全に喫食するために必須な食器の更新である。	なし	
ある	理由 根拠 ➔	給食を安全に喫食するために必須な食器の更新である。				
なし						

事業名：小中学校学習サポート事業

【事業番号 864】
 学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育			戦略	2 安心して子どもを産み育てることができるまちづくり				
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策	(2) 教育内容の充実				
開始年度	平成21年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内公立小中学校の児童生徒

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	市内公立小中学校の児童生徒数	人	8,654	8,689	8,656	8,785
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

放課後の学習支援や、複数の教員が役割を分担し協力し合いながら指導する「チーム・ティーチング」などの学校支援を行う学習サポート教員（教員資格者）や、書写やミシンなど、教科指導以外の学校支援を行う学校支援地域ボランティアを募集し、市内小中学校（全25校）に派遣する。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	学習サポート教員の登録人数	人	34	34	36	36
活動指標 2	学校支援地域ボランティアの登録人数	人	70	28	40	36

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

学校における、多様な学習機会を提供する。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	学習サポート教員の年間派遣回数	回	3,367	3,470	3,464	3,470
成果指標 2	学校支援地域ボランティアの年間派遣回数	回	422	279	567	415

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費 (A)		千円	9,005	9,047	9,322	9,372
正職員人件費 (B)		千円	3,052	3,043	3,042	3,842
総事業費 (A+B)		千円	12,057	12,090	12,364	13,214

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	<ul style="list-style-type: none"> 市内小中学校の全校に学習サポート教員及び学校支援地域ボランティアを派遣する。 一校あたり学習サポート教員を平均139回、学校支援地域ボランティアを平均23回派遣した。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習サポート教員派遣経費 6,928千円 コーディネーター報酬等 2,394千円 	

事業開始背景
平成19、20年度の全国学力学習状況調査において、北海道が下から2番目という調査結果を受け、全道をあげて学力向上を目指しているところであるが、江別市においても、平成20年度江別市学校改善支援プランを作成し、その中で、江別市が学校に対する支援の一環として、児童・生徒の学力向上のためのボランティア等による授業サポート事業の実施を掲げた。
事業を取り巻く環境変化
年金の支給開始年齢が引き上げられたことに伴い、定年退職後は再任用職員となる教員が増加したため、退職教員を活用した学習サポート教員の人材確保が難しくなりつつある。 また、新型コロナウイルス感染症の影響により、学校支援地域ボランティアの人材確保や学校側での受入れが困難となっている。

令和4年度の実績による担当課の評価（令和5年度7月時点）		
成果動向及び原因分析	(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？	
	<input checked="" type="checkbox"/> 上がっている <input type="checkbox"/> どちらかといえば上がっている <input type="checkbox"/> 上がっていない	理由根拠
	ティーム・ティーチングによる学習支援を行うことで、児童生徒個々の状況に応じて、きめ細やかな指導が行えており、授業中のみならず放課後の学習支援や学校支援地域ボランティアの教科指導以外における支援も行っている。 また、学校支援地域ボランティアの派遣について、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により派遣回数が減少したが、令和4年度は感染対策を徹底しながら派遣を行ったため、派遣回数が増加した。	
成果向上余地	(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？	
	<input type="checkbox"/> 成果向上余地 大 <input type="checkbox"/> 成果向上余地 中 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上余地 小	理由根拠
	学習サポート教員の人材確保は近年難しくなっているが、広報誌等で学習サポート教員の確保について広く周知し、登録者数を増やす手段を引き続き行っていく。	
コスト	(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？	
	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> なし	理由根拠
	学校からの派遣希望が多い状況であり、様々な場面での活用が求められる中で、現行の学力を維持・向上させるためには、学習サポート教員の派遣日数を減らすことは難しい。 また、地域ボランティアにおいても無償で実施しているため、現状からコストを減らすことは難しい。	

事業名：子どものための読書環境整備事業

情報図書館 主査(奉仕・事業)

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	平成18年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

市内の子どもとボランティア

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	市内小中学校数	校	25	25	25	25
対象指標 2						

手段(事務事業の内容、手法)

・司書教諭等と連携して多様な読書活動を企画・実施し、学校図書館サービスの改善・充実を図るため、市内小・中学校を巡回する司書と支援司書を配置する。
 ・児童生徒の自ら学ぼうとする意欲を喚起し、学力の向上を後押しするため、児童生徒の朝読書や調べ学習、総合的な学習の時間などの学校が行う教育活動を支援する。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	司書巡回学校数	校	7	9	10	10
活動指標 2	司書短期間支援学校数	校	17	14	12	13

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

・児童生徒が発達の段階に応じて読書の楽しさを知り、読書の幅が広がり、読書体験が深まるようになる。
 ・児童生徒が読書活動を通じて生涯にわたり絶えず自発的に学ぼうとする意欲や習慣が身に付くようになる。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	司書巡回によって増加した貸出冊数	冊	737	723	803	625
成果指標 2	司書巡回期間のボランティア活動回数	回	2	4	13	8

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費(A)		千円	8,244	8,747	8,659	11,159
正職員人件費(B)		千円	4,577	4,564	4,562	4,610
総事業費(A+B)		千円	12,821	13,311	13,221	15,769

事業内容(主なもの)		費用内訳(主なもの)	
4年度	<ul style="list-style-type: none"> 司書による学校図書館の環境整備への支援 司書による学習支援 司書と学校図書館ボランティアとの協働による支援 	<ul style="list-style-type: none"> 会計年度任用職員報酬等(巡回司書3名、支援司書1名) 資料整理等の消耗品 団体貸出用図書、朝読書、調べ学習用図書購入費 	<p>8,414千円 145千円 100千円</p>

事業開始背景

平成13年12月に策定された「子どもの読書活動の推進に関する法律」の本旨に基づき、学校図書館の環境を整備し、児童生徒の利用を促進する目的で、平成18年度から学校図書館への司書の巡回を開始した。

事業を取り巻く環境変化

- ・「子どもの読書活動の推進に関する法律」の制定（平成13年12月）
- ・「文字・活字文化振興法」の制定（平成17年7月）
- ・「江別市子どもの読書活動推進計画」を策定（平成18年度）
- ・「第2期江別市子どもの読書活動推進計画」を策定（平成26年度）
- ・「学校図書館法」一部改正により、学校司書が法制化される（平成27年4月）
- ・国の「学校図書館ガイドライン」の制定（平成28年11月）
- ・国の「学校図書館図書整備等5ヶ年計画」の制定（平成29年度）
- ・「第3期江別市子どもの読書活動推進計画」を策定（令和元年度）

令和4年度の実績による担当課の評価（令和5年度7月時点）

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	上がっている	理由根拠
	どちらかといえば上がっている	
	上がっていない	
情報図書館の司書が巡回して読書環境の整備を支援することにより、児童・生徒や授業での学校図書館の利用につながっている。また、巡回校への一定期間の支援のほか、平成29年度から各校への短期間支援を行うことによって、環境整備の拡充が図られた。司書巡回による貸出冊数の増加やボランティア活動の増加については、新型コロナウイルス感染症に対する規制が緩和されたことに起因されたものと考えられる。		
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	成果向上余地 大	理由根拠
	成果向上余地 中	
	成果向上余地 小	
これまで事業を実施してきたことにより、各校の学校図書館の環境が整ってきている状況であり、今後も継続して取り組みを進めていくことで成果が向上する余地がある。		
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？		
コスト	ある	理由根拠
	なし	
運営コストは、職員報酬、図書購入費当であり、削減の余地はない。		

事業名：食育推進事業

給食センター 業務係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	平成21年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内の小中学校児童生徒等

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	小中学校児童生徒数	人	8,654	8,689	8,656	8,785
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

江別市学校給食食育運営委員会において取りまとめた「江別市の公立小中学校における食育の推進」により示した方向性に従い、学校が進める食育に関する活動及び事業に対して、必要な指導、援助を行う。
栄養教諭が、学校教育課程の中で「食に関する指導」を行う。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	運営委員会開催数	回	0	0	0	0
活動指標 2	栄養教諭による「食に関する指導」実施学級数	学級	246	268	285	330

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

食事の重要性を理解し、食事の自己管理能力や食品を選択する能力を身に付けることによって、豊かで健全な食生活を実践することができる人間が育つ。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	朝食を食べて学校に通う児童・生徒の割合	%	82.4	82.5	81.6	85
成果指標 2						

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費 (A)		千円	0	0	0	0
正職員人件費 (B)		千円	1,526	1,521	1,521	1,537
総事業費 (A+B)		千円	1,526	1,521	1,521	1,537

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	栄養教諭が学校教育課程の中で「食に関する指導」を行う。	人件費事業	

事業開始背景
食育基本法が制定され、市内の小中学校児童生徒等に食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けさせることが必要とされた。
事業を取り巻く環境変化
食育基本法に基づき、平成23年12月に「江別市食育推進計画」が策定され、平成31年3月に第3次計画が策定される。 また、江別市学校給食食育運営委員会において「江別市の公立小中学校における食育の推進」を取りまとめて各学校に配布し、今後の食育推進のための基本的な方向性を示している。

令和4年度の実績による担当課の評価（令和5年度7月時点）		
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	上がっている	理由根拠
	どちらかといえば上がっている	
	上がっていない	
<p>令和4年度において、江別市学校給食食育運営委員会の開催は無かったが、食育の推進に関する方向性に基づき、市内各校において推進に努めている。</p>		
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	成果向上余地 大	理由根拠
	成果向上余地 中	
	成果向上余地 小	
<p>食育の推進に関する方向性に基づいた助言・指導を基に、各校での食育の活動が活発化することで成果は向上していくが、目に見える成果が出るには時間を要するものと考えられる。</p>		
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？		
コスト	ある	理由根拠
	なし	
<p>事業費はない。</p>		

事業名：児童生徒体力向上事業

学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	平成22年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内公立小中学校の児童生徒

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	小中学校児童生徒数	人	8,654	8,689	8,656	8,785
対象指標 2	モデル校の児童数	人	192	189	209	227

手段（事務事業の内容、手法）

北翔大学の協力のもと、近隣に位置する文京台小学校をモデル校に指定し、児童生徒の体力向上に向けた取組を行う。モデル校以外で体力向上の取組が広がるよう、普及出前授業を実施する。また小学校高学年を対象に、正しい走り方や練習の仕方を実際に体を動かして習得する「走り方教室」を実施する。

※活動指標 2については、令和3年度まで「朝運動プログラム」、令和4年度からは「江別がときめくスポーツにトライ大作戦（スポトラ）」の数値となっている。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	体力向上に取り組んだ回数	回	10	9	12	13
活動指標 2	普及出前授業に参加した児童数	人	261	211	232	251

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

体を動かすことを楽しいと感じてもらうとともに、児童生徒の体力向上を図る。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	児童生徒で体力が向上した割合（モデル校）	%	0	75	56	66
成果指標 2	体を動かすことが楽しいと感じている児童の割合（モデル校及び普及出前授業実施校）	%	0	87	89	88

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費 (A)		千円	647	647	647	648
正職員人件費 (B)		千円	1,526	1,521	1,521	2,305
総事業費 (A+B)		千円	2,173	2,168	2,168	2,953

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校1校をモデル校とし、基礎的な動きを組み入れた運動を継続的に行える体力向上のための取組を行い、その効果と検証を行う。 ・運動遊びをベースとした体験による、江別市体力向上「スポトラ」事業普及のための出前講座を市内小学校4校にて行う。 ・正しい走り方等を実際に体を動かして習得する「走り方教室」を市内小学校17校にて行う。 	北翔大学への委託料 647千円	

事業開始背景	
<p>北海道では、平成20年度から実施された「全国体力・運動能力・運動習慣調査」において、全国と比べて体力不足が明らかとなった。 この現状を受け、江別市としても従前から体力向上に係る研究・分析を行っている北翔大学のノウハウを体力向上に活用するため、北翔大学の近隣に位置する文京台小学校をモデル校として指定し、本事業を開始したところである。</p>	
事業を取り巻く環境変化	
<p>現行の学習指導要領では、変化の激しい社会を担う「生きる力」の育成が基本理念となっており、この「生きる力」の要素の一つに「たくましく生きるための健康や体力」がある。</p>	

令和4年度の実績による担当課の評価（令和5年度7月時点）		
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	上がっている	理由根拠 ▶
	どちらかといえば上がっている	
	上がっていない	
<p>令和3年度まで実施してきた「朝の運動プログラム」に関する普及授業は、13年間で2巡したことから一つの節目を迎え、令和4年度より各校ごとの運動課題に焦点を当てた「江別がときめくスポーツにトライ大作戦（スポトラ）」が開始される運びとなった。また、小学校17校で走り方教室の啓発活動を行い、体を動かすことが楽しいと感じてもらうとともに、体力向上へつなげることができた。</p>		
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	成果向上余地 大	理由根拠 ▶
	成果向上余地 中	
	成果向上余地 小	
<p>令和4年度から開始した通称スポトラは、初年度に挙げた課題に必要な改善等を行い、各学校における課題解決運動を発展させることが期待できる。</p>		
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？		
コスト	ある	理由根拠 ▶
	なし	
<p>児童生徒が意欲的に興味を持って取り組めるような、専門的見地からの体力向上事業の開発とその効果について、引き続き北翔大学と連携して検証する必要があるため、予算を削減することは難しい。</p>		

事業名：特別支援教育就学奨励費

【事業番号 952】
教育支援課 主査(教育支援)

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	平成23年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

市内小中学校特別支援学級及び通級指導教室に通学する児童生徒の保護者

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	小中学校特別支援学級及び市内小学校通級指導教室等に通学する児童生徒の保護者数	人	408	449	513	511
対象指標 2						

手段(事務事業の内容、手法)

学用品費、給食費、修学旅行費、通学費等を支給する。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	特別支援教育就学奨励費認定者数	人	221	271	287	227
活動指標 2	通学費認定者数	人	150	167	171	243

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

特別な支援を必要とする児童生徒の保護者の経済的負担が軽減される。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	特別支援教育就学奨励費認定率	%	54.2	60.4	55.9	44
成果指標 2	通学費認定率	%	36.8	37.2	33.3	48

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費(A)		千円	7,567	9,022	9,174	15,186
正職員人件費(B)		千円	4,578	4,564	4,562	4,610
総事業費(A+B)		千円	12,145	13,586	13,736	19,796

事業内容(主なもの)		費用内訳(主なもの)	
4年度	通学費、給食費、修学旅行費、学用品費等の一部補助 ※「要保護児童生徒援助補助金及び特別支援教育就学奨励費補助金要綱」に基づき、支出の2分の1を補助する。	通学費、給食費、修学旅行費、学用品費等の一部補助 小学校 5,568千円 中学校 3,606千円	

事業開始背景

特別支援学校への就学奨励に関する法律に基づき、障がいのある児童生徒が小中学校の特別支援学級等で学ぶ際に、保護者が負担する教育関係経費について、就学の特殊事情に鑑み保護者の経済的負担を軽減するため、家庭の経済状況に応じ補助を行っている。

事業を取り巻く環境変化

市内小中学校の児童生徒数が減少傾向にある中、特別支援学級及び通級指導教室に通う児童生徒数は増加し続けている。

令和 4年度の実績による担当課の評価（令和 5年度7月時点）

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	上がっている	理由根拠
	どちらかといえば上がっている	
	上がっていない	
特別支援学級に在籍する児童生徒及び通級指導教室に通学する児童の保護者の経済的負担を軽減することに貢献している。		
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	成果向上余地 大	理由根拠
	成果向上余地 中	
	成果向上余地 小	
国庫補助金に基づき実施しているため、これ以上の成果向上は困難である。		
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？		
コスト	ある	理由根拠
	なし	
当事業の対象児童生徒数が増加傾向にあり、一定の基準に基づき認定作業を行うことから、コスト削減は困難である。		

事業名：スクールソーシャルワーカー事業

【事業番号 1004】

教育支援課 主査(教育支援)

政策	06 子育て・教育			戦略	2 安心して子どもを産み育てることができるまちづくり				
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策	(2) 教育内容の充実				
開始年度	平成23年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

- ・児童生徒、保護者及び教育関係者

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	小中学校児童生徒数	人	8,654	8,689	8,656	8,785
対象指標 2						

手段(事務事業の内容、手法)

- ・課題を抱える児童生徒や保護者に対する医療受診や福祉サービス利用等の働きかけ
- ・学校や関係機関(医療機関、児童相談所、福祉サービス事業所等)との連携や調整
- ・保護者や学校への児童生徒理解等に関する助言や相談支援

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	スクールソーシャルワーカー配置人数	人	3	3	3	3
活動指標 2	延べ相談支援件数	件	1,099	740	764	1,100

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

- ・児童生徒、保護者の抱える課題が解決される。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	支援児童生徒数	人	181	166	175	180
成果指標 2						

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費(A)		千円	6,722	7,187	7,427	7,361
正職員人件費(B)		千円	3,052	3,043	3,042	3,073
総事業費(A+B)		千円	9,774	10,230	10,469	10,434

事業内容(主なもの)		費用内訳(主なもの)
4年度	福祉の専門知識を持つスクールソーシャルワーカーが、課題を抱える児童生徒や保護者に対する支援を行う。 なお、活動指標2「延べ相談支援件数」は、成果指標1「支援児童生徒数」に対して行った相談支援の延べ件数である。	スクールソーシャルワーカー報酬・手当：7,418千円

事業開始背景

児童生徒が抱える課題の背景には、心の諸症状とともに置かれている環境の課題が複雑に絡み合っていることがあり、関係機関と連携した働きかけが必要である。

事業を取り巻く環境変化

スクールソーシャルワーカーは、家庭の課題等について福祉的な視点に立ち、多方面から環境に働きかけることによって改善を図るよう活動しているが、複雑な課題を抱える児童生徒や不登校児童生徒は増加していることから、スクールソーシャルワーカーの必要性は一層増している。

令和 4年度の実績による担当課の評価（令和 5年度7月時点）

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	上がっている	理由 根拠
	どちらかといえば上がっている	
	上がっていない	
<p>複雑な課題を抱えた児童生徒や保護者など、学校が単独で対応することが困難な場合は、スクールソーシャルワーカーを中心として関係機関との連携により対応することで、課題の改善が図られており、学校や家庭からのニーズは増えている。</p>		
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	成果向上余地 大	理由 根拠
	成果向上余地 中	
	成果向上余地 小	
<p>スクールソーシャルワーカーの役割や活用方法について、小中学校等の理解が進んできている。これにより、適切な事案・場面での派遣要請を受けることが増えており、今後も引き続き本事業を実施していくことで、成果の向上が期待できる。</p>		
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？		
コスト	ある	理由 根拠
	なし	
<p>スクールソーシャルワーカーの人件費が主となる事業であるが、相談内容は複雑化・困難化しているため、福祉分野の専門的な知識を有するスクールソーシャルワーカーの配置は必要不可欠である。よって、コストの削減は困難である。</p>		

事業名：中文連・中体連負担金補助事業

【事業番号 5202】

学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	団体運営補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別市中学校文化連盟（中文連）
江別市中学校体育連盟（中体連）

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	連盟の会員数	人	3,457	3,504	3,410	3,512
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき、市内中文連、中体連に対し、必要経費の一部を補助する。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	補助金額（中文連・中体連補助金）	千円	865	1,226	1,125	1,159
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

各種大会を実行するための中文連・中体連の組織の健全な運営を図る。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	市内中文連・中体連大会開催数	回	5	14	16	14
成果指標 2						

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費 (A)		千円	864	1,226	1,125	15,694
正職員人件費 (B)		千円	1,144	761	760	3,073
総事業費 (A+B)		千円	2,008	1,987	1,885	18,767

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	市内中文連、中体連が負担する石狩管内中学校文化連盟の負担金及び石狩管内中学校体育連盟の負担金を補助する。	・市内中学校文化連盟負担金	204千円
		・市内中学校体育連盟負担金	921千円

事業開始背景
中学生の文化活動、体育活動を支援するため、基礎的な費用である石狩管内の各連盟負担金を補助することとした。
事業を取り巻く環境変化
中学生の生徒数は減少傾向にあるが、部活動加入者は毎年75%程度で推移している。

令和4年度の実績による担当課の評価（令和5年度7月時点）				
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？				
成果動向及び原因分析	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;"> <input checked="" type="checkbox"/> 上がっている <input type="checkbox"/> どちらかといえば上がっている <input type="checkbox"/> 上がっていない </td> <td style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">理由根拠</td> <td style="width: 60%; padding-left: 20px;"> 毎年、中文連・中体連の大会を開催している。 </td> </tr> </table>	<input checked="" type="checkbox"/> 上がっている <input type="checkbox"/> どちらかといえば上がっている <input type="checkbox"/> 上がっていない	理由根拠	毎年、中文連・中体連の大会を開催している。
<input checked="" type="checkbox"/> 上がっている <input type="checkbox"/> どちらかといえば上がっている <input type="checkbox"/> 上がっていない	理由根拠	毎年、中文連・中体連の大会を開催している。		
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？				
成果向上余地	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;"> <input type="checkbox"/> 成果向上余地 大 <input type="checkbox"/> 成果向上余地 中 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上余地 小 </td> <td style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">理由根拠</td> <td style="width: 60%; padding-left: 20px;"> 各種大会を実行するための健全な運営が保たれているため、成果が向上する余地が少ない。 </td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/> 成果向上余地 大 <input type="checkbox"/> 成果向上余地 中 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上余地 小	理由根拠	各種大会を実行するための健全な運営が保たれているため、成果が向上する余地が少ない。
<input type="checkbox"/> 成果向上余地 大 <input type="checkbox"/> 成果向上余地 中 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上余地 小	理由根拠	各種大会を実行するための健全な運営が保たれているため、成果が向上する余地が少ない。		
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？				
コスト	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;"> <input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> なし </td> <td style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">理由根拠</td> <td style="width: 60%; padding-left: 20px;"> 石狩管内中文連・中体連の規約に基づいて請求された負担金（単価×人数）で予算を算定しており、削減は難しい。 </td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> なし	理由根拠	石狩管内中文連・中体連の規約に基づいて請求された負担金（単価×人数）で予算を算定しており、削減は難しい。
<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> なし	理由根拠	石狩管内中文連・中体連の規約に基づいて請求された負担金（単価×人数）で予算を算定しており、削減は難しい。		

事業名：小中学校外国語教育支援事業

【事業番号 6209】
 学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育			戦略	2 安心して子どもを産み育てることができるまちづくり				
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策	(2) 教育内容の充実				
開始年度	平成28年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内公立小・中学校の児童生徒

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	市内公立小中学校の児童生徒数	人	8,654	8,689	8,656	8,785
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

市内公立小中学校に、外国語の授業を支援する外国語指導助手（10名）を派遣する。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	外国語指導助手が入った授業の年間時数	時数	6,524	6,751	7,293	6,589
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

諸外国の生活や文化等について理解を深め、児童生徒のコミュニケーションに関する関心を高める。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	外国語指導助手との外国語の授業を楽しいと考える児童生徒の割合	%	86	83	87	85
成果指標 2						

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費 (A)		千円	34,381	34,031	34,455	34,953
正職員人件費 (B)		千円	6,103	6,086	6,083	6,146
総事業費 (A+B)		千円	40,484	40,117	40,538	41,099

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語の授業において、複数の教員が役割を分担しながら指導する「チーム・ティーチング」などの学習支援を行う。 ・長期休業期間中における外国語活動の実施。 	外国語指導助手報酬	33,174千円

事業開始背景

社会のグローバル化が急速に進む中で、英語力の一層の充実を図っていくことが大きな課題となっており、ネイティブスピーカーと接する機会を通じて、子どもたちの異文化理解やコミュニケーション能力の向上等が求められている。

事業を取り巻く環境変化

令和2年度からの新学習指導要領に基づき、小学校3・4年生の外国語活動においては、年間15時間から年間35時間に、小学校5・6年生の外国語科においては年間50時間から年間70時間に増加する。

令和4年度の実績による担当課の評価（令和5年度7月時点）

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	上がっている	理由根拠
	どちらかといえば上がっている	
	上がっていない	
10名の外国語指導助手を市内小中学校すべてに派遣することで、一定の成果が上がっている。		
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	成果向上余地 大	理由根拠
	成果向上余地 中	
	成果向上余地 小	
外国語指導助手の派遣可能時数には限りがあり、現在、最大限外国語指導助手を学校へ派遣している状況であるため、外国語指導助手の更なる派遣は困難であり、成果向上余地はない。		
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？		
コスト	ある	理由根拠
	なし	
外国語指導助手の派遣時数と成果指標は相関関係にあるため、コストを削減し、成果を維持することは困難である。		

事業名：コミュニティ・スクール事業

総務課 総務係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	平成29年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内市立小・中学校

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	市内市立小・中学校数	校	25	25	25	25
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

全小中学校の学校運営委員会委員に報酬を支給するとともに、各学校運営委員会を支援する。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	コミュニティ・スクール設置校	校	25	25	25	25
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

学校・家庭・地域が、目指す子ども像を共有し、一体となって子どもを育てる持続可能な仕組みを持った学校づくりを行う。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	学校運営委員会開催回数	回	72	75	75	75
成果指標 2						

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費 (A)		千円	1,481	1,525	1,485	1,904
正職員人件費 (B)		千円	3,815	3,804	3,802	3,842
総事業費 (A+B)		千円	5,296	5,329	5,287	5,746

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	学校運営委員会を運営するための経費	・学校運営委員会委員報酬	986千円
		・市外研修旅費	0千円
		・広報活動費等諸経費	498千円

事業開始背景	
<p>平成16年の地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正により、学校運営に関して保護者や地域住民などが運営に参画するための機関として、教育委員会が指定する学校に学校運営協議会を置くことが可能となり、コミュニティ・スクールが法により制度化された。</p> <p>当市においては、平成27年12月に市立小中学校全校への導入の方針を定め、これまでの学校支援地域本部、学校評議員、学校関係者評価委員などの取組を基盤として、学校・家庭・地域が連携・協力して子どもを育てる持続可能な仕組みを持った学校づくりを行う「えべつ型コミュニティ・スクール」を平成29年4月から全小中学校に導入した。</p>	
事業を取り巻く環境変化	
<p>平成29年4月の法改正により、コミュニティ・スクールの導入が教育委員会の努力義務となっている。</p> <p>道内では、平成29年4月1日の時点で164校、令和4年5月1日現在で、1,138校（いずれも幼稚園等を含む。）でコミュニティ・スクールが導入されている。</p> <p>また、当市においては、令和5年度からコミュニティ・スクールと極めて親和性の高い事業である小中一貫教育を全小中学校で開始している。</p>	

令和4年度の実績による担当課の評価（令和5年度7月時点）		
成果動向及び原因分析	(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？	
	<p>上がっている</p> <p>どちらかといえば上がっている</p> <p>上がっていない</p>	<p>理由根拠</p> <p>導入6年目となり、コロナ禍で市外研修には参加できなかったが、学校・委員からは、「地域住民が学校運営に参加する機会が増え、学校との連携が深まった」、「学校が抱える諸課題について話し合う場が十分に持てた」、「学校に対する保護者や地域の理解が深まった」、「保護者に対する細やかな対応が感じられ、積極的な情報発信が保護者の学びにつながり、連携して子どもを育てていくことにつながる」などの意見があり、少しずつ成果が上がっている。</p>
	成果向上余地	<p>(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？</p> <p>成果向上余地 大</p> <p>成果向上余地 中</p> <p>成果向上余地 小</p> <p>理由根拠</p> <p>地域住民の学校運営参画の機会が確保され、学校と地域のつながりがさらに深まることで成果向上が期待される。</p>
コスト	(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？	
	<p>ある</p> <p>なし</p>	<p>理由根拠</p> <p>本事業は、各学校運営委員会を運営する上で、必要な委員報酬と事務経費の一部を予算措置しているものであり、必要最低限のコストである。</p>

事業名：医療的ケア児支援事業

教育支援課 主査(教育支援)

政策	06 子育て・教育		戦略	2 安心して子どもを産み育てることができるまちづくり				
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実		具体的施策	(2) 教育内容の充実				
開始年度	令和元年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

小中学校において医療的ケアの対象となる児童生徒

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	小中学校において医療的ケアの対象となる児童生徒数	人	0	0	2	2
対象指標 2						

手段(事務事業の内容、手法)

- ・学校に看護師を配置し、医療的ケアを必要とする児童生徒への支援を行う。
- ・医療的ケア運営協議会において実施に関する協議を行い、支援に当たっては安全かつ適正に医療的ケアを実施する。
- ・医療的ケアに伴う備品購入や施設整備を行う。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	学校看護師数	人	3	3	3	3
活動指標 2						

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

医療的ケアの対象となる児童生徒が安心して就学できる。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	学校において医療的ケアを実施した人数	人	0	0	2	2
成果指標 2	学校における医療的ケア児の受入れ可能人数	人	2	2	2	2

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費(A)		千円	113	707	465	952
正職員人件費(B)		千円	23,650	23,582	23,572	23,817
総事業費(A+B)		千円	23,763	24,289	24,037	24,769

事業内容(主なもの)		費用内訳(主なもの)	
4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・学校看護師の配置 ・医療的ケア運営協議会の運営 ・医療的ケア実施に係る施設整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療的ケア運営協議会委員への謝礼：87千円 ・施設整備費：275千円 ・備品購入費：87千円 	

事業開始背景
医療技術の進歩に伴い医療的ケア児が増加する中、国では小中学校における医療的ケアの実施を支援し、医療的ケア児への対応の推進が図られている。北海道も平成30年3月に「特別支援教育に関する基本方針」において、医療的ケアを行う看護師の配置等、医療的ケアのより充実した実施体制の推進を示す中、江別市においても、今後の行政需要における対応の一環として、平成30年10月に看護師を学校に配置し、平成31年4月に事業を開始した。
事業を取り巻く環境変化
令和3年6月18日に医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律が公布され、医療的ケア児及びその家族への支援に関する基本理念や国、地方公共団体等の責務が定められた。

令和4年度の実績による担当課の評価（令和5年度7月時点）		
成果動向及び原因分析	(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？	
	<p>上がっている</p> <p>どちらかといえば上がっている</p> <p>上がっていない</p>	<p>理由根拠</p> <p>▶</p>
	令和4年度に就学した医療的ケア児に対し、学校に配置した看護師が必要なケアを行うことで、安心安全な学校生活を送るための支援を行うことができた。	
成果向上余地	(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？	
	<p>成果向上余地 大</p> <p>成果向上余地 中</p> <p>成果向上余地 小</p>	<p>理由根拠</p> <p>▶</p>
	児童生徒の状況に応じた人員配置や環境整備により、成果向上が見込まれる。	
コスト	(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？	
	<p>ある</p> <p>なし</p>	<p>理由根拠</p> <p>▶</p>
	医療的ケア児を小中学校で受入れる際や対象児童生徒の成長状況に応じた環境整備が必要になり、工事費等によるコスト増が見込まれる。	

事業名：小中学校ICT環境整備事業

学校教育課参事(教育情報化)

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	令和 2年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

市内公立小中学校の教職員

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	小中学校教職員数	人	623	625	631	658
対象指標 2						

手段(事務事業の内容、手法)

業務の円滑化及び情報セキュリティの確保を図るため、教職員1人につき1台、校務用コンピュータを配備するなど、市内公立小中学校におけるICT環境を整備する。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	校務用コンピュータ配備台数	台	623	625	631	658
活動指標 2						

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

市内公立小中学校に校務支援システムを導入し、教職員における校務の効率化を図る。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	校務支援システム導入校数	校	25	25	25	25
成果指標 2						

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費(A)		千円	34,090	34,811	38,375	63,496
正職員人件費(B)		千円	4,577	4,564	4,562	4,610
総事業費(A+B)		千円	38,667	39,375	42,937	68,106

事業内容(主なもの)		費用内訳(主なもの)	
4年度	<ul style="list-style-type: none"> 業務の円滑化を図るため、教職員1人につき1台、校務用コンピュータを配置する。 校務支援システムを活用し、教職員の校務の効率化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 校務支援システム利用料等 9,991千円 校務用コンピュータ等償還金 14,950千円 ICT環境維持管理経費等 13,434千円 	

事業開始背景

北海道教育委員会では、平成28年度から民間のソフトウェアを活用した共同利用型校務支援システム（EDUCOMマナージャーC4th）の運用を開始しており、江別市においても校務の効率化及び働き方改革の一環として、当該システムの導入が求められ、本事業を開始した。

事業を取り巻く環境変化

教育職員の働き方改革については、北海道教育委員会が策定した、学校における働き方改革北海道アクション・プラン（第2期）に基づき取り組みが進められており、江別市においても、江別市立学校における働き方改革推進計画（第2期）に基づき、教職員の働き方改革を推進している。

令和4年度の実績による担当課の評価（令和5年度7月時点）

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	上がっている	理由根拠
	どちらかといえば上がっている	
	上がっていない	
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	成果向上余地 大	理由根拠
	成果向上余地 中	
	成果向上余地 小	
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？		
コスト	ある	理由根拠
	なし	

事業名：北海道中学校水泳大会補助金

【事業番号 6754】
 学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	令和 4年度	終了年度	—	区分1	新規	区分2	単独	補助金	団体運営補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

北海道中学校水泳大会事務局

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	事務局数		0	0	1	0
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき、北海道中学校水泳大会事務局に対して、必要経費の一部を補助する。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	補助金額		0	0	200	0
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

中学校体育活動の振興を図る。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	大会参加者数		0	0	600	0
成果指標 2						

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費 (A)		千円	0	0	200	0
正職員人件費 (B)		千円	0	0	760	0
総事業費 (A+B)		千円	0	0	960	0

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	中体連の全道水泳大会が当市で開催されるにあたり、その運営に係る経費を補助する。 ・開催期間：令和4年7月22日～24日 ・開催場所 北海道立野幌総合運動公園総合体育館プール	・北海道中学校水泳大会への補助金 200千円	

事業開始背景

開催地として大会運営費の一部を補助している。

事業を取り巻く環境変化

令和4年度のみ開催。

令和4年度の実績による担当課の評価（令和5年度7月時点）

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？

成果動向及び原因分析	上がっている	理由根拠	大会が予定通りに実施された。
	どちらかといえば上がっている		
	上がっていない		

(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地	成果向上余地 大	理由根拠	令和4年度のみ開催のため。
	成果向上余地 中		
	成果向上余地 小		

(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？

コスト	ある	理由根拠	必要最小限の補助額とした。
	なし		

政策	06 子育て・教育			戦略	2 安心して子どもを産み育てることができるまちづくり				
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策	(2) 教育内容の充実				
開始年度	令和 2年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標						
対象 (誰、何に対して事業を行うのか)						
市内小中学校児童生徒						
指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	市内公立小中学校の児童生徒数	人	8,654	8,689	8,656	8,785
対象指標 2						

手段 (事務事業の内容、手法)						
文部科学省が掲げる「G I G Aスクール構想」を推進し、学習者用端末等をはじめとした学校 I C T環境を整備する。						
指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	学習者用端末整備台数	台	7,125	7,125	9,115	9,115
活動指標 2						

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)						
学習者用端末等をはじめとした機器を整備することで、I C Tを活用した円滑な授業実施を図る。						
指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	児童生徒に対する学習者用端末配備割合	%	82	82	100	100
成果指標 2						

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費 (A)		千円	735,854	34,134	213,633	47,490
正職員人件費 (B)		千円	7,629	7,607	10,646	7,683
総事業費 (A+B)		千円	743,483	41,741	224,279	55,173

事業内容 (主なもの)		費用内訳 (主なもの)	
4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2学年分の学習者用端末の整備を行う。 ・ 学習者用端末等を活用した授業を行うにあたり、専門知識を有する外部事業者による迅速なサポート体制を構築する。 ・ 円滑に授業を実施するため、通信環境を確保する。 ・ 緊急時の学びを保障するため、通信環境がない児童生徒に貸与するモバイルルーターを整備する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習者用端末等購入費 174,220千円 ・ 運用保守関連経費 35,011千円 ・ ネットワーク回線経費 2,402千円 ・ モバイルルーター購入・通信費 2,000千円 	

事業開始背景
文部科学省は、平成29年3月に公表された新学習指導要領において、新たに「情報活用能力」を求められる資質・能力の一つとして位置付けた。さらに、政府は令和元年12月の『安心と成長の未来を拓く総合経済対策』において、学校における高速大容量のネットワーク環境の整備を推進するとともに、特に義務教育段階において、令和5年度までに、児童生徒一人一人がそれぞれ端末を持ち、十分に活用できる環境の実現を目指すことを受け、整備を進めるため、本事業を開始した。
事業を取り巻く環境変化
一人一台端末及び高速大容量の通信ネットワークなど、国が示すICT環境の整備が概ね完了し、今後は学習指導要領に掲げられた各目標の達成に向けて、効果的なICTの活用が求められている。

令和4年度の実績による担当課の評価（令和5年度7月時点）		
成果動向及び原因分析	(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？	
	<input checked="" type="checkbox"/> 上がっている <input type="checkbox"/> どちらかといえば上がっている <input type="checkbox"/> 上がっていない	理由根拠
	全小中学校に学習者用端末や多機能大型ディスプレイをはじめとするICT機器を導入し、今までの教育実践と最先端のICTを掛け合わせることで、より効果的な授業を行えるようになった。	
成果向上余地	(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？	
	<input type="checkbox"/> 成果向上余地 大 <input type="checkbox"/> 成果向上余地 中 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上余地 小	理由根拠
	令和4年度で全学年の学習者用端末の整備が終了したため、これ以上の成果向上余地はない。	
コスト	(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありますか？	
	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> なし	理由根拠
	端末の仕様は、国が示す標準仕様を基本に必要な最低限とし、調達コストを抑えた。GIGAスクールサポーターの配置についても、国が示す水準の概ね6割程度としており、更なるコストの削減は難しい。	

事業名：江別の魅力「食」と「自然」を満喫できる体験型学習事業

生涯学習課 青少年係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	令和 4年度	終了年度	—	区分1	新規	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別市に居住する小学4年生から中学3年生の児童・生徒

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	小学4年生から中学3年生までの児童・生徒数	人	0	0	5,783	5,880
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

地域の住民団体やボランティア団体と協働して、江別市の魅力である「食」や「自然」を通じた体験型学習の機会を提供する。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	体験型学習プログラム数	件	0	0	2	2
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

豊かな自然環境の中での「自然体験学習」や「地場産品を活用した食育」を通じて、江別市の持つ様々な魅力が子どもたちに理解される。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	申込人数	人	0	0	23	50
成果指標 2	参加者数	人	0	0	23	50

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費 (A)		千円	0	0	205	260
正職員人件費 (B)		千円	0	0	1,901	1,921
総事業費 (A+B)		千円	0	0	2,106	2,181

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	開催内容 ・レクリエーション（異年齢交流） ・自然体験学習 ・昼食・夕食（調理時に食育）	消耗品 88千円 指導員謝礼 48千円 食材費 48千円	

事業開始背景

令和2年度に、内閣官房が実施する、少子化対策の必要性を検討するための調査研究事業に江別市が参加し、地域分析を行った。令和3年度は、庁内横断的に少子化対策の事業を考案するための組織「少子化対策庁内連携会議」が設置され、少子化対策の観点で「子育て・就労を充実させること」（子育て・就労部会担当）と「住まいやあそび場などの魅力を創出すること」（魅力創出部会担当）の2点にテーマを絞り、令和4年度の新規事業化に向けた検討を行った。検討の結果、少子化対策庁内連携会議（魅力創出部会）から、都市と農村の交流センター「えみくる」を拠点とした「道産木材を活用した魅力的な遊び場創設事業」と、その魅力をさらに高めるためのソフト事業として本事業が提言され、令和4年度の事業化に至った。

事業を取り巻く環境変化

新型コロナウイルス感染症の渦中で始まった事業であり、初年度は制限を設けながら実施せざるを得なかった。令和5年5月以降は、行動制限が撤廃されたことから、レクリエーション等も接触の多いものを実施することができるようになる等、事業開始当初よりも幅広い内容で展開することが可能となった。

令和4年度の実績による担当課の評価（令和5年度7月時点）

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	上がっている	理由根拠 ➡
	どちらかといえば上がっている	
	上がっていない	
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	成果向上余地 大	理由根拠 ➡
	成果向上余地 中	
	成果向上余地 小	
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありますか？		
コスト	ある	理由根拠 ➡
	なし	

事業名：小中一貫教育推進事業

学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育	戦略	2 安心して子どもを産み育てることができるまちづくり					
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実	具体的施策	(2) 教育内容の充実					
開始年度	令和 4年度	終了年度	—	区分1	新規	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内市立小中学校の児童生徒

指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1 市内公立小中学校児童生徒数	人	0	0	8,656	8,785
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、手法）

小中学校、家庭、地域で目指す子ども像を共有するとともに、9年間を通じた教育課程を編成し、系統的な教育を行うための小中一貫教育推進体制を整備する。

指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1 小中一貫教育導入学校数	校	0	0	2	25
活動指標 2 小学6年生の中学校登校日数	日	0	0	19	19

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

小中学校・家庭・地域が中学校卒業時の望ましい姿を共有しながら、義務教育の9年間で系統性と発達段階に応じた連続性のある指導に取り組む一貫教育を推進することで、目指す子ども像を実現する。

指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1 「自分にはよいところがある」と回答した生徒の割合	%	0	0	78	83
成果指標 2 「将来の夢や目標を持っている」と回答した生徒の割合	%	0	0	66	67

事業費の推移	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費 (A)	千円	0	0	2,314	2,002
正職員人件費 (B)	千円	0	0	6,083	6,146
総事業費 (A+B)	千円	0	0	8,397	8,148

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
4年度 令和2年度に策定した「江別市小中一貫教育基本方針」に基づき、市教委と各中学校区が行う様々な取組を通じて、学習習慣や生活規律の定着、中1ギャップの緩和、異学年交流の促進、授業改善などにより、目指す子ども像を実現する。	<ul style="list-style-type: none"> ・研修、会議の運営及び先進事例等視察に係る経費 457千円 ・小学校6年生が中学校登校を行う際に利用するバス・タクシー代 856千円 ・小学校6年生が中学校登校を行う際の給食費差額 6千円 ・研究用教科書購入費 484千円 ・小中一貫教育導入に係る周知用リーフレットの作成経費 511千円

事業開始背景
「第2期江別市学校教育基本計画」において、基本施策のひとつに「学校段階間の連携の推進」を掲げている。このことを受けて、小学校と中学校が課題や情報を共有し、系統性と連続性をもって指導に取り組み、より一層の教育の充実を図ることを目的として、全ての市立小・中学校で小中一貫教育を実施する。
事業を取り巻く環境変化
義務教育9年間を見通した系統的な教育活動を進める動きが全国で広まっている。

令和4年度の実績による担当課の評価（令和5年度7月時点）		
成果動向及び原因分析	(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？	
	<input checked="" type="checkbox"/> 上がっている <input type="checkbox"/> どちらかといえば上がっている <input type="checkbox"/> 上がっていない	理由根拠 <p>小学校と中学校が学習指導や生徒指導の課題・情報を共有し、義務教育の9年間における「目指す子ども像」を定め、その達成に向けて、「一貫した指導」や「系統的な指導」、「相乗的・補完的な指導」に取り組むことで、一定の成果が上がっている。</p>
	(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？	
成果向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 成果向上余地 大 <input type="checkbox"/> 成果向上余地 中 <input type="checkbox"/> 成果向上余地 小	理由根拠 <p>令和4年度から江別第二中学校区で先行導入し、令和5年度から市内の全小中学校で本格導入となるため。</p>
コスト	(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？	
	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> なし	理由根拠 <p>小中一貫教育推進体制を整備し、実現するための最低限の経費であるため、コストを削減し、成果を維持することは困難である。</p>

事業名：学校給食原材料費高騰対策事業（物価高騰対策）

給食センター 業務係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	令和 4年度	終了年度	—	区分1	新規	区分2	単独	補助金	団体運営補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内小中学校の児童生徒等

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	小中学校児童生徒数	人	0	0	8,656	8,785
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

保護者負担を増加させることなく、給食原材料費を確保するため、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して、学校給食の原材料等を発注している江別市学校給食会へ補助金を交付する。併せて、市内原材料納入事業者への支援及び児童生徒の食育の推進を図る。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	補助金交付回数	回	0	0	1	1
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

新型コロナウイルス感染症の長期化により、学校給食の原材料費が高騰した状況において、栄養バランスが保たれた学校給食の安定的な供給を図る。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	学校給食提供日数	日	0	0	202	201
成果指標 2						

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費 (A)		千円	0	0	25,485	0
正職員人件費 (B)		千円	0	0	1,521	0
総事業費 (A+B)		千円	0	0	27,006	0

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	江別市学校給食会に対する学校給食原材料費の高騰分の補助金	江別市学校給食会への原材料費高騰対策補助金 25,485千円	

事業開始背景
<p>新型コロナウイルス感染症の長期化による物価高騰の影響を受け、学校給食食材費が高騰している。物価高騰による給食費増額分について、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、江別市から学校給食食材費を支出する江別市学校給食会へ補助金を交付することとした。</p>
事業を取り巻く環境変化
<p>物価高騰は収束の兆しが見えず、今後も学校給食食材費の高騰は継続するものと見られる。</p>

令和 4年度の実績による担当課の評価（令和 5年度7月時点）		
成果動向及び原因分析	(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？	
	理由根拠	補助金の活用により、安定的に給食を提供することができる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 上がっている <input type="checkbox"/> どちらかといえば上がっている <input type="checkbox"/> 上がっていない	
成果向上余地	(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？	
	理由根拠	補助金を財源としており、事業期間が限定的であるため。
	<input type="checkbox"/> 成果向上余地 大 <input type="checkbox"/> 成果向上余地 中 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上余地 小	
コスト	(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？	
	理由根拠	必要最低限のコストで実施している。
	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> なし	

事業名：公民館管理運営事業

【事業番号 423】
生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	01 生涯学習の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

公民館

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	施設数	施設	3	3	3	3
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

指定管理者制度を活用し、施設利用者へのサービス向上及び施設管理運営の効率化を図る。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	指定管理料	千円	91,903	94,101	102,600	98,081
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

適切な維持管理及び運営のもと、社会教育の中心施設となる。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	利用者数	人	74,916	79,550	139,851	126,600
成果指標 2						

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費 (A)		千円	94,978	96,554	106,620	100,271
正職員人件費 (B)		千円	3,052	1,902	1,901	1,921
総事業費 (A+B)		千円	98,030	98,456	108,521	102,192

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理協定の締結 施設及び物品の修繕 	指定管理料	102,600千円

事業開始背景

- ・平成元年 中央公民館開設
- ・昭和59年 野幌公民館開設
- ・平成9年 大麻公民館開設

事業を取り巻く環境変化

- ・平成18年度から指定管理者制度を導入
- ・施設の老朽化
- ・市民の学習ニーズの多様化
- ・新型コロナウイルス感染症拡大を受けて、令和2年4月18日～令和2年5月31日を臨時休館とした。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大を受けて、令和3年5月16日～令和3年6月20日及び令和3年8月14日～令和3年9月30日を臨時休館とした。
- ・令和4年度指定管理更新時に、指定期間を4年間から8年間に変更した。

令和4年度の実績による担当課の評価（令和5年度7月時点）

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	上がっている	理由根拠
	どちらかといえば上がっている	
	上がっていない	
<p>感染拡大防止と社会経済活動の両立の観点から業種別ガイドラインが見直され、中止していたイベントが再開するなど、イベント開催件数と参加者数が増えている。また、定例で活動する団体の活動人数も増えたため、利用者数が増加した。</p>		
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	成果向上余地 大	理由根拠
	成果向上余地 中	
	成果向上余地 小	
<p>コロナが収束したとはいえませんが、行動制限が緩和され、自粛していた団体や個人の活動が徐々に再開し始め、活動数が増えてきていることから、利用者数の増加が見込める。また、コロナ収束後の市民ニーズや社会的ニーズ、地域課題に応える事業・講座を企画・実施していくことで、成果が向上する余地がある。</p>		
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？		
コスト	ある	理由根拠
	なし	
<p>燃料費等の高騰や、施設の老朽化が進み、維持補修費が増加していることなどからコスト削減は難しいが、今後も指定管理者と協議し、工夫や改善による効率性を追求していく。</p>		

事業名：図書館運営管理事業

【事業番号 424】
情報図書館 主査(奉仕・事業)

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	01 生涯学習の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

情報図書館

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標1	施設数	施設	3	3	3	3
対象指標2	施設数(学校図書館地域開放事業)	施設	2	2	2	2

手段(事務事業の内容、手法)

情報図書館の運営管理に要する経費

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標1	年間開館日数(全館)	日	259	228	287	293
活動指標2	運営・維持管理経費	千円	81,551	83,714	86,973	91,171

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

- ・利用者が図書館を安全・快適に利用できる。
- ・施設が適切に運営管理される。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標1	年間資料貸出利用者数	人	142,149	120,641	144,811	148,000
成果指標2	年間資料貸出冊数	冊	615,134	530,459	627,743	643,000

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費(A)		千円	81,551	83,714	86,973	91,171
正職員人件費(B)		千円	32,423	32,330	32,317	32,653
総事業費(A+B)		千円	113,974	116,044	119,290	123,824

事業内容(主なもの)		費用内訳(主なもの)	
4年度	情報図書館の管理運営	・会計年度任用職員報酬等	50,916千円
		・燃料費・光熱水費	12,004千円
		・清掃等施設管理委託料	20,089千円

事業開始背景
平成元年8月、野幌末広町に江別市情報図書館がオープンし、現在、本館の他、江別分館・大麻分館、学校図書館地域開放事業として豊幌小学校図書館・江別太小学校図書館の計5館を運営している。
事業を取り巻く環境変化
令和2年度より、図書館一般管理経費、日本図書館協会等負担金を事業統合。

令和4年度の実績による担当課の評価（令和5年度7月時点）				
成果動向及び原因分析	(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？			
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;"> <p>上がっている</p> <hr style="border: 2px solid black;"/> <p>どちらかといえば上がっている</p> <p>上がっていない</p> </td> <td style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">理由根拠</td> <td style="width: 60%; padding-left: 10px;"> <p>新型コロナウイルス感染対策の緩和により、臨時休館がなかったことから資料貸出利用者数・資料貸出冊数ともに上がった。</p> </td> </tr> </table>	<p>上がっている</p> <hr style="border: 2px solid black;"/> <p>どちらかといえば上がっている</p> <p>上がっていない</p>	理由根拠	<p>新型コロナウイルス感染対策の緩和により、臨時休館がなかったことから資料貸出利用者数・資料貸出冊数ともに上がった。</p>
	<p>上がっている</p> <hr style="border: 2px solid black;"/> <p>どちらかといえば上がっている</p> <p>上がっていない</p>	理由根拠	<p>新型コロナウイルス感染対策の緩和により、臨時休館がなかったことから資料貸出利用者数・資料貸出冊数ともに上がった。</p>	
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？				
成果向上余地	(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？			
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;"> <p>成果向上余地 大</p> <hr style="border: 2px solid black;"/> <p>成果向上余地 中</p> <p>成果向上余地 小</p> </td> <td style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">理由根拠</td> <td style="width: 60%; padding-left: 10px;"> <p>利用者が安全・快適に利用できるよう適切に運営管理することで、成果が向上する可能性はある。</p> </td> </tr> </table>	<p>成果向上余地 大</p> <hr style="border: 2px solid black;"/> <p>成果向上余地 中</p> <p>成果向上余地 小</p>	理由根拠	<p>利用者が安全・快適に利用できるよう適切に運営管理することで、成果が向上する可能性はある。</p>
	<p>成果向上余地 大</p> <hr style="border: 2px solid black;"/> <p>成果向上余地 中</p> <p>成果向上余地 小</p>	理由根拠	<p>利用者が安全・快適に利用できるよう適切に運営管理することで、成果が向上する可能性はある。</p>	
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？				
コスト	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;"> <p>ある</p> <hr style="border: 2px solid black;"/> <p>なし</p> </td> <td style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">理由根拠</td> <td style="width: 60%; padding-left: 10px;"> <p>運営管理に必要最低限の支出を意識し経費削減に努めており、これ以上の経費削減は難しい。</p> </td> </tr> </table>	<p>ある</p> <hr style="border: 2px solid black;"/> <p>なし</p>	理由根拠	<p>運営管理に必要最低限の支出を意識し経費削減に努めており、これ以上の経費削減は難しい。</p>
	<p>ある</p> <hr style="border: 2px solid black;"/> <p>なし</p>	理由根拠	<p>運営管理に必要最低限の支出を意識し経費削減に努めており、これ以上の経費削減は難しい。</p>	

事業名：図書館資料整備事業

【事業番号 429】
情報図書館 主査(奉仕・事業)

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	01 生涯学習の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

・市民
・市内に通勤・通学している人

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	市民	人	119,883	119,777	119,333	119,333
対象指標 2						

手段(事務事業の内容、手法)

・図書館で作成した収集方針に沿って資料を収集する。
・月1回選書会議を行い購入する資料を選定する。
・相互貸借により資料を提供し補完する(道立図書館・全国公共図書館・道内外の大学図書館等)。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	資料購入冊数	冊	9,770	8,844	8,743	8,970
活動指標 2						

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

時代の趨勢や地域性を常に意識し、幅広いニーズに応えられるような資料の収集と提供を図ることにより、より多くの市民が図書資料等を利用するようになる。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	市民一人当たりの貸出冊数	冊	5.1	4.4	5.3	4.7
成果指標 2	予約及びリクエスト件数	件	129,829	111,982	112,428	111,538

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費(A)		千円	20,494	19,619	19,635	19,620
正職員人件費(B)		千円	3,433	3,423	3,422	3,457
総事業費(A+B)		千円	23,927	23,042	23,057	23,077

事業内容(主なもの)		費用内訳(主なもの)	
4年度	図書館の運営に必要な図書・雑誌・視聴覚資料等を整備する。	雑誌・新聞・その他逐次刊行物等購入費	3,435千円
		図書資料購入費	16,200千円

事業開始背景
1980年代当時、情報化時代にふさわしい生涯学習施設の整備が求められていたことや、道内32市のうち30市に図書館があり、市民からの建設要望があったことから、平成元年8月に開館した。
事業を取り巻く環境変化
社会の多様化に応じて、利用者のニーズも変化し、多様化が進んでいる。

令和 4年度の実績による担当課の評価（令和 5年度7月時点）						
成果動向及び原因分析	(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？					
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; padding: 5px;">上がっている</td> <td rowspan="3" style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠 ➔</td> <td rowspan="3" style="padding: 5px;">利用者のニーズに対応した資料の収集や、提供、情報発信により、「市民一人当たりの貸出冊数」「予約及びリクエスト件数」ともに増加している。</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">どちらかといえば上がっている</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">上がっていない</td> </tr> </table>	上がっている	理由 根拠 ➔	利用者のニーズに対応した資料の収集や、提供、情報発信により、「市民一人当たりの貸出冊数」「予約及びリクエスト件数」ともに増加している。	どちらかといえば上がっている	上がっていない
	上がっている	理由 根拠 ➔			利用者のニーズに対応した資料の収集や、提供、情報発信により、「市民一人当たりの貸出冊数」「予約及びリクエスト件数」ともに増加している。	
どちらかといえば上がっている						
上がっていない						
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？						
成果向上余地	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; padding: 5px;">成果向上余地 大</td> <td rowspan="3" style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠 ➔</td> <td rowspan="3" style="padding: 5px;">利用者のニーズに対応した資料の収集や提供、情報発信により、成果向上の余地がある。</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">成果向上余地 中</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">成果向上余地 小</td> </tr> </table>	成果向上余地 大	理由 根拠 ➔	利用者のニーズに対応した資料の収集や提供、情報発信により、成果向上の余地がある。	成果向上余地 中	成果向上余地 小
	成果向上余地 大	理由 根拠 ➔			利用者のニーズに対応した資料の収集や提供、情報発信により、成果向上の余地がある。	
	成果向上余地 中					
成果向上余地 小						
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？						
コスト	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; padding: 5px;">ある</td> <td rowspan="2" style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠 ➔</td> <td rowspan="2" style="padding: 5px;">利用者のニーズに対応して幅広く資料を収集する必要があることから、削減が難しい。</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">なし</td> </tr> </table>	ある	理由 根拠 ➔	利用者のニーズに対応して幅広く資料を収集する必要があることから、削減が難しい。	なし	
	ある	理由 根拠 ➔			利用者のニーズに対応して幅広く資料を収集する必要があることから、削減が難しい。	
なし						

事業名：旧町村農場管理運営事業

【事業番号 435】
生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	01 生涯学習の充実			具体的施策					
開始年度	平成 8年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

旧町村農場

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	施設数	施設	1	1	1	1
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

指定管理者制度を活用し、施設利用者へのサービス向上及び施設管理運営の効率化を図る。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	指定管理料	千円	8,351	8,912	8,987	3,526
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

適切な維持管理及び運営のもと、江別市における酪農の歴史を伝える場となる。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	来場者数	人	4,441	2,765	4,850	0
成果指標 2						

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費 (A)		千円	8,587	9,041	9,299	3,541
正職員人件費 (B)		千円	1,526	1,521	1,141	1,152
総事業費 (A+B)		千円	10,113	10,562	10,440	4,693

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理協定の締結 施設の修繕 	指定管理料	8,987千円

事業開始背景

平成2年頃から旧町村農場近郊の市街化が進み、平成4年に農場の篠津地区への移転が決定。農場の移転に伴い、江別市を代表する歴史的建造物として次世代へ継承することを目的に、平成7年に市に譲渡された後、復元・整備し、平成8年から一般公開している。

事業を取り巻く環境変化

- ・平成20年度から指定管理者制度を導入
- ・施設の老朽化
- ・新型コロナウイルス感染症拡大を受けて、令和2年4月29日～令和2年5月31日を臨時休館とした。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大を受けて、令和3年5月16日～令和3年6月20日及び令和3年8月14日～令和3年9月30日まで臨時休館とした。
- ・令和4年11月に策定した「江別市旧町村農場保存活用整備方針」における施設整備の方向性に基づき、令和5年度に大規模改修工事を行い、令和6年度リニューアルオープン予定。
- ・令和5年度は改修工事のため休館。

令和4年度の実績による担当課の評価（令和5年度7月時点）

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	上がっている	理由根拠
	どちらかといえば上がっている	
	上がっていない	
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	成果向上余地 大	理由根拠
	成果向上余地 中	
	成果向上余地 小	
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？		
コスト	ある	理由根拠
	なし	

事業名：情報図書館コンピュータ学習室事業

【事業番号 444】

情報図書館 主査(奉仕・事業)

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	01 生涯学習の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

20歳以上の市民

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	20歳以上の市民	人	100,409	100,431	100,167	100,167
対象指標 2						

手段(事務事業の内容、手法)

- ・初心者パソコン教室等の開催
- ・インターネット体験のためのコンピュータ学習室開放の実施(毎月第1・第3土、日曜日)

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	各種パソコン講習会開催数	回	25	21	28	28
活動指標 2	インターネット体験の実施日数	日	30	31	44	45

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

パソコン教室等の実施により、パソコンに慣れ親しみ、パソコンを情報収集や伝達などに利用できる市民が増える。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	各種パソコン教室受講者数	人	107	95	107	104
成果指標 2	コンピュータ学習室利用者数(延べ利用者数)	人	859	1,087	1,714	1,450

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費(A)		千円	743	583	774	994
正職員人件費(B)		千円	4,196	4,184	4,182	4,226
総事業費(A+B)		千円	4,939	4,767	4,956	5,220

事業内容(主なもの)		費用内訳(主なもの)		
4年度	初心者パソコン教室	17回	パソコンボランティア謝礼	35千円
	EPOC講習会	10回	初心者パソコン教室講師派遣委託料	510千円
	はじめてのパソコン講習会	1回	EPOC講習会講師派遣委託料	55千円
			コンテンツフィルタリング保守費	139千円

事業開始背景
パソコンの普及・利用者の拡大 情報図書館のパソコン教室は、平成元年の開館時に、図書館のコンピュータ管理及びパソコン利用教育、パソコンを利用した市民への情報提供が重要であるということで設置された。
事業を取り巻く環境変化
現在の初心者パソコン教室（ワードからインターネットまで）は平成10年から開始している。講習や自由解放時の利用者ニーズに合わせ、独自のコンテンツフィルタリングを導入している。令和2年度から初心者パソコン教室の実施頻度を減らし、講師をEPOCに委託。

令和 4年度の実績による担当課の評価（令和 5年度7月時点）		
成果動向及び原因分析	(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？	
	上がっている	理由根拠
	どちらかといえば上がっている	
上がっていない		
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	成果向上余地 大	理由根拠
	成果向上余地 中	
	成果向上余地 小	
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？		
コスト	ある	理由根拠
	なし	

事業名：情報図書館展示室事業

【事業番号 445】
情報図書館 主査(奉仕・事業)

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	01 生涯学習の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

市民

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	市民	人	119,883	119,777	119,333	119,333
対象指標 2						

手段(事務事業の内容、手法)

展示室で、普段目に触れる機会の少ない図書資料などの展示会を企画する。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	展示会開催数	回	4	4	4	4
活動指標 2						

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

展示会を開催することにより、図書館の活動に関心を持ち、より多くの市民が図書館に足を運ぶようになる。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	展示室入場者数	人	1,598	1,290	1,371	1,400
成果指標 2						

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費(A)		千円	44	24	43	54
正職員人件費(B)		千円	2,289	2,282	2,281	2,305
総事業費(A+B)		千円	2,333	2,306	2,324	2,359

事業内容(主なもの)		費用内訳(主なもの)	
4年度	展示会の開催 「図書館まつり」 「江別の歴史展」 「土曜広場作品展」 「しかけ絵本と大型絵本展」他	展示会講師謝礼 展示会用消耗品	30千円 13千円

事業開始背景
展示会事業は、平成元年の開館当初から市民や図書館利用者の情報図書館への興味、関心を高めることを目的開始された。
事業を取り巻く環境変化
ニーズが多様化しており、様々な世代に向けた展示会を開催することが求められている。

令和 4年度の実績による担当課の評価（令和 5年度7月時点）						
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？						
成果動向及び原因分析	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;">上がっている</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠 ➔</td> <td rowspan="3" style="padding: 5px;">前年踏襲にならないように、イベントの内容を改めて精査した。ポスターの内容の工夫や掲示する施設の増加等の広報活動に注力した結果、展示室の入場者数の増加に繋がった。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">どちらかといえば上がっている</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">上がっていない</td> </tr> </table>	上がっている	理由 根拠 ➔	前年踏襲にならないように、イベントの内容を改めて精査した。ポスターの内容の工夫や掲示する施設の増加等の広報活動に注力した結果、展示室の入場者数の増加に繋がった。	どちらかといえば上がっている	上がっていない
上がっている	理由 根拠 ➔	前年踏襲にならないように、イベントの内容を改めて精査した。ポスターの内容の工夫や掲示する施設の増加等の広報活動に注力した結果、展示室の入場者数の増加に繋がった。				
どちらかといえば上がっている						
上がっていない						
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？						
成果向上余地	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;">成果向上余地 大</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠 ➔</td> <td rowspan="3" style="padding: 5px;">企画や運営のあり方を工夫し、周知方法を見直すことで、市民の図書館への関心が高まり成果が向上する余地がある。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">成果向上余地 中</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">成果向上余地 小</td> </tr> </table>	成果向上余地 大	理由 根拠 ➔	企画や運営のあり方を工夫し、周知方法を見直すことで、市民の図書館への関心が高まり成果が向上する余地がある。	成果向上余地 中	成果向上余地 小
成果向上余地 大	理由 根拠 ➔	企画や運営のあり方を工夫し、周知方法を見直すことで、市民の図書館への関心が高まり成果が向上する余地がある。				
成果向上余地 中						
成果向上余地 小						
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？						
コスト	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;">ある</td> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠 ➔</td> <td rowspan="2" style="padding: 5px;">展示物はできるだけ図書館所蔵の資料等を使用しており、展示等の装飾の消耗品等についても、必要最低限の経費で実施しているため、削減は難しい。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">なし</td> </tr> </table>	ある	理由 根拠 ➔	展示物はできるだけ図書館所蔵の資料等を使用しており、展示等の装飾の消耗品等についても、必要最低限の経費で実施しているため、削減は難しい。	なし	
ある	理由 根拠 ➔	展示物はできるだけ図書館所蔵の資料等を使用しており、展示等の装飾の消耗品等についても、必要最低限の経費で実施しているため、削減は難しい。				
なし						

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	01 生涯学習の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

65歳以上の市民

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	65歳以上の市民	人	37,007	37,553	37,952	37,952
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

高齢者の学習機会として、蒼樹大学を開催する。
5～3月に毎月1回学習会開催

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	講座開催数	回	8	32	51	51
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

高齢者一人ひとりが生きがいを見出し、地域で生かすことのできる知識や技術を獲得する。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	学生数	人	122	117	83	83
成果指標 2	出席率	%	90	74	77	76

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費 (A)		千円	63	217	460	501
正職員人件費 (B)		千円	1,907	2,282	1,901	1,537
総事業費 (A+B)		千円	1,970	2,499	2,361	2,038

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	・午前は現代的課題や歴史等を全体で学ぶ教養講座、午後は選択制の専攻講座（コーラス、太極拳、ふるさと学、絵手紙、体操）を実施。	蒼樹大学開催に係る費用	460千円

事業開始背景
・昭和47年5月、高齢者に教育の機会を提供し、各種教育活動を通じて、身体的能力及び精神的機能を維持増進させ、生きがいを得ることによって老齢期の充実した人生を送ることができるようにすることを目的に開設。
事業を取り巻く環境変化
・高齢化が進む現代では、生きがい提供の場としてだけでなく、高齢者が積極的に社会参加しまちづくりの一翼を担う存在となることが理想である。

令和 4年度の実績による担当課の評価（令和 5年度7月時点）						
成果動向及び原因分析	(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？					
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; padding: 5px;">上がっている</td> <td rowspan="3" style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="width: 60%; padding: 5px; vertical-align: top;">新型コロナウイルス感染拡大防止のため、入学者の定員数を制限している。出席率はやや上がってきてはいるが、学生数は減少している。</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">どちらかといえば上がっている</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px; background-color: #cccccc;">上がっていない</td> </tr> </table>	上がっている	理由 根拠	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、入学者の定員数を制限している。出席率はやや上がってきてはいるが、学生数は減少している。	どちらかといえば上がっている	上がっていない
	上がっている	理由 根拠			新型コロナウイルス感染拡大防止のため、入学者の定員数を制限している。出席率はやや上がってきてはいるが、学生数は減少している。	
どちらかといえば上がっている						
上がっていない						
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？						
成果向上余地	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; padding: 5px;">成果向上余地 大</td> <td rowspan="3" style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="width: 60%; padding: 5px; vertical-align: top;">新型コロナウイルスが収束すると共に、高齢者のニーズに合った講座内容を企画、実施することで、学生数や出席率も増加することが見込まれる。</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px; background-color: #cccccc;">成果向上余地 中</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">成果向上余地 小</td> </tr> </table>	成果向上余地 大	理由 根拠	新型コロナウイルスが収束すると共に、高齢者のニーズに合った講座内容を企画、実施することで、学生数や出席率も増加することが見込まれる。	成果向上余地 中	成果向上余地 小
成果向上余地 大	理由 根拠	新型コロナウイルスが収束すると共に、高齢者のニーズに合った講座内容を企画、実施することで、学生数や出席率も増加することが見込まれる。				
成果向上余地 中						
成果向上余地 小						
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？						
コスト	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; padding: 5px;">ある</td> <td rowspan="2" style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="2" style="width: 60%; padding: 5px; vertical-align: top;">事務コストのほとんどが、講座にかかる謝礼であり、必要最低限の経費を、地元の講師に講演を依頼するなど工夫して使っていることから、これ以上の削減は難しい。</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px; background-color: #cccccc;">なし</td> </tr> </table>	ある	理由 根拠	事務コストのほとんどが、講座にかかる謝礼であり、必要最低限の経費を、地元の講師に講演を依頼するなど工夫して使っていることから、これ以上の削減は難しい。	なし	
ある	理由 根拠	事務コストのほとんどが、講座にかかる謝礼であり、必要最低限の経費を、地元の講師に講演を依頼するなど工夫して使っていることから、これ以上の削減は難しい。				
なし						

事業名：情報図書館視聴覚ライブラリー事業 情報図書館 主査(奉仕・事業)

政策	07 生涯学習・文化			戦略				
取組の基本方針	01 生涯学習の充実			具体的施策				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

- ・学校教育法第1条に規定する市内の学校
- ・市内の社会教育関連団体
- ・市内の社会教育活動をしようとする団体及び職場
- ・市民

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標1	市民	人	119,883	119,777	119,333	119,333
対象指標2						

手段(事務事業の内容、手法)

- ・プロジェクターなどの視聴覚機器やDVDなどの教材を申請により貸出する。
- ・視聴覚機器・教材を収集して整備する。
- ・所蔵教材により映画会を実施する。
- ・情報図書館ウェブサイト等により情報発信する。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標1	ライブラリー機器の数	点	20	20	20	20
活動指標2	ライブラリー教材の数	点	2,126	2,176	2,193	2,187

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

- ・学校や社会教育関係団体等が視聴覚機器や教材を学習の補助教材として活用することにより、学校の教育活動の充実と市民の社会教育活動の振興が図られる。
- ・より多くの市民が、自ら関心のある事柄について学習するようになる。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標1	利用者数	人	2,014	1,588	1,271	1,500
成果指標2	貸出件数	回	1,973	1,497	1,229	1,400

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費(A)		千円	304	370	370	370
正職員人件費(B)		千円	2,289	2,282	2,281	2,305
総事業費(A+B)		千円	2,593	2,652	2,651	2,675

事業内容(主なもの)		費用内訳(主なもの)	
4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・視聴覚機器や教材の貸出し ・教材用DVDの購入 ・映画会の実施 	貸出用教材購入費 著作権(上映権)使用料	304千円 66千円

事業開始背景
学校教育及び社会教育活動の振興を図るため、平成元年8月の開館当初から視聴覚教育に必要な機器及び教材を提供している。
事業を取り巻く環境変化
社会の多様化に応じて、利用者のニーズも変化し、多様化が進んでいる。また、有料動画配信サービスの普及により、映像ソフトのレンタル利用が減少している。

令和 4年度の実績による担当課の評価（令和 5年度7月時点）						
成果動向及び原因分析	(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？					
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">上がっている</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠 ➔</td> <td rowspan="3">「利用者数」「貸出件数」ともに減少しているが、市内の学校や社会教育団体等から一定の利用があり、学校の教育活動の充実や社会教育活動の振興に寄与している。</td> </tr> <tr> <td>どちらかといえば上がっている</td> </tr> <tr style="background-color: black; color: white;"> <td>上がっていない</td> </tr> </table>	上がっている	理由 根拠 ➔	「利用者数」「貸出件数」ともに減少しているが、市内の学校や社会教育団体等から一定の利用があり、学校の教育活動の充実や社会教育活動の振興に寄与している。	どちらかといえば上がっている	上がっていない
	上がっている	理由 根拠 ➔			「利用者数」「貸出件数」ともに減少しているが、市内の学校や社会教育団体等から一定の利用があり、学校の教育活動の充実や社会教育活動の振興に寄与している。	
どちらかといえば上がっている						
上がっていない						
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？						
成果向上余地	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">成果向上余地 大</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠 ➔</td> <td rowspan="3">最新機器の導入や時代に即した教材の収集、提供、情報発信により、成果向上の余地がある。</td> </tr> <tr style="background-color: black; color: white;"> <td>成果向上余地 中</td> </tr> <tr> <td>成果向上余地 小</td> </tr> </table>	成果向上余地 大	理由 根拠 ➔	最新機器の導入や時代に即した教材の収集、提供、情報発信により、成果向上の余地がある。	成果向上余地 中	成果向上余地 小
成果向上余地 大	理由 根拠 ➔	最新機器の導入や時代に即した教材の収集、提供、情報発信により、成果向上の余地がある。				
成果向上余地 中						
成果向上余地 小						
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？						
コスト	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">ある</td> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠 ➔</td> <td rowspan="2">最低限必要な範囲で、視聴覚機器・教材の購入や修繕を実施しているため、削減が難しい。</td> </tr> <tr style="background-color: black; color: white;"> <td>なし</td> </tr> </table>	ある	理由 根拠 ➔	最低限必要な範囲で、視聴覚機器・教材の購入や修繕を実施しているため、削減が難しい。	なし	
ある	理由 根拠 ➔	最低限必要な範囲で、視聴覚機器・教材の購入や修繕を実施しているため、削減が難しい。				
なし						

事業名：読書普及活動事業

【事業番号 454】
情報図書館 主査(奉仕・事業)

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	01 生涯学習の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

市民

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	市民	人	119,883	119,777	119,333	119,333
対象指標 2						

手段(事務事業の内容、手法)

読書普及に向けたおはなし会、講演会などを開催する。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	図書館主催おはなし会など開催回数	回	241	167	316	353
活動指標 2						

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

- ・おはなし会を通して、幼児・児童の読書に対する興味が喚起される。
- ・おはなし会や人形劇などを行うボランティア団体の活動が活性化される。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	読書普及事業の参加人数	人	2,236	1,508	2,611	2,400
成果指標 2						

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費(A)		千円	260	197	330	372
正職員人件費(B)		千円	2,289	2,282	2,281	2,305
総事業費(A+B)		千円	2,549	2,479	2,611	2,677

事業内容(主なもの)		費用内訳(主なもの)	
4年度	本館及び分館でのおはなし会やイベントの開催	おはなし会講師謝礼	285千円

事業開始背景
開館当初から、絵本の読み聞かせや講演会などを実施。
事業を取り巻く環境変化
平成28年度から、乳幼児向けおはなし会を実施。

令和 4年度の実績による担当課の評価（令和 5年度7月時点）			
成果動向及び原因分析	(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; padding: 5px;"> <p>上がっている</p> <hr style="border: 2px solid black;"/> <p>どちらかといえば上がっている</p> <p>上がっていない</p> </td> <td style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td style="width: 60%; padding: 5px;"> <p>新型コロナウイルス感染症対策が緩和され、臨時休館がなかったことや中止していたおはなし会やイベントの再開、人数制限の緩和により参加者が少しずつ戻ってきたことが理由であると考えられる。</p> </td> </tr> </table>	<p>上がっている</p> <hr style="border: 2px solid black;"/> <p>どちらかといえば上がっている</p> <p>上がっていない</p>	理由 根拠
<p>上がっている</p> <hr style="border: 2px solid black;"/> <p>どちらかといえば上がっている</p> <p>上がっていない</p>	理由 根拠	<p>新型コロナウイルス感染症対策が緩和され、臨時休館がなかったことや中止していたおはなし会やイベントの再開、人数制限の緩和により参加者が少しずつ戻ってきたことが理由であると考えられる。</p>	
成果向上余地	(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; padding: 5px;"> <p>成果向上余地 大</p> <hr style="border: 2px solid black;"/> <p>成果向上余地 中</p> <p>成果向上余地 小</p> </td> <td style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td style="width: 60%; padding: 5px;"> <p>活動内容の工夫やさらに周知を図ることで、成果が向上する余地がある。</p> </td> </tr> </table>	<p>成果向上余地 大</p> <hr style="border: 2px solid black;"/> <p>成果向上余地 中</p> <p>成果向上余地 小</p>	理由 根拠
<p>成果向上余地 大</p> <hr style="border: 2px solid black;"/> <p>成果向上余地 中</p> <p>成果向上余地 小</p>	理由 根拠	<p>活動内容の工夫やさらに周知を図ることで、成果が向上する余地がある。</p>	
コスト	(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？		
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; padding: 5px;"> <p>ある</p> <hr style="border: 2px solid black;"/> <p>なし</p> </td> <td style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td style="width: 60%; padding: 5px;"> <p>おはなし会等の開催にかかる講師謝礼や消耗品にかかる必要最低限の経費であり、削減は難しい。</p> </td> </tr> </table>	<p>ある</p> <hr style="border: 2px solid black;"/> <p>なし</p>	理由 根拠
<p>ある</p> <hr style="border: 2px solid black;"/> <p>なし</p>	理由 根拠	<p>おはなし会等の開催にかかる講師謝礼や消耗品にかかる必要最低限の経費であり、削減は難しい。</p>	

事業名：青少年ふれあい交流促進事業

【事業番号 614】
生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	01 生涯学習の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

児童・生徒の健全育成と幅広い世代間の交流等の社会教育活動を実施する地域の団体。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	補助対象事業数	団体	5	7	11	15
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

交流事業や芸術文化事業に対し、「江別市教育振興事業補助金規則」に基づき事業費の一部を支援する。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	補助金額	千円	331	396	795	1,200
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

各団体等が独立して活動を行うことにより、社会教育の充実が促進される。また、団体が地域と協働で活動することにより、地域ぐるみで子どもを育てる環境づくりを図る。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	事業参加者数	人	2,714	1,482	4,715	4,715
成果指標 2						

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費 (A)		千円	1,231	396	795	1,200
正職員人件費 (B)		千円	763	761	760	768
総事業費 (A+B)		千円	1,994	1,157	1,555	1,968

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	社会教育の振興及び地域活動団体の育成・促進事業を実施する市内の団体などに対して、事業費の一部を支援する。	青少年ふれあい交流促進事業補助金	795千円

事業開始背景	
<p>平成29年度に「青少年ふれあい交流促進事業」と「発表の場拡大事業」を統合してできた補助金である。「発表の場拡大事業」は、芸術文化活動団体が日頃の活動の成果を発表する際の会場使用料を補助対象としていたが、活動の発表だけでなく、地域の児童・生徒の健全育成と幅広い世代間の交流を図るための活動として促進するため、「青少年ふれあい交流促進事業」に統合した。</p>	
事業を取り巻く環境変化	
<ul style="list-style-type: none"> ・平成18年度から「社会教育事業」と「文化振興事業」を統合。 ・平成27年度から「青少年ふれあい交流事業」と「子どもを見守る地域ふれあい事業」を統合。 ・平成29年度から「青少年ふれあい交流促進事業」と「発表の場拡大事業」を統合。 ・令和2年度及び3年度は、新型コロナウイルスの影響を受け、補助金申請団体数が大幅に減少。 ・令和4年度から廃止となった「音楽協会事業補助金」の受け皿となるため補助金額を増額。 	

令和 4年度の実績による担当課の評価（令和 5年度7月時点）		
成果動向及び原因分析	(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？	
	<p>上がっている</p> <p>どちらかといえば上がっている</p> <p>上がっていない</p>	<p>理由根拠</p> <p>新型コロナウイルスの影響により、令和2年度から3年度にかけて各種事業の実施自体が困難な状況となり、事業参加者数の大幅な減少が続いたが、令和4年度においては、行動制限の緩和等により徐々にイベントが再開され、各団体が感染対策を講じながら安全に実施したことで、事業参加者数が増加した。</p>
	(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？	
成果向上余地	<p>成果向上余地 大</p> <p>成果向上余地 中</p> <p>成果向上余地 小</p>	<p>理由根拠</p> <p>平成29年度に2つの補助金を統合したことで受入間口が拡充され、多種多様な団体の支援に繋がっている。今後は、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけの変更等により、各種団体の事業が再開し、イベントの開催が活発になると想定されることから、事業参加者数がコロナ前の水準に近づくことが見込まれる。</p>
コスト	(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありますか？	
	<p>ある</p> <p>なし</p>	<p>理由根拠</p> <p>昨今の物価高騰に加え、補助金交付団体の多くは財政基盤が脆弱な団体であり、最低限の経費で事業を実施しているため、コストの削減は事業の縮小に繋がり、成果の低下が懸念される。</p>

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	01 生涯学習の充実			具体的施策					
開始年度	平成12年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象 (誰、何に対して事業を行うのか)

高校生以上の市民

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	高校生以上の市民	人	105,301	105,155	104,684	104,684
対象指標 2						

手段 (事務事業の内容、手法)

- ・市内4大学との共催で行う連携講座「ふるさと江別塾」の開催。
- ・市内4大学や社会教育関係団体が主催する市民向け講座、市主催の講座を「えべつ市民カレッジ」として位置付け、総合的に学ぶ機会を提供する。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	連携団体数	団体	6	6	6	6
活動指標 2						

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

知的資源を有する市内4大学等と連携し、市民の多様な学習要求に応えることにより、学習・文化活動・スポーツを気軽に行える環境をつくとともに、まちづくりの身近な地域課題に対する気づきの機会も提供されている。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	えべつ市民カレッジ講座数	講座	46	98	103	99
成果指標 2						

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費 (A)		千円	182	183	134	189
正職員人件費 (B)		千円	2,670	2,662	2,661	2,689
総事業費 (A+B)		千円	2,852	2,845	2,795	2,878

事業内容 (主なもの)		費用内訳 (主なもの)	
4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・市内4大学と連携を図りながら、「ふるさと江別塾」を開催する。 ※令和4年度はオンライン開催とし、YouTube配信、DVDレンタル、動画を放映するサテライト会場の設置により実施した。 ・ふるさと江別塾に加え、各大学等で開催している市民公開講座、市主催講座、社会教育関係団体主催講座と連携し、それらの講座をえべつ市民カレッジとして位置付け、総合的に市民へ情報提供する。 ・受講履歴を記録できるカレッジ手帳により、受講単位に応じ称号を授与する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと江別塾開催に係る経費 134千円 	

事業開始背景	
<ul style="list-style-type: none"> ・以前は各大学が独自の日程や内容により、各種講座を公開していたが、開催日時の重複や、受講を希望する市民から調整の要望があった。 ・平成12年度から、市内の4大学と市の連携協力により「ふるさと江別塾」を開催した。 ・平成26年度からは、市が市内4大学で開催している市民公開講座と連携し、それらの講座を「えべつ市民カレッジ」と位置付け、総合的に市民へ学ぶ機会の提供を開始した。 	
事業を取り巻く環境変化	
<ul style="list-style-type: none"> ・各大学において、教育の振興や地域社会の発展を目的とした産学官連携・地域貢献の意識が高まっている。 	

令和 4年度の実績による担当課の評価（令和 5年度7月時点）		
成果動向及び原因分析	(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？	
	<p>上がっている</p> <p>どちらかといえば上がっている</p> <p>上がっていない</p>	<p>理由根拠</p> <p>新型コロナウイルスの影響で、オンライン講座が浸透したことから、令和2年度以降、講座数が増加している。</p>
	成果向上余地	<p>(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？</p> <p>成果向上余地 大</p> <p>成果向上余地 中</p> <p>成果向上余地 小</p>
コスト	(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？	
	<p>ある</p> <p>なし</p>	<p>理由根拠</p> <p>事務コストのほとんどが講座に係る謝礼（ふるさと江別塾）や受講促進に係る経費であり、これ以上のコスト削減は成果の減退につながる。</p>

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	01 生涯学習の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

コミュニティセンター

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	施設数	施設	1	1	1	1
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

指定管理者制度を活用し、施設利用者へのサービス向上及び施設管理運営の効率化を図る。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	指定管理料	千円	16,824	17,194	18,269	17,187
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

適切な維持管理及び運営のもと、市民相互のふれあいのなかで地域経済活動の促進を図り、地域づくりの拠点となる。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	利用者数	人	19,933	21,696	100,826	98,200
成果指標 2						

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費 (A)		千円	16,823	17,194	18,269	17,187
正職員人件費 (B)		千円	1,907	1,141	1,141	1,152
総事業費 (A+B)		千円	18,730	18,335	19,410	18,339

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	・指定管理協定の締結	指定管理料	18,269千円

事業開始背景
・平成元年 コミュニティセンター開設
事業を取り巻く環境変化
<ul style="list-style-type: none"> ・18年度から指定管理者制度を導入 ・施設の老朽化 ・新型コロナウイルス感染症拡大を受けて、令和2年4月18日～令和2年5月31日を臨時休館とした。 ・新型コロナウイルス感染症拡大を受けて、令和3年5月16日～令和3年6月20日及び令和3年8月14日～令和3年9月30日を臨時休館とした。 ・令和4年度指定管理更新時に、指定期間を4年間から8年間に変更した。

令和4年度の実績による担当課の評価（令和5年度7月時点）		
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	上がっている	理由根拠 ➡
	どちらかといえば上がっている	
	上がっていない	
<p>感染拡大防止と社会経済活動の両立の観点から業種別ガイドラインが見直され、中止していたイベントが再開するなど、イベント開催件数と参加者数が増えている。また、定例で活動する団体の活動人数も増えたため、利用者数が増加した。</p>		
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	成果向上余地 大	理由根拠 ➡
	成果向上余地 中	
	成果向上余地 小	
<p>コロナが収束したとはいえませんが、行動制限が緩和され、自粛していた団体や個人の活動が徐々に再開し始め、活動数が増えてきていることから、利用者数の増加が見込める。また、コロナ収束後の市民ニーズや社会的ニーズ、地域課題に応える事業・講座を企画・実施していくことで、成果が向上する余地がある。</p>		
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？		
コスト	ある	理由根拠 ➡
	なし	
<p>燃料費等の高騰や、施設の老朽化が進み、維持補修費が増加していることなどからコスト削減は難しいが、今後も指定管理者と協議し、工夫や改善による効率性を追求していく。</p>		

事業名：社会教育団体支援事業

【事業番号 6156】

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	01 生涯学習の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別市女性団体協議会、江別市聚楽学園、江別市生涯学習推進協議会
 ※令和4年度から江別市PTA連合会は家庭教育支援事業で交付

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標1	補助団体数	団体	4	4	3	3
対象指標2						

手段（事務事業の内容、手法）

「江別市女性団体協議会」「江別市聚楽学園」「江別市生涯学習推進協議会」に対し、「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき補助金を交付する。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標1	補助金額	千円	1,466	1,739	2,170	2,170
活動指標2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

それぞれの団体が独立して活動を行うことで、社会教育活動が活性化する。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標1	事業参加者数	人	770	1,516	2,455	1,340
成果指標2						

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費(A)		千円	1,466	1,739	2,170	2,170
正職員人件費(B)		千円	4,577	4,563	4,182	3,841
総事業費(A+B)		千円	6,043	6,302	6,352	6,011

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	・「江別市女性団体協議会」「江別市生涯学習推進協議会」「江別市聚楽学園」への補助金交付	・江別市女性団体協議会への補助金 400千円 ・江別市生涯学習推進協議会への補助金 1,000千円 ・江別市聚楽学園への補助金 770千円	

事業開始背景	
社会教育認定団体として、社会教育活動の活性化という同じ目的に向けた活動を行っている団体への支援を行う。	
事業を取り巻く環境変化	
<ul style="list-style-type: none"> それぞれの団体が担っている役割は大きく、各団体の特徴ある活動は江別の社会教育・生涯学習施策に大きく貢献している。 令和4年度から江別市PTA連合会補助金を家庭教育支援事業に統合し、市P連が行っている他の研修会等も家庭教育支援事業として一体的に事業展開する。 	

令和4年度の実績による担当課の評価（令和5年度7月時点）		
成果動向及び原因分析	(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？	
	上がっている どちらかといえば上がっている 上がっていない	理由根拠 コロナが収束したとはいえませんが、行動制限が緩和されたことや、基本的な感染対策を徹底し、安全な事業運営に努めたことにより、事業参加者数は増加している。
成果向上余地	(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？	
	成果向上余地 大 成果向上余地 中 成果向上余地 小	理由根拠 行動制限が緩和されたことで、自粛していた活動が再開し始めていることから、事業参加者数が回復していくと見込まれる。
コスト	(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？	
	ある なし	理由根拠 各団体において、事業内容の充実を図りながら最低限の費用で活動しており、補助金の削減は団体運営の停滞につながる。

事業名：家庭教育支援事業

【事業番号 6230】

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	01 生涯学習の充実			具体的施策					
開始年度	平成29年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・子育て中の保護者、一般市民
 ・江別市PTA連合会

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	小中学校の家庭数	件	7,094	7,126	7,112	7,111
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

家庭教育に係る研修会等の実施
 江別市PTA連合会に対し、「江別市教育振興事業補助金規則」に基づき補助金を交付する。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	事業開催数	回	2	3	6	14
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

子育て中の保護者の悩みや不安の軽減に繋がる支援を行う

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	事業参加者数	人	21	47	173	122
成果指標 2						

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費 (A)		千円	21	46	364	508
正職員人件費 (B)		千円	1,526	1,521	1,521	1,152
総事業費 (A+B)		千円	1,547	1,567	1,885	1,660

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	<ul style="list-style-type: none"> 江別市PTA連合会への補助金交付 江別市家庭問題研究会の活動支援 	<ul style="list-style-type: none"> 江別市PTA連合会への補助金 264千円 家庭問題研究会への研修委託料 100千円 	

事業開始背景

平成28年度までは、未就学児を持つ保護者を対象に学習の機会（青空子どもの広場）を提供してきたが、子育て支援室で行っている事業の充実により、当該事業への参加者が減少傾向にあった。これまで就学児童の保護者に対する学習機会の提供がされておらず、ここを発掘してニーズに応えることにより、子育て環境の充実をはかる。平成29年度は親子向けの体験事業と情報モラル講演会を開催し家庭の教育力向上に支援

事業を取り巻く環境変化

平成30年度は保護者向けの学習機会は情報モラル講演会のみで開催となる。
平成31年からヤング子育て相談事業で行ってきた「えべ育カフェ」を家庭教育支援事業の一環とする
令和4年度から情報モラル講演会は市P連主催とし、市P連が行っている他の研修会等も家庭教育支援事業として一体的に展開する。

令和4年度の実績による担当課の評価（令和5年度7月時点）

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	上がっている	理由根拠 ➔
	どちらかといえば上がっている	
	上がっていない	
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	成果向上余地 大	理由根拠 ➔
	成果向上余地 中	
	成果向上余地 小	
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？		
コスト	ある	理由根拠 ➔
	なし	

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	01 生涯学習の充実			具体的施策					
開始年度	令和元年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

市民及び市内に通勤・通学している人

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	市民	人	119,883	119,777	119,333	119,333
対象指標 2						

手段(事務事業の内容、手法)

市民交流施設で、図書館資料の貸出・返却業務などを行う。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	業務日数	日	307	359	359	360
活動指標 2						

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

利用者の利便性を高め、図書館利用数を増加させる。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	年間資料貸出利用者数	人	5,680	5,006	6,214	6,100
成果指標 2	年間資料貸出冊数	冊	12,955	10,955	13,516	13,300

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費(A)		千円	1,993	2,356	2,359	2,428
正職員人件費(B)		千円	763	761	760	768
総事業費(A+B)		千円	2,756	3,117	3,119	3,196

事業内容(主なもの)		費用内訳(主なもの)	
4年度	市民交流施設における予約図書等の貸出・返却業務の実施に要する経費。	図書館業務委託料	2,359千円

事業開始背景
令和元年12月に市民交流施設が開設され、当該施設内において、情報図書館業務の一部を実施することとなったため。
事業を取り巻く環境変化
社会環境の多様化により、市民生活における各種活動時間も多岐に渡っており、図書館を利用する時間も多様性を帯びてきている。

令和4年度の実績による担当課の評価（令和5年度7月時点）						
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？						
成果動向及び原因分析	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">上がっている</td> <td rowspan="3" style="background-color: #cccccc; text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠 ➔</td> <td rowspan="3" style="padding: 5px;">市民交流施設において、図書館資料の貸出・返却等ができることにより、利用者の利便性は高まり、新型コロナウイルス感染拡大に対する規制が緩和されたことが利用者数や貸出冊数の増加した要因だと考える。</td> </tr> <tr> <td>どちらかといえば上がっている</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">上がっていない</td> </tr> </table>	上がっている	理由 根拠 ➔	市民交流施設において、図書館資料の貸出・返却等ができることにより、利用者の利便性は高まり、新型コロナウイルス感染拡大に対する規制が緩和されたことが利用者数や貸出冊数の増加した要因だと考える。	どちらかといえば上がっている	上がっていない
上がっている	理由 根拠 ➔	市民交流施設において、図書館資料の貸出・返却等ができることにより、利用者の利便性は高まり、新型コロナウイルス感染拡大に対する規制が緩和されたことが利用者数や貸出冊数の増加した要因だと考える。				
どちらかといえば上がっている						
上がっていない						
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？						
成果向上余地	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">成果向上余地 大</td> <td rowspan="3" style="background-color: #cccccc; text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠 ➔</td> <td rowspan="3" style="padding: 5px;">市民交流施設において、図書館資料の貸出・返却等ができることをさらに周知していくことで成果の向上が期待できる。</td> </tr> <tr> <td>成果向上余地 中</td> </tr> <tr> <td>成果向上余地 小</td> </tr> </table>	成果向上余地 大	理由 根拠 ➔	市民交流施設において、図書館資料の貸出・返却等ができることをさらに周知していくことで成果の向上が期待できる。	成果向上余地 中	成果向上余地 小
成果向上余地 大	理由 根拠 ➔	市民交流施設において、図書館資料の貸出・返却等ができることをさらに周知していくことで成果の向上が期待できる。				
成果向上余地 中						
成果向上余地 小						
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？						
コスト	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>ある</td> <td rowspan="2" style="background-color: #cccccc; text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠 ➔</td> <td rowspan="2" style="padding: 5px;">委託事業にかかる人件費を基に事業費を積算しており、削減は困難である。</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">なし</td> </tr> </table>	ある	理由 根拠 ➔	委託事業にかかる人件費を基に事業費を積算しており、削減は困難である。	なし	
ある	理由 根拠 ➔	委託事業にかかる人件費を基に事業費を積算しており、削減は困難である。				
なし						

事業名： ガラス工芸館管理運営経費

【事業番号 476】
生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			具体的施策					
開始年度	平成 6年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・ガラス工芸館
・ガラス工芸家

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	敷地面積	㎡	1,024.39	1,024.39	1,024.39	1,024.39
対象指標 2	延床面積	㎡	242.72	242.72	242.72	242.72

手段（事務事業の内容、手法）

・施設の管理運営
・ガラス工芸家の創作活動公開

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	開館日数	日	48	35	61	59
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

創作活動及び作品鑑賞の場として公開することにより、工芸の分野における文化の振興に資する。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	来館者数	人	657	515	1,131	1,131
成果指標 2						

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費 (A)		千円	1,886	2,104	1,926	2,117
正職員人件費 (B)		千円	763	761	760	768
総事業費 (A+B)		千円	2,649	2,865	2,686	2,885

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ガラス工芸館の管理運営 ・ガラス製作体験事業の開催 	管理運営費	1,926千円

事業開始背景	
江別市ガラス工芸館は、野幌代々木町にあった「旧石田邸」を、町並みに個性とうるおいを与える資源として保存し、建物の周辺とあわせて市民の憩いの場として活用するため、平成4年に市が土地と建物を買い上げ、改修整備を加えて平成6年4月にオープンした。	
事業を取り巻く環境変化	
当該施設は、ガラス工芸家が創作活動を行う場でもあることから、その活動ぶりを開館以来公開してきた。平成15年度からは、適正な管理運営と良好な創作環境の維持を図るため、市民等への公開期間及び日数の見直しを行った。16年3月に旧工芸家が退所後、16年12月から新工芸家が入所し活動を開始した。	

令和4年度の実績による担当課の評価（令和5年度7月時点）		
成果動向及び原因分析	(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？	
	<p>上がっている</p> <p>どちらかといえば上がっている</p> <p>上がっていない</p>	<p>理由根拠</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響による休館が無かったため、規定の日数開館し、それに伴い来館者数も令和3年度より増加した。</p>
	(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？	
成果向上余地	<p>成果向上余地 大</p> <p>成果向上余地 中</p> <p>成果向上余地 小</p>	<p>理由根拠</p> <p>工芸作家の創作活動に支障をきたさない範囲で、ガラスのコップ製作体験会事業を実施したほか、対外的な宣伝を継続してきたことで、来館者数が回復傾向にある。</p>
コスト	(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？	
	<p>ある</p> <p>なし</p>	<p>理由根拠</p> <p>建物の維持補修等に係る経費や工芸作家の創作活動に必要な燃料費であることから、コストの削減は難しい。</p>

事業名：セラミックアートセンター企画展開催事業 セラミックアートセンター

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			具体的施策					
開始年度	平成 6年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・市民

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	市民	人	119,883	119,777	119,333	119,333
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

- ・市内の高等教育機関等との共催展開催を通して、市民へ創作発表機会を提供する。
- ・道内外の美術館との連携展や館蔵品展を開催し、市民へ鑑賞機会を提供する。
- ・市内関係機関や道内外の美術館・博物館等へ催事の効果的な告知周知を行う。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	企画展開催数	回	3	4	4	3
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・市民協働による展示会の開催と、その観覧を通して、市民が文化活動への参加意欲を高めている。
- ・良質な芸術作品を紹介することで、市民が陶芸文化への理解を深めるとともに、地域文化の特色を再認識している。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	企画展入場者数	人	1,682	1,951	1,967	1,500
成果指標 2						

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費 (A)		千円	6,300	4,157	219	472
正職員人件費 (B)		千円	6,103	6,466	5,323	4,994
総事業費 (A+B)		千円	12,403	10,623	5,542	5,466

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
4年度	・「江別市中学校・高校美術部合同展」ほか計4回の企画展を開催	・「江別市中学校・高校美術部合同展」の開催経費 54千円 ・FURUSIKI展の開催経費 165千円

事業開始背景
平成6年度に開館したセラミックアートセンターにおいて、道内外の優れた陶芸作品を市民が鑑賞できる機会を設け、やきもの文化の振興と普及を図ることとした。
事業を取り巻く環境変化
平成7年度の第1回企画展開催以来、陶芸を主題に据えてきたが、来場者アンケート等のニーズを踏まえるとともに、市内大学との連携事業も取り入れ平成17年度以降は陶芸を主題としつつ、広く工芸作品を紹介する企画内容としている。

令和 4年度の実績による担当課の評価（令和 5年度7月時点）						
成果動向及び原因分析	(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？					
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;">上がっている</td> <td rowspan="3" style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="width: 60%; padding: 5px;">既存の収蔵作品を活用した「夏の収蔵品展」「道工試展」を開催したことで、新たな側面を対外的に発信することができた。また、市内大学との共催事業である「中学校・高校美術部合同展」「FUROSIKI展」を開催したことで、関係各所との連携・協力体制をより一層強めることができた。</td> </tr> <tr> <td style="background-color: black; color: white; text-align: center;">どちらかといえば上がっている</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">上がっていない</td> </tr> </table>	上がっている	理由 根拠	既存の収蔵作品を活用した「夏の収蔵品展」「道工試展」を開催したことで、新たな側面を対外的に発信することができた。また、市内大学との共催事業である「中学校・高校美術部合同展」「FUROSIKI展」を開催したことで、関係各所との連携・協力体制をより一層強めることができた。	どちらかといえば上がっている	上がっていない
	上がっている	理由 根拠			既存の収蔵作品を活用した「夏の収蔵品展」「道工試展」を開催したことで、新たな側面を対外的に発信することができた。また、市内大学との共催事業である「中学校・高校美術部合同展」「FUROSIKI展」を開催したことで、関係各所との連携・協力体制をより一層強めることができた。	
どちらかといえば上がっている						
上がっていない						
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？						
成果向上余地	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;">成果向上余地 大</td> <td rowspan="3" style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="width: 60%; padding: 5px;">他館との協力事業の実施を含め、ネットワークを活用することで、市民への芸術鑑賞機会を充実することが出来る。合わせて、効果的な広報活動を行うことで、集客力の向上が期待できる。</td> </tr> <tr> <td style="background-color: black; color: white; text-align: center;">成果向上余地 中</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">成果向上余地 小</td> </tr> </table>	成果向上余地 大	理由 根拠	他館との協力事業の実施を含め、ネットワークを活用することで、市民への芸術鑑賞機会を充実することが出来る。合わせて、効果的な広報活動を行うことで、集客力の向上が期待できる。	成果向上余地 中	成果向上余地 小
成果向上余地 大	理由 根拠	他館との協力事業の実施を含め、ネットワークを活用することで、市民への芸術鑑賞機会を充実することが出来る。合わせて、効果的な広報活動を行うことで、集客力の向上が期待できる。				
成果向上余地 中						
成果向上余地 小						
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？						
コスト	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;">ある</td> <td rowspan="2" style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="2" style="width: 60%; padding: 5px;">各種助成（補助）制度の活用を図ることで、コスト削減の余地は考えられる。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">なし</td> </tr> </table>	ある	理由 根拠	各種助成（補助）制度の活用を図ることで、コスト削減の余地は考えられる。	なし	
ある	理由 根拠	各種助成（補助）制度の活用を図ることで、コスト削減の余地は考えられる。				
なし						

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			具体的施策					
開始年度	平成 6年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・セラミックアートセンター
・市民

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	施設数	施設	1	1	1	1
対象指標 2	市民	人	119,883	119,777	119,333	119,333

手段（事務事業の内容、手法）

・設備不具合を未然に防ぎ、施設機能を維持するための適切な施設管理を行う。
・小森忍、道内作家作品及びれんが資料を調査収集し、展示する。
・展示室と工房各設備を適切に管理運営し、観覧、利用に供する。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	開館日数	日	264	230	300	301
活動指標 2	運営・維持管理経費	千円	38,916	38,787	41,747	39,549

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

・施設設備を適切に管理運営することで、安心安全かつ快適に利用されている。
・市民が観覧や利用を通して、ふるさと・江別が「やきもののまち」であることへの理解を深めている。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	利用者数	人	17,069	12,377	18,528	18,000
成果指標 2						

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費 (A)		千円	38,916	38,787	41,747	39,549
正職員人件費 (B)		千円	7,629	7,227	8,364	8,451
総事業費 (A+B)		千円	46,545	46,014	50,111	48,000

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	<ul style="list-style-type: none"> セラミックアートセンターの維持管理 小森忍、道内作家作品及びれんが資料の収集・展示 	<ul style="list-style-type: none"> 会計年度任用職員報酬 暖房用重油代等燃料費 電気代等光熱水費 維持管理関係委託料 	<ul style="list-style-type: none"> 2,813千円 4,942千円 6,186千円 25,280千円

事業開始背景

○平成6年度開館のセラミックアートセンターを適切に管理運営していくため。

事業を取り巻く環境変化

○施設のあり方検討の中で、市民ギャラリーの機能を付加して利活用を図ることとなり、平成23年度に企画展示室の改装を実施。幅広い芸術文化の展示発表が行える地域文化創造の新たな拠点とした。
○開館20年を経て、視閲設備と備品類の経年劣化が著しくなっている。

令和 4年度の実績による担当課の評価（令和 5年度7月時点）

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	上がっている	理由根拠 ➡
	どちらかといえば上がっている	
	上がっていない	
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	成果向上余地 大	理由根拠 ➡
	成果向上余地 中	
	成果向上余地 小	
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？		
コスト	ある	理由根拠 ➡
	なし	

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			具体的施策					
開始年度	平成14年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

子どもの文化活動育成事業「土曜広場」推進委員会

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	推進委員数	人	12	12	18	19
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

子どもの文化活動育成事業「土曜広場」推進委員会に対し、「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき補助金を交付する。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	補助金額	千円	827	837	1,030	1,100
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

推進委員会が、地域資源となる地域に在住する伝統的文化活動等の指導者の方々の協力を得て、土曜広場を提供することで、子どもたちの日本文化に対する理解を深め、文化芸術活動を拡充する。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	開催学校数	校	0	17	17	17
成果指標 2	参加者数	人	0	311	365	400

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費 (A)		千円	827	837	1,030	1,100
正職員人件費 (B)		千円	1,907	1,902	1,901	1,921
総事業費 (A+B)		千円	2,734	2,739	2,931	3,021

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
4年度	<ul style="list-style-type: none"> 市内各小学校の施設を活用して日本の伝統的文化活動を体験・学習する機会を提供する推進委員会に対し、補助金を交付する。 【土曜広場】 会場：市内小学校17か所 実施日：月2回土曜日午前中（5回程度/校） 活動種目：囲碁、手芸、百人一首など15種類程度 	<ul style="list-style-type: none"> 補助金 1,030千円

事業開始背景
平成14年度江別市地域ぐるみ教育活動支援事業の一環として開始する。
事業を取り巻く環境変化
平成15年度は、文部科学省の委託事業である地域教育力活性化支援事業のモデル事業に位置づけされ実施している。平成15年3月の中央教育審議会答申では、教育の基本理念の一つに「日本の伝統・文化の尊重、郷土や国を愛する心と国際社会の一員としての意識の涵養」が掲げられた。 平成16年度は伝統文化活性化協会からの補助、平成17年度以降は市からの補助により実施。 新型コロナウイルスの影響により、令和2年度は中止（土曜広場のつどいのみ実施）、令和3年度及び4年度は活動種目、実施日数を減らして実施した。

令和 4年度の実績による担当課の評価（令和 5年度7月時点）		
成果動向及び原因分析	(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？	
	上がっている	理由根拠
	どちらかといえば上がっている	
上がっていない		
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	成果向上余地 大	理由根拠
	成果向上余地 中	
	成果向上余地 小	
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？		
コスト	ある	理由根拠
	なし	

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			具体的施策					
開始年度	平成 9年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民文化ホール

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	施設数	施設	1	1	1	1
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

指定管理者制度を活用し、施設利用者へのサービス向上及び施設管理運営の効率化を図る。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	指定管理料	千円	52,370	53,224	56,358	54,508
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

適切な維持管理及び運営のもと、市民の芸術文化活動の発展を図り、心豊かなまちづくりに寄与する。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	利用者数	人	14,023	23,340	40,252	35,600
成果指標 2						

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費 (A)		千円	288,320	53,224	56,378	54,598
正職員人件費 (B)		千円	3,051	1,141	1,141	1,152
総事業費 (A+B)		千円	291,371	54,365	57,519	55,750

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理協定の締結 施設の修繕 	指定管理料	56,358千円

事業開始背景	
<ul style="list-style-type: none"> ・平成4年に市民から要望あり。大麻公民館改築と併せて複合施設としての計画を策定 ・平成7年着工 ・平成9年10月オープン 	
事業を取り巻く環境変化	
<ul style="list-style-type: none"> ・江別市民の主体的な芸術文化活動の重要な拠点として多様に活用されている。 ・施設設備の老朽化 ・新型コロナウイルス感染症拡大を受けて、令和2年4月18日～令和2年5月31日を臨時休館とした。 ・新型コロナウイルス感染症拡大を受けて、令和3年5月16日～令和3年6月20日及び令和3年8月14日～令和3年9月30日を臨時休館とした。 ・令和4年度指定管理更新時に、指定期間を4年間から8年間に変更した。 	

令和4年度の実績による担当課の評価（令和5年度7月時点）		
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	上がっている	理由根拠
	どちらかといえば上がっている	
	上がっていない	
感染拡大防止と社会経済活動の両立の観点から業種別ガイドラインが見直され、中止していたイベントが再開するなど、イベント開催件数が増えたほか、集客の多い演奏会等が開催されたことで利用者数が増加した。		
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	成果向上余地 大	理由根拠
	成果向上余地 中	
	成果向上余地 小	
業種別ガイドラインの改訂により、事業における人数等の制限が緩和され、イベントの開催件数が増えることで、コロナ禍前の利用者数まで回復することが見込まれる。		
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？		
コスト	ある	理由根拠
	なし	
燃料費等の高騰のほか、施設の老朽化が進み、維持補修費が増加していることなどからコスト削減は難しいが、今後も指定管理者と協議し、工夫や改善による効率性を追求していく。		

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象 (誰、何に対して事業を行うのか)

NPO法人江別市文化協会

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	江別市文化協会加盟会員数	人	1,782	1,686	1,565	1,565
対象指標 2	加盟団体数	団体	110	98	98	98

手段 (事務事業の内容、手法)

市内の文化団体相互の連絡協調とその活動の促進を図るとともに、芸術文化・生活文化を通じて情操豊かな市民文化の振興と健康で文化的なまちづくりに寄与するための事業を行うNPO法人江別市文化協会に対し、「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき補助金を交付する。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	補助金額	千円	2,750	2,750	2,750	2,750
活動指標 2						

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

江別市文化協会会員による自主的・主体的な芸術文化活動が活発に行われ、広く市民にその活動が浸透し、新たな活動領域の出現や団体等の形成、会員の増加を促進する。
また、市民文化祭を開催することで、発表や鑑賞等を契機に芸術文化活動への興味関心が高まり、市民主体のより積極的な活動が行われる。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	主催・支援事業数	件	9	10	13	12
成果指標 2	市民文化祭参加者数 (出演者+来場者)	人	5,583	4,783	10,269	8,000

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費 (A)		千円	2,750	350	2,750	2,750
正職員人件費 (B)		千円	2,670	761	2,281	2,305
総事業費 (A+B)		千円	5,420	1,111	5,031	5,055

事業内容 (主なもの)		費用内訳 (主なもの)	
4年度	<ul style="list-style-type: none"> NPO法人江別市文化協会に対し、事業費を補助 【対象事業】 ①会員交流事業、②会員拡大・研修・活動促進事業、③顕彰事業、④文化活動発信事業、⑤えべつ文化未来事業、⑥文化振興調査研究事業 ・市民文化祭の開催事業経費から事業収入を控除した額を補助 【部門別事業】 ①舞台部門 (10事業) ②展示部門 (10事業) ③文芸部門 (3事業) ④生活文化部門 (4事業) 	<ul style="list-style-type: none"> 補助金 (文化協会事業・市民文化祭開催支援事業) 2,750千円 ※文化協会事業 : 350千円、市民文化祭開催支援事業 : 2,400千円 	

事業開始背景

- ・昭和41年に市内18の文化団体によって創立された。
- ・市民文化祭は、昭和27年に江別町民文化祭として第1回が開催され、その後平成13年から文化協会の事業に位置付けして実施する現形態となり、本来あるべき市民の主体的な取組みへと転換が図られた。

事業を取り巻く環境変化

- ・文化協会は昭和41年に創立され、長年にわたり江別市民の文化活動の普及振興に貢献している。市内の文化関係施設の充実が進んだ現在、市民の創造的な芸術文化活動拡充への多様な取組が求められており、協会の役割は今後も増大することが予想され、会員の資質の向上や組織・指導体制充実のための取組への支援が必要である。
- ・令和2年及び3年に開催された市民文化祭では、新型コロナウイルスの感染拡大により中止した種目もあり、大きな影響を受けたが、令和4年は十分な感染対策を取りながら、中止していた種目を再開するなどしており、従前の規模へと回復傾向にある。

令和4年度の実績による担当課の評価（令和5年度7月時点）

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	上がっている	理由根拠
	どちらかといえば上がっている	
	上がっていない	
<ul style="list-style-type: none"> ・平成18年にNPO法人化したことで、各種文化団体の活動支援や育成への体制が充実している。 ・新型コロナウイルスの影響はまだあるものの、令和4年度の支援事業数が前年の10事業から14事業に増加するなど回復傾向が見られ、市内の文化活動の発展に寄与している。 ・市民文化祭においては、感染対策を講じつつ、多数の種目を再開したことで、参加人数の増加につながった。 		
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	成果向上余地 大	理由根拠
	成果向上余地 中	
	成果向上余地 小	
<ul style="list-style-type: none"> ・文化団体への支援体制を充実させることで、新たな団体や加盟会員の増加が見込まれる。 ・新型コロナウイルスの感染法上の取扱いの変更等により、徐々にではあるが、団体・サークル活動の停滞状況の緩和につながる見込みがある。 		
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？		
コスト	ある	理由根拠
	なし	
<ul style="list-style-type: none"> ・団体の自助努力による組織強化や自主財源の確保等の方向性を探ることは可能であるが、財政基盤は脆弱であり急激なコストの削減に踏み切るのは難しい。 ・市民文化祭においては、入場料や参加者負担金の増額によって受益者負担を増やすことは、成果の低下（参加者数の減少）につながることから難しく、また、実施主体の文化協会には経費削減による実施を求め、補助金額を減額してきたが、これ以上の削減は難しい。 ※補助金額（市民文化祭分）：H13:3,000千円、H15:2,600千円、H16:2,500千円、H18～:2,400千円 		

事業名：文化振興奨励事業

【事業番号 484】

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			具体的施策					
開始年度	平成13年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	市民	人	119,883	119,777	119,333	119,333
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

各種芸術文化大会・コンクールに北海道を代表して出場する個人・団体に対し、「江別市芸術文化大会・コンクール出場奨励金支給要綱」に基づき全国大会等出場奨励金を支給する。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	奨励金支給個人数	人	1	2	0	4
活動指標 2	奨励金支給団体数	団体	0	0	1	2

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

各種芸術文化大会・コンクールに北海道を代表して出場する個人や団体を奨励することにより、さらなる意欲の向上が図られ、地域の文化・芸術を担う人材が育成される。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	入賞個人数	人	0	2	0	4
成果指標 2	入賞団体数	団体	0	0	0	2

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費 (A)		千円	10	20	60	240
正職員人件費 (B)		千円	381	380	380	384
総事業費 (A+B)		千円	391	400	440	624

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	各種芸術文化大会・コンクールに北海道を代表して出場する個人・団体に奨励金を支給する。 ・個人：10,000円以内。本市に在住していること。 ・団体：100,000円以内（10人未満の団体は、出場者数に10,000円を乗じた額以内の額）。本市に主たる活動の場を有し、かつ、その構成員の8割以上が本市在住の市民で組織されていること。 ※いずれも就学以前の者を除く。	・全国大会等出場奨励金60千円	

事業開始背景
本事業は、各種文化活動において優秀な成績を収め、全国大会に出場する個人や団体に対する奨励制度を設けるため、「江別市スポーツ大会出場奨励金支給要綱」にならない平成13年度に開始された。
事業を取り巻く環境変化
「江別市芸術文化大会・コンクール出場奨励金支給要綱」に基づき運用されている。 新型コロナウイルスの影響により、対面型の全国大会・コンクールが中止されたものもある。

令和 4年度の実績による担当課の評価（令和 5年度7月時点）		
成果動向及び原因分析	(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？	
	上がっている	理由根拠
	どちらかといえば上がっている	
上がっていない		
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	成果向上余地 大	理由根拠
	成果向上余地 中	
	成果向上余地 小	
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？		
コスト	ある	理由根拠
	なし	

事業名：市民芸術祭開催支援事業

【事業番号 488】

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化		戦略						
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造		具体的施策						
開始年度	平成 5年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

芸術文化の振興を目的とする市民組織

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	構成関係団体数	団体	1	1	3	3
対象指標 2	構成委員数	人	8	8	45	27

手段（事務事業の内容、手法）

幅広い市民参加及び専門家による創作を発表する事業を実施する各実行委員会に対し、「江別市芸術文化奨励補助金交付要綱」に基づき補助金を交付する。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	補助金額	千円	500	500	1,500	1,400
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

主体的かつ創造性豊かな芸術文化活動を活発に行い、江別市独自の創造型芸術文化活動を創出する。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	市民芸術祭の参加者数（参加者＋鑑賞者）	人	165	178	12,994	12,190
成果指標 2	開催事業数	回	2	2	4	4

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費 (A)		千円	500	500	1,500	1,400
正職員人件費 (B)		千円	2,670	2,282	2,661	2,689
総事業費 (A+B)		千円	3,170	2,782	4,161	4,089

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・舞台部門（市民ミュージカル公演 3年に1回。コロナの影響により直近はR元） ・音楽部門（まちかどコンサート 年2回） ・展示部門（市民美術展受賞作品展 5年に1回、R4に開催。まちなかアート月間 年1回） ・各実行委員会に対し補助金を交付する。 ※新型コロナウイルスの影響により、市民ミュージカルの本公演はR6以降に延期。 	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金（まちかどコンサート実行委員会）500千円 ・補助金（市民美術展受賞作品展実行委員会）500千円 ・補助金（まちなかアート月間実行委員会）500千円 	

事業開始背景
平成5年度に江別市の芸術文化の振興と質の向上を目指して市民と行政の連携協調による組織化を行った。主な機能としては、市民文化祭の開催と芸術鑑賞型事業の市民組織による開催を中心としたものであった。
事業を取り巻く環境変化
平成13年度に市民文化祭を文化協会事業に組み替えし、市民芸術祭事業を市民参加による創造型の事業に転換を図り現在に至っている。事業が固定化し、市民芸術祭実行委員会があまり機能しない状態が続いてきたことから同委員会を解消し、独自の実行委員会ごとに事業を実施している。 なお、令和4年度からの新規事業として、若者作家の作品を市内店舗や民間施設に展示する「えべつまちなかアート月間」の実行委員会への補助を行っている。（支援は令和6年度までを予定）

令和 4年度の実績による担当課の評価（令和 5年度7月時点）						
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？						
成果動向及び原因分析	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">上がっている</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠 ➔</td> <td rowspan="3"> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者数は、各年度における事業内容及び事業数に大きく左右される。R4年度については、5年に1度の開催の市民美術展受賞作品展の開催年であったこと及びまちなかアート月間事業において、医療施設など多数の鑑賞者の目に触れる会場を想定以上に調整できたことで大幅な参加者数の増となった。 ・令和4年度は、市民ミュージカルの開催準備事業を予定していたが、新型コロナウイルスの影響により翌年以降に延期となった。 </td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">どちらかといえば上がっている</td> </tr> <tr> <td>上がっていない</td> </tr> </table>	上がっている	理由 根拠 ➔	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者数は、各年度における事業内容及び事業数に大きく左右される。R4年度については、5年に1度の開催の市民美術展受賞作品展の開催年であったこと及びまちなかアート月間事業において、医療施設など多数の鑑賞者の目に触れる会場を想定以上に調整できたことで大幅な参加者数の増となった。 ・令和4年度は、市民ミュージカルの開催準備事業を予定していたが、新型コロナウイルスの影響により翌年以降に延期となった。 	どちらかといえば上がっている	上がっていない
上がっている	理由 根拠 ➔	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者数は、各年度における事業内容及び事業数に大きく左右される。R4年度については、5年に1度の開催の市民美術展受賞作品展の開催年であったこと及びまちなかアート月間事業において、医療施設など多数の鑑賞者の目に触れる会場を想定以上に調整できたことで大幅な参加者数の増となった。 ・令和4年度は、市民ミュージカルの開催準備事業を予定していたが、新型コロナウイルスの影響により翌年以降に延期となった。 				
どちらかといえば上がっている						
上がっていない						
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？						
成果向上余地	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">成果向上余地 大</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠 ➔</td> <td rowspan="3"> <ul style="list-style-type: none"> ・市民参加による総合柄の取組みとしては唯一のものであり、成果向上の余地はある。 </td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">成果向上余地 中</td> </tr> <tr> <td>成果向上余地 小</td> </tr> </table>	成果向上余地 大	理由 根拠 ➔	<ul style="list-style-type: none"> ・市民参加による総合柄の取組みとしては唯一のものであり、成果向上の余地はある。 	成果向上余地 中	成果向上余地 小
成果向上余地 大	理由 根拠 ➔	<ul style="list-style-type: none"> ・市民参加による総合柄の取組みとしては唯一のものであり、成果向上の余地はある。 				
成果向上余地 中						
成果向上余地 小						
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？						
コスト	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">ある</td> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠 ➔</td> <td rowspan="2"> <ul style="list-style-type: none"> ・他の補助金の活用や自主財源の確保等の方向性を探ることは可能であるが、各実行委員会の財政基盤は脆弱なため急激なコストの削減に踏み切ることが難しい。 </td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">なし</td> </tr> </table>	ある	理由 根拠 ➔	<ul style="list-style-type: none"> ・他の補助金の活用や自主財源の確保等の方向性を探ることは可能であるが、各実行委員会の財政基盤は脆弱なため急激なコストの削減に踏み切ることが難しい。 	なし	
ある	理由 根拠 ➔	<ul style="list-style-type: none"> ・他の補助金の活用や自主財源の確保等の方向性を探ることは可能であるが、各実行委員会の財政基盤は脆弱なため急激なコストの削減に踏み切ることが難しい。 				
なし						

事業名：野幌太々神楽伝承会補助金

【事業番号 493】
郷土資料館 文化財係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			具体的施策					
開始年度	平成 7年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	奨励的補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別市野幌太々神楽伝承会

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	構成員数	人	26	25	22	24
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

市民団体として、市民への公演会や保存団体への協力を行う太々神楽の保存伝承活動を支援し、永く無形民俗文化財の保存に努める。
・「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき、補助金を交付する。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	補助金額	千円	300	300	300	300
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

指定文化財「野幌太々神楽」を永く保護保存するとともに、保存伝承活動を全市的活動に広げる。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	発表会及び研修会等活動日数	日	11	24	36	28
成果指標 2						

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費 (A)		千円	300	300	300	300
正職員人件費 (B)		千円	381	380	380	384
総事業費 (A+B)		千円	681	680	680	684

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	江別市野幌太々神楽伝承会の公演等の保存伝承活動事業に対し、補助金を交付し支援する。	江別市野幌太々神楽伝承会への補助	300千円

事業開始背景

野幌太々神楽を市の伝統芸能として位置づけ、永く後世に伝えることを目的として平成7年に発足し、全市的な保存伝承活動に取り組んでいる団体に対する補助金の交付事業である。

事業を取り巻く環境変化

会の活動は年を追うごとに活発化し、平成13年からは自主発表会の開催や依頼公演の増加など、組織として自立し始めている。併せて指定文化財の保持団体である野幌太々神楽保存会との交流も順調に進められている。

令和 4年度の実績による担当課の評価（令和 5年度7月時点）

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	上がっている	理由根拠 ➔
	どちらかといえば上がっている	
	上がっていない	
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	成果向上余地 大	理由根拠 ➔
	成果向上余地 中	
	成果向上余地 小	
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？		
コスト	ある	理由根拠 ➔
	なし	

事業名：野幌太々神楽保存会補助金

【事業番号 494】
郷土資料館 文化財係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			具体的施策					
開始年度	昭和59年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	奨励的補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市指定文化財保存団体「野幌太々神楽保存会」

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	構成員数	人	151	124	127	127
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

市指定文化財保持団体の保存伝承活動を支援し、永く無形民俗文化財の保存に努める。
・「文化財保護条例」、「文化財保護条例施行規則」に基づき、補助金を交付する。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	補助金額	千円	125	150	150	150
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

指定文化財を適切に保護、保存する。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	発表会及び研修会等活動日数	日	8	23	23	23
成果指標 2						

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費 (A)		千円	125	150	150	150
正職員人件費 (B)		千円	381	380	380	384
総事業費 (A+B)		千円	506	530	530	534

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	市指定文化財「野幌太々神楽」の保持団体である「野幌太々神楽保存会」の保存伝承活動に対し、補助金を交付し支援する。	野幌太々神楽保存会への補助	150千円

事業開始背景
昭和48年に指定した無形民俗文化財の保存継承団体に対する補助金の交付事業である。
事業を取り巻く環境変化
野幌太々神楽は東西野幌地区に伝わる伝統芸能であるが、近年の農業経営形態や生活環境の変化により、この伝統芸能を受け継ぐ人々が減少し、次代への継承が危ぶまれている中、その保存伝承のために無形民俗文化財として指定した市の果たす役割も大きくなっている。

令和 4年度の実績による担当課の評価（令和 5年度7月時点）						
成果動向及び原因分析	(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？					
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;">上がっている</td> <td rowspan="3" style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="width: 60%; padding: 5px;">新型コロナウイルス感染拡大の影響により、例大祭での神楽奉納は中止となったものの、その他の活動は徐々に活発化しつつある。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">どちらかといえば上がっている</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">上がっていない</td> </tr> </table>	上がっている	理由 根拠	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、例大祭での神楽奉納は中止となったものの、その他の活動は徐々に活発化しつつある。	どちらかといえば上がっている	上がっていない
	上がっている	理由 根拠			新型コロナウイルス感染拡大の影響により、例大祭での神楽奉納は中止となったものの、その他の活動は徐々に活発化しつつある。	
どちらかといえば上がっている						
上がっていない						
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？						
成果向上余地	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;">成果向上余地 大</td> <td rowspan="3" style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="width: 60%; padding: 5px;">新型コロナウイルス感染拡大により、活動の一部が制限されたが、感染拡大が終息すれば従前どおりの適切な保存伝承活動が行われ、貴重な文化財が後世に継承されることが期待される。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">成果向上余地 中</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">成果向上余地 小</td> </tr> </table>	成果向上余地 大	理由 根拠	新型コロナウイルス感染拡大により、活動の一部が制限されたが、感染拡大が終息すれば従前どおりの適切な保存伝承活動が行われ、貴重な文化財が後世に継承されることが期待される。	成果向上余地 中	成果向上余地 小
	成果向上余地 大	理由 根拠			新型コロナウイルス感染拡大により、活動の一部が制限されたが、感染拡大が終息すれば従前どおりの適切な保存伝承活動が行われ、貴重な文化財が後世に継承されることが期待される。	
	成果向上余地 中					
成果向上余地 小						
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？						
コスト	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;">ある</td> <td rowspan="2" style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="2" style="width: 60%; padding: 5px;">指定文化財を保護・保存することは行政の責務であり、補助金の削減は難しい。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">なし</td> </tr> </table>	ある	理由 根拠	指定文化財を保護・保存することは行政の責務であり、補助金の削減は難しい。	なし	
	ある	理由 根拠			指定文化財を保護・保存することは行政の責務であり、補助金の削減は難しい。	
なし						

事業名：陶芸文化普及振興事業

【事業番号 617】
セラミックアートセンター

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			具体的施策					
開始年度	平成 6年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・市民

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	市民	人	119,883	119,777	119,333	119,333
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

- ・工房利用者や教室受講者の成果発表機会を提供する。
- ・常設展示によるやきもの文化の学習機会を提供する。
- ・陶芸体験、初級・中級等の教室や講座を開催する。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	展示事業数	回	1	1	1	1
活動指標 2	教室・講座等事業数	事業	25	23	29	30

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・工房利用者等の成果発表展の出展、観覧を通して、出展者は創作意欲がさらに高まることで施設を継続的に利用し、観覧者はやきものへ親しみを感じ、新たな施設利用者となる。
- ・常設展示の観覧を通して、やきもの文化への理解が深まっている。
- ・陶芸教室等を受講することで、陶芸文化への興味関心、学習意欲が高まっている。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	展示事業入場者数	人	2,946	1,779	2,319	2,700
成果指標 2	教室・講座等事業参加者数	人	3,493	2,755	5,216	4,100

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費 (A)		千円	6,556	7,078	6,387	6,742
正職員人件費 (B)		千円	5,340	4,945	5,323	5,378
総事業費 (A+B)		千円	11,896	12,023	11,710	12,120

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・「工房利用者作品展」等の展示事業の実施 ・陶芸教室、陶芸体験、各種講座等の実施 	・陶芸指導員報酬	4,873千円

事業開始背景
センターの運営指針である「やきもの文化の普及振興」と陶芸人口の底辺拡大を図るため、展示事業と両軸をなす陶芸教室や体験会を提供するために開始した。
事業を取り巻く環境変化
陶芸教室等においては、開館以来、初中級の成形（技法）教室や講座を開講してきたが、参加者・利用者からのニーズを踏まえた教室・講座を開講することとしている。

令和 4年度の実績による担当課の評価（令和 5年度7月時点）						
成果動向及び原因分析	(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？					
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;">上がっている</td> <td rowspan="3" style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="width: 60%; vertical-align: top;">陶芸体験の対象年齢引き下げや、新規講座を開設したことで、参加者数増となった。</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc; text-align: center;">どちらかといえば上がっている</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">上がっていない</td> </tr> </table>	上がっている	理由 根拠	陶芸体験の対象年齢引き下げや、新規講座を開設したことで、参加者数増となった。	どちらかといえば上がっている	上がっていない
	上がっている	理由 根拠			陶芸体験の対象年齢引き下げや、新規講座を開設したことで、参加者数増となった。	
どちらかといえば上がっている						
上がっていない						
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？						
成果向上余地	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;">成果向上余地 大</td> <td rowspan="3" style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="width: 60%; vertical-align: top;">工房利用者からの要望や受講者アンケートの回答内容から得た情報をもとに、新たな講座・イベントを企画立案することで、成果向上の余地はある。</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc; text-align: center;">成果向上余地 中</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">成果向上余地 小</td> </tr> </table>	成果向上余地 大	理由 根拠	工房利用者からの要望や受講者アンケートの回答内容から得た情報をもとに、新たな講座・イベントを企画立案することで、成果向上の余地はある。	成果向上余地 中	成果向上余地 小
成果向上余地 大	理由 根拠	工房利用者からの要望や受講者アンケートの回答内容から得た情報をもとに、新たな講座・イベントを企画立案することで、成果向上の余地はある。				
成果向上余地 中						
成果向上余地 小						
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？						
コスト	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;">ある</td> <td rowspan="2" style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="2" style="width: 60%; vertical-align: top;">陶芸教室等や展示事業の内容・規模は、年度毎に異なる要素があり、その都度必要な予算を計上していることから、一様な削減は馴染まない。</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc; text-align: center;">なし</td> </tr> </table>	ある	理由 根拠	陶芸教室等や展示事業の内容・規模は、年度毎に異なる要素があり、その都度必要な予算を計上していることから、一様な削減は馴染まない。	なし	
ある	理由 根拠	陶芸教室等や展示事業の内容・規模は、年度毎に異なる要素があり、その都度必要な予算を計上していることから、一様な削減は馴染まない。				
なし						

事業名：芸術鑑賞招へい事業

【事業番号 619】

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			具体的施策					
開始年度	平成13年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

芸術鑑賞機会の充実を目的とする市民団体

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	補助金交付市民団体数	団体	3	3	3	3
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

芸術文化鑑賞機会の充実を目的とする市内の芸術文化活動団体に対し、「江別市芸術文化奨励補助金交付要綱」に基づき補助金を交付する。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	補助金額	千円	1,400	1,250	1,400	1,400
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・市民の主体的かつ創造性豊かな芸術文化活動が活発に行われる。
- ・質の高い芸術鑑賞機会が増える。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	鑑賞者数	人	659	891	1,748	1,500
成果指標 2						

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費 (A)		千円	1,400	1,250	1,400	1,400
正職員人件費 (B)		千円	763	761	760	768
総事業費 (A+B)		千円	2,163	2,011	2,160	2,168

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	・プロの団体・個人を招へいし、質の高い舞台芸術公演を実施する。	・音楽関係公演	1,200千円
		・演劇関係公演	200千円

事業開始背景

市民が主体となり、創造性豊かな芸術文化の振興が求められる時代背景にあつて、平成13年4月に江別市芸術文化奨励補助金交付要綱の改正を行い、新たに市民の手による芸術文化事業の充実を図るため、市民団体等が行う質の高い鑑賞招へい事業に対する支援を行うこととした。

事業を取り巻く環境変化

平成27年度から江別市民音楽振興会に対する支援を開始。
令和2年度から江別演劇プロジェクトWindsに対する支援を開始。
令和元年度以降、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、公演の中止や延期、入場者数の制限など大きな影響を受けている。

令和 4年度の実績による担当課の評価（令和 5年度7月時点）

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	上がっている	理由根拠
	どちらかといえば上がっている	
	上がっていない	
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	成果向上余地 大	理由根拠
	成果向上余地 中	
	成果向上余地 小	
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？		
コスト	ある	理由根拠
	なし	

事業名：埋蔵文化財発掘調査事業

【事業番号 627】
郷土資料館 文化財係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

埋蔵文化財包蔵地（遺跡）

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	埋蔵文化財包蔵地	カ所	142	142	142	142
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

1. 埋蔵文化財包蔵地のデータ管理及び確認調査等の実施と、資料の整備・公開により、市民ほか関係者に周知する。
2. 埋蔵文化財包蔵地の現状保存が困難な各種土木工事等に伴い発掘調査等の措置により、記録保存を行う。
3. 各種土木工事等に伴う発掘調査費の積算や、国・道費との調整を図り、事業を実施する。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	所在確認調査・試掘調査実施件数	件	3	4	1	4
活動指標 2	発掘調査実施件数	件	1	4	3	0

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

埋蔵文化財を適切に保護、保存する。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	埋蔵文化財保護件数	件	4	8	8	4
成果指標 2						

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費 (A)		千円	17,177	33,181	41,153	12,934
正職員人件費 (B)		千円	14,495	13,693	15,208	11,525
総事業費 (A+B)		千円	31,672	46,874	56,361	24,459

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）		
4年度	埋蔵文化財包蔵地の現状保存が困難な各種土木工事等に伴い、記録保存のための発掘調査を実施する。埋蔵文化財包蔵地に関する資料の管理・公開や確認調査等を実施する。	発掘調査に伴う費用	作業員等報酬 委託料	13,316千円 18,391千円

事業開始背景

文化財保護法に基づく埋蔵文化財の保護・保存のため。

事業を取り巻く環境変化

記録保存のための発掘調査事業については、各種土木工事等の頻度により、事業量がかなり増減する。平成10年度に埋蔵文化財包蔵地の「周知資料」（既に存在が知られている包蔵地のデータを広く一般に知らせるための資料）の整備を市町村において行うよう通知が出されており、詳細分布調査を積極的に行うことにより、周知資料を適正に整備していくことが求められている。

令和 4年度の実績による担当課の評価（令和 5年度7月時点）

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	上がっている	理由根拠
	どちらかといえば上がっている	
	上がっていない	
文化財保護法に基づく届出制度について周知を行い、開発事業者からの届出に基き、埋蔵文化財包蔵地における記録保存のための本調査、所在・試掘調査、詳細分布調査を実施し、市内における埋蔵文化財を適切に保護・保存している。		
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	成果向上余地 大	理由根拠
	成果向上余地 中	
	成果向上余地 小	
発掘調査の事業量は、埋蔵文化財包蔵地における土木工事の実施計画の影響を受けるが、工事事業者や建設部との連携による工事計画の早期の把握や、発掘調査の実施方法の工夫などによって、より効率的な埋蔵文化財の保護・保存を行うことができる余地があると考えます。		
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？		
コスト	ある	理由根拠
	なし	
事業の実施に必要な最低限の経費を計上しており、これ以上の予算削減は難しい。土木工事に伴う発掘調査の費用は原則事業者負担だが、一定の要件に該当する事業者については、国・道の補助制度を活用している。		

事業名：郷土資料館企画展開催事業

【事業番号 884】
郷土資料館 文化財係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			具体的施策					
開始年度	平成22年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	市民	人	119,883	0	119,333	119,333
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

- 郷土資料館収蔵資料を中心とした企画展を開催する。
- 未公開資料を積極的に活用し、市民に多くの郷土資料を紹介する。
- 展示資料の追調査等を実施することによって、資料データの充実を図る。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	企画展開催数	回	1	0	1	2
活動指標 2	展示資料点数	点	40	0	114	150

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

郷土資料館収蔵資料の公開を通じて、市民に郷土の歴史・文化に関心を持ってもらい、さらに、ふるさと意識の醸成を図る。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	企画展入場者数	人	1,256	0	1,424	2,500
成果指標 2						

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費 (A)		千円	78	0	20	90
正職員人件費 (B)		千円	763	0	3,042	3,073
総事業費 (A+B)		千円	841	0	3,062	3,163

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	テーマに沿った企画展を開催し、市民の寄贈資料や発掘調査で得た考古資料等を公開することで、江別の歴史や文化に対する関心を深めてもらう。	展示に伴う経費	20千円

事業開始背景
常設展示以外の収蔵資料を市民に公開することを通じて、郷土史に対する理解を深めてもらうことと、収蔵資料の有効活用を図る。
事業を取り巻く環境変化
新型コロナウイルス感染症の影響等で、令和2年度以降は予定通りに企画展を開催できていない。

令和4年度の実績による担当課の評価（令和5年度7月時点）						
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？						
成果動向及び原因分析	<table border="1"> <tr> <td>上がっている</td> <td rowspan="3" style="background-color: #cccccc;">理由根拠</td> <td rowspan="3">令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症の影響等により、年2回の企画展を開催できていない。</td> </tr> <tr> <td>どちらかといえば上がっている</td> </tr> <tr> <td style="background-color: black;">上がっていない</td> </tr> </table>	上がっている	理由根拠	令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症の影響等により、年2回の企画展を開催できていない。	どちらかといえば上がっている	上がっていない
上がっている	理由根拠	令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症の影響等により、年2回の企画展を開催できていない。				
どちらかといえば上がっている						
上がっていない						
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？						
成果向上余地	<table border="1"> <tr> <td>成果向上余地 大</td> <td rowspan="3" style="background-color: #cccccc;">理由根拠</td> <td rowspan="3">アンケートの実施や、他館の事例研究などを通じて来館者のニーズを把握し、テーマを工夫することで来館者数を増やすことができると考える。</td> </tr> <tr> <td style="background-color: black;">成果向上余地 中</td> </tr> <tr> <td>成果向上余地 小</td> </tr> </table>	成果向上余地 大	理由根拠	アンケートの実施や、他館の事例研究などを通じて来館者のニーズを把握し、テーマを工夫することで来館者数を増やすことができると考える。	成果向上余地 中	成果向上余地 小
成果向上余地 大	理由根拠	アンケートの実施や、他館の事例研究などを通じて来館者のニーズを把握し、テーマを工夫することで来館者数を増やすことができると考える。				
成果向上余地 中						
成果向上余地 小						
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？						
コスト	<table border="1"> <tr> <td>ある</td> <td rowspan="2" style="background-color: #cccccc;">理由根拠</td> <td rowspan="2">本事業は、必要最低限の予算で運営しているため、事業費の削減は難しい。</td> </tr> <tr> <td style="background-color: black;">なし</td> </tr> </table>	ある	理由根拠	本事業は、必要最低限の予算で運営しているため、事業費の削減は難しい。	なし	
ある	理由根拠	本事業は、必要最低限の予算で運営しているため、事業費の削減は難しい。				
なし						

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			具体的施策					
開始年度	平成 3年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	市民	人	119,883	119,777	119,333	119,333
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

市民が郷土史を学ぶための各種講座を開催するとともに、見学受け入れや出前授業等を通じて小中学校の学習を支援する。
 ・子ども学芸員カレッジ（小学生） ・再発見・江別探訪（一般）
 ・縄文土器を作ろう！（小学生） ・ふるさと歴史講座（一般）
 ・総合的な学習支援事業（小中学生） ・歴史を学ぼう（小中学生・一般）

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	事業開催回数	回	46	38	48	45
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

市民に郷土の歴史に対する理解を深めてもらう。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	事業参加者数	人	2,161	1,747	1,868	2,000
成果指標 2						

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費 (A)		千円	120	128	166	179
正職員人件費 (B)		千円	4,196	3,043	4,182	4,226
総事業費 (A+B)		千円	4,316	3,171	4,348	4,405

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）		
4年度	○小学生対象 ・子ども学芸員カレッジ：学芸員の仕事体験などを通じて江別の歴史を学ぶ連続型講座。 ・縄文土器を作ろう！：大昔に使われていた「縄文土器」を当時と同じ方法で制作する体験型講座。 ・考古学教室出前講座：勾玉作りなどの体験を通じて考古学を学ぶ講座。北海道立埋蔵文化財センターとの共催。 ○一般対象 ・再発見・江別探訪：市内の史跡を徒歩やバスで巡る見学ツアー。 ・ふるさと歴史講座：江別及び北海道の歴史や文化をテーマとした講演会。 ・古文書教室：「崩し字」の解読方法など、古文書の基礎を学ぶ講座。北海道立文書館との共催。 ・解説ボランティア養成講座：郷土史のガイドを行う知識や技術を学習する講座。郷土資料館友の会との共催。	各種講座開催経費 ・子ども学芸員カレッジ 58千円 ・縄文土器を作ろう！ 41千円 ・再発見・江別探訪 39千円 ・ふるさと歴史講座 25千円 ・考古学教室出前講座 3千円		

事業開始背景
様々な講座等の実施を通じて、子供から大人まで郷土史への理解と関心を深めてもらうとともに、郷土資料館等の利用促進を図る。
事業を取り巻く環境変化
新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、事業参加者数は減少傾向にあるが、事業開催回数は感染防止対策の徹底をして実施した結果、コロナ禍以前と同程度まで回復した。

令和 4年度の実績による担当課の評価（令和 5年度7月時点）		
成果動向及び原因分析	(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？	
	上がっている どちらかといえば上がっている 上がっていない	理由 根拠 ➔
	令和2～3年度にかけて、新型コロナウイルス感染症の影響で事業実施回数、事業参加者数とも減少したが、市内小中学校への利用呼びかけや、広報誌・ホームページの掲載、SNS等を活用した効果的な情報発信を行った結果、回復傾向にある。	
成果向上余地	(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？	
	成果向上余地 大 成果向上余地 中 成果向上余地 小	理由 根拠 ➔
	近年、歴史全般に関する社会の関心が高まっていることから、市民の興味・関心が高い分野をテーマとした事業メニューの立案、関係団体との連携、ボランティア解説員の育成などの取り組みを通じて、江別の特色ある歴史や史跡等を市民に知ってもらうことによって、事業参加者の増加が期待できる。	
コスト	(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？	
	ある なし	理由 根拠 ➔
	本事業は、必要最低限の予算で運営しており、事業費の削減は難しい。	

事業名：郷土資料館管理運営経費

郷土資料館 業務係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			具体的施策					
開始年度	平成 3年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

郷土資料館
 屯田資料館
 野幌屯田兵屋

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	施設数	施設	3	3	3	3
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

郷土資料館の維持管理に要する経費。
 ・常設展・企画展など展示事業の適正な管理運営
 ・講座等教育普及事業の適正な管理運営
 ・郷土資料の収集・保存・調査研究
 屯田資料館及び野幌屯田兵屋の維持管理並びに運営に関する経費。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	郷土資料館開館日数	日	264	230	300	301
活動指標 2	屯田資料館開館日数	日	54	37	66	62

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

・市民に江別の歴史を理解してもらう。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	郷土資料館利用者数	人	4,537	3,558	4,339	4,000
成果指標 2	屯田資料館及び野幌屯田兵屋利用者数	人	864	513	1,014	950

事業費の推移	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費 (A)	千円	14,649	13,710	16,555	17,068
正職員人件費 (B)	千円	7,248	6,086	7,224	7,299
総事業費 (A+B)	千円	21,897	19,796	23,779	24,367

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	郷土資料館、屯田資料館、野幌屯田兵屋の維持管理及び展示資料の公開	・施設管理及び解説担当職員報酬	5,452千円
		・燃料費（重油等）	901千円
		・光熱水費（電気、ガス、水道）	1,630千円
		・保守管理委託経費（清掃等）	6,295千円

事業開始背景
郷土の歴史資料等を市民に公開し活用してもらう。
事業を取り巻く環境変化
<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、利用人数が減少傾向にあり、また通常の管理業務に加えて感染防止対策の徹底が求められるようになった。 ・施設・設備の老朽化が進んでいる。

令和 4年度の実績による担当課の評価（令和 5年度7月時点）		
成果動向及び原因分析	(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？	
	上がっている	理由根拠
	どちらかといえば上がっている	
上がっていない		
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	成果向上余地 大	理由根拠
	成果向上余地 中	
	成果向上余地 小	
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？		
コスト	ある	理由根拠
	なし	

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			具体的施策					
開始年度	令和 3年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	市民	人	0	0	119,333	119,333
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

北海道林木育種場旧庁舎の歴史的価値の伝承と地域の交流促進のため、セミナー・ワークショップを行う。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	実施事業数	件	0	0	3	2
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・市民が歴史的文化的価値に触れる機会が増えることにより、建物への理解を深め、文化財保護の意識を高める。
- ・市内大学関係者による会合等での利用を推進する。
- ・在宅ワーカーや起業家、個人事業主の利用を推進し、北海道林木育種場旧庁舎がビジネスの場につながる。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	事業参加者数	人	0	0	113	35
成果指標 2						

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費 (A)		千円	0	90,162	2,885	430
正職員人件費 (B)		千円	0	2,662	1,521	1,152
総事業費 (A+B)		千円	0	92,824	4,406	1,582

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・市民対象の建物歴史セミナー開催 ・市内大学生対象の施設活用セミナー・ワークショップ開催 ・コワーキングビジネス体験会（在宅ワーカーや起業家、個人事業主等を対象とした体験会）開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・建物歴史セミナー 74千円 ・大学生生活用セミナー 225千円 ・コワーキングビジネス体験会 1,129千円 ・施設等修繕費 1,247千円 ※施設引渡に伴う改修工事の一部がR4に引き続いたもの。

事業開始背景

令和3年9月からの北海道林木育種場旧庁舎の民間利活用開始に当たり、令和3年度には地方創生拠点整備交付金を活用し、必要最低限の劣化部修繕・安全性確保のための改修を行い、令和4年度以降は、施設の歴史的価値の伝承及び民間事業者による利活用の促進のため、施設の周知啓発に係る事業に取り組んでいる。

事業を取り巻く環境変化

北海道林木育種場旧庁舎は、令和3年9月に民間事業者による利活用が始まり、令和4年4月に本社移転、5月にカフェがオープンしている。

令和4年度の実績による担当課の評価（令和5年度7月時点）

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	上がっている	理由根拠
	どちらかといえば上がっている	
	上がっていない	
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	成果向上余地 大	理由根拠
	成果向上余地 中	
	成果向上余地 小	
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？		
コスト	ある	理由根拠
	なし	

事業名：旧町村農場保存活用推進事業

【事業番号 6975】
生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			具体的施策					
開始年度	令和 4年度	終了年度	—	区分1	新規	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

旧町村農場

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	旧町村農場	施設	0	0	1	1
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

令和 4 年度 施設利用ニーズ調査等・実施設計
令和 5 年度 改修工事

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	事業費	千円	0	0	12,138	202,991
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

老朽化した施設を改修するとともに、長期的に市民に親しまれ、多くの人に利用される施設となるよう機能強化を図る。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	改修された施設数	施設	0	0	0	1
成果指標 2						

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費 (A)		千円	0	0	12,138	202,991
正職員人件費 (B)		千円	0	0	1,901	2,305
総事業費 (A+B)		千円	0	0	14,039	205,296

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	<ul style="list-style-type: none"> 施設利用ニーズ調査等 市民意見の聴取 実施設計 	施設利用ニーズ調査等	1,468千円
		実施設計	10,670千円

事業開始背景

昭和3年に建築された旧町村農場は、江別市が平成7年に取得し、平成8年から江別の酪農の歴史を伝える施設として広く利用されているところであるが、建築から90年以上が経過し、大規模な改修が必要な状況である。このため施設を改修し、江別市の酪農景観と歴史、北海道酪農の先駆者である町村敬貴の業績を伝える場だけでなく、新たな機能を付加した施設へ改修を図ることとなった。

事業を取り巻く環境変化

施設改修にあたっては、市民の意見を取り入れるためのワークショップを開催し、令和4年11月に「江別市旧町村農場保存活用整備方針」を策定。整備方針に基づいた実施設計は令和4年度に終了し、令和5年度に大規模改修工事を行う。

令和4年度の実績による担当課の評価（令和5年度7月時点）

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	上がっている	理由根拠
	どちらかといえば上がっている	
	上がっていない	
計画どおりに進んでいる。		
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	成果向上余地 大	理由根拠
	成果向上余地 中	
	成果向上余地 小	
計画どおりに進んでいる。		
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？		
コスト	ある	理由根拠
	なし	
整備方針の策定及び実施設計は既に終了し、工事が進行している。		

事業名：学校プール開放事業

【事業番号 499】
スポーツ課 スポーツ係

政策	07 生涯学習・文化	戦略						
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実	具体的施策						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

開放校及びその周辺地区の児童・生徒及びその保護者

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	開放校区の児童・生徒（中学生）数	人	8,689	8,656	8,719	8,271
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

学校プールを夏季休業期間中、開放・管理する。期間中、巡回員が全学校のプールを確認し、状況確認及び水質管理を行うほか、開放校毎に開放時間中2～3名のプール監視員を配置、水温、室温等現場環境の確認を行い、午前10時から正午までと午後1時から午後3時00分までの開放時間中の児童・生徒の安全利用について監視を行う。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	開放校数	校	0	0	15	15
活動指標 2	開放日数	日	0	0	9	14

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

学校プールを夏季休業期間中開放し、水泳に親しむ機会を提供することで、小中学生の体力・健康増進を図る。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	利用者数	人	0	0	6,746	10,000
成果指標 2						

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費 (A)		千円	0	0	2,752	3,913
正職員人件費 (B)		千円	381	1,521	1,521	1,921
総事業費 (A+B)		千円	381	1,521	4,273	5,834

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	夏季休業期間中に小学校15校のプールを、開放校及びその周辺地区の児童・生徒及びその保護者に開放する。	監視員等報酬	2,352千円

事業開始背景

夏休み期間に児童生徒の体力増進を図る場を提供する。

事業を取り巻く環境変化

新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2～3年度は事業を中止、令和4年度は感染症対策のため、消毒等の徹底、午前は奇数学年、午後は偶数学年とするなど、利用制限を行ったうえで実施した。

令和4年度の実績による担当課の評価（令和5年度7月時点）

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	<input checked="" type="checkbox"/> 上がっている	理由根拠
	<input type="checkbox"/> どちらかといえば上がっている	
	<input type="checkbox"/> 上がっていない	
<p>令和2～3年度は事業を中止していたが、感染症対策を徹底することで事業を再開しており、成果指標は上がっている。</p>		
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	<input type="checkbox"/> 成果向上余地 大	理由根拠
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果向上余地 中	
	<input type="checkbox"/> 成果向上余地 小	
<p>新型コロナウイルス感染症が収束し、利用制限を撤廃すれば、利用者の増が期待できる。</p>		
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？		
コスト	<input type="checkbox"/> ある	理由根拠
	<input checked="" type="checkbox"/> なし	
<p>プールは、安全管理や水質管理など、減らしたり効率化できない部分があることから削減は難しく、利用者の安全性の確保のため、逆にコストをかける必要がある。</p>		

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象 (誰、何に対して事業を行うのか)

開放校及びその周辺地区の児童、生徒及びその保護者

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	実施校区の児童・生徒数	人	5,759	5,825	5,821	5,733
対象指標 2						

手段 (事務事業の内容、手法)

学校週5日制の対応として、毎週土曜日午前8時30分から正午まで市内10小学校の体育館を開放し、利用者の自由なスポーツ活動(バドミントン・バレーボール・バスケットボール・ドッジボール・その他軽スポーツ等)に供するほか、グラウンドを自由開放する。出入口の錠の開閉や安全管理・器具使用上等の指導・説明等のため1校に2名の指導員を配置している。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	開放校数	校	10	10	10	10
活動指標 2	開放日数	日	134	108	188	190

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

- ・学校週5日制により生じた休日の子供たちが家に閉じこもることなく、有意義に過ごし健やかに成長する。
- ・スポーツ少年団等のスポーツ組織へ未加入の子供たちに対し、スポーツに親しむ機会を提供する。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	利用者数	人	2,102	947	2,681	2,500
成果指標 2						

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費 (A)		千円	794	603	1,145	1,160
正職員人件費 (B)		千円	1,526	1,521	1,521	1,537
総事業費 (A+B)		千円	2,320	2,124	2,666	2,697

事業内容 (主なもの)		費用内訳 (主なもの)	
4年度	土曜日に小学校10校の体育館及びグラウンド(夏季)を、開放校及びその周辺の児童、生徒及びその保護者に開放する。	指導員謝礼	1,027千円

事業開始背景

学校週5日制の導入により休業日となる土曜日に、学校施設を開放し児童が様々な運動を体験することにより、自主性や協調性を培い、より豊かな人間形成を図る。

事業を取り巻く環境変化

新型コロナウイルス感染症の影響はあるものの、活動は回復傾向を見せている。

令和4年度の実績による担当課の評価（令和5年度7月時点）

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？

成果動向及び原因分析	上がっている	理由 根拠 ➔	新型コロナウイルス感染症の影響による開放中止は減少し、利用者も回復してきている。
	どちらかといえば上がっている		
	上がっていない		

(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地	成果向上余地 大	理由 根拠 ➔	自由開放で、活動種目を特定していないが、子ども達に人気のある種目の用具を増やすなどの努力によって、利用人数が増えることが期待できる。
	成果向上余地 中		
	成果向上余地 小		

(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？

コスト	ある	理由 根拠 ➔	必要最小限の費用で運営しており、コストの削減は難しい。
	なし		

事業名：屋外体育施設管理運営事業

【事業番号 503】
スポーツ課 スポーツ係

政策	07 生涯学習・文化	戦略						
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実	具体的施策						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

屋外スケートリンク

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	施設数	施設	2	2	1	1
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

- ・屋外スケートリンクのリンク造成、運営管理を行う。
- ・業務委託で行う。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	屋外スケートリンク開場日数	日	26	23	27	24
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

施設の維持管理・運営を適切に行い、市民がスポーツに親しむ場を提供する。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	屋外スケートリンク利用者	人	3,155	2,024	3,202	11,000
成果指標 2		人				

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費 (A)		千円	6,319	6,259	4,775	4,872
正職員人件費 (B)		千円	763	761	760	768
総事業費 (A+B)		千円	7,082	7,020	5,535	5,640

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	スケートリンク造成、管理運営を業務委託により実施する。	委託料	4,775千円

事業開始背景
市民へのスポーツ活動の場の提供
事業を取り巻く環境変化
令和4年度からえみくる敷地内に造成した新少年野球場への移転に伴い、はやぶさ運動公園の管理運営が不要になった。

令和 4年度の実績による担当課の評価（令和 5年度7月時点）	
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？	
成果動向及び原因分析	上がっている
	どちらかといえば上がっている
	上がっていない
理由根拠	新型コロナウイルス感染症の影響はあるが、利用者数は回復傾向にある。
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？	
成果向上余地	成果向上余地 大
	成果向上余地 中
	成果向上余地 小
理由根拠	新型コロナウイルス感染症の収束により、利用者の増が期待できる。
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？	
コスト	ある
	なし
理由根拠	経費の削減に努めてきており、削減は難しい。

事業名：スポーツ少年団補助金

【事業番号 504】
スポーツ課 スポーツ係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別市スポーツ少年団

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	登録団数	団	42	37	38	38
対象指標 2	登録団員数	人	856	832	909	909

手段（事務事業の内容、手法）

- ・スポーツ少年団が行う単位少年団育成強化事業、交流事業、リーダー養成事業等に対して補助を行う。
- ・「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき、江別市体育協会を通じて江別市スポーツ少年団に対し定額を補助する。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	補助金額	千円	1,638	1,898	1,815	1,895
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・スポーツを行う青少年を増やす。
- ・青少年スポーツを指導する有資格者を増やす。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	小中学生に対するスポーツ少年団員の割合	%	9.9	9.6	10.4	10.3
成果指標 2	認定指導員の数	人	150	130	125	125

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費 (A)		千円	1,638	1,898	1,815	1,895
正職員人件費 (B)		千円	763	761	760	768
総事業費 (A+B)		千円	2,401	2,659	2,575	2,663

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	江別市スポーツ少年団に対し補助金を支出。	補助金	1,815千円

事業開始背景
社会教育関係団体である江別市スポーツ少年団について、市内スポーツ及び社会教育の振興・育成を目的として、同団体が実施する事業に対し、その費用の一部を補助する。
事業を取り巻く環境変化
新型コロナウイルス感染症の影響はあるものの、活動は回復傾向を見せている。

令和 4年度の実績による担当課の評価（令和 5年度7月時点）						
成果動向及び原因分析	(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？					
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;">上がっている</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠 ➔</td> <td rowspan="3" style="padding-left: 10px;">新型コロナウイルス感染症の影響はあるものの、登録団員数は回復傾向を見せている。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">どちらかといえば上がっている</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">上がっていない</td> </tr> </table>	上がっている	理由 根拠 ➔	新型コロナウイルス感染症の影響はあるものの、登録団員数は回復傾向を見せている。	どちらかといえば上がっている	上がっていない
	上がっている	理由 根拠 ➔			新型コロナウイルス感染症の影響はあるものの、登録団員数は回復傾向を見せている。	
どちらかといえば上がっている						
上がっていない						
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？						
成果向上余地	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;">成果向上余地 大</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠 ➔</td> <td rowspan="3" style="padding-left: 10px;">指導者の養成と活動場所の確保という条件が整えば、少年団員の増が期待できる。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">成果向上余地 中</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">成果向上余地 小</td> </tr> </table>	成果向上余地 大	理由 根拠 ➔	指導者の養成と活動場所の確保という条件が整えば、少年団員の増が期待できる。	成果向上余地 中	成果向上余地 小
	成果向上余地 大	理由 根拠 ➔			指導者の養成と活動場所の確保という条件が整えば、少年団員の増が期待できる。	
	成果向上余地 中					
成果向上余地 小						
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？						
コスト	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;">ある</td> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠 ➔</td> <td rowspan="2" style="padding-left: 10px;">少年団による各種事業は適切に運営されており、青少年のスポーツ振興の観点から削減は難しい。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">なし</td> </tr> </table>	ある	理由 根拠 ➔	少年団による各種事業は適切に運営されており、青少年のスポーツ振興の観点から削減は難しい。	なし	
	ある	理由 根拠 ➔			少年団による各種事業は適切に運営されており、青少年のスポーツ振興の観点から削減は難しい。	
なし						

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

あけぼのパークゴルフ場

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	施設数	施設	1	1	1	1
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

指定管理者制度を活用し、施設利用者へのサービス向上及び施設管理運営の効率化を図る。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	指定管理料	千円	11,082	11,511	12,228	14,869
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

施設の維持管理を適切に行い、パークゴルフに親しむ場を提供する。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	利用者数	人	36,433	25,180	39,300	40,000
成果指標 2						

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費 (A)		千円	11,082	11,511	12,228	14,869
正職員人件費 (B)		千円	763	761	760	1,537
総事業費 (A+B)		千円	11,845	12,272	12,988	16,406

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	施設の管理運営を指定管理者に委託する。	指定管理料	12,228千円

事業開始背景
平成18年度から指定管理者制度を導入した。
事業を取り巻く環境変化
平成30年度と令和元年度に相次いで民間のパークゴルフ場が閉鎖された。令和2年度～令和3年度は新型コロナウイルス感染症対策として、利用制限や利用休止等の対応を行った。 令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響はあるものの、利用制限や利用休止等の対応が無く、利用者数が増加した。

令和4年度の実績による担当課の評価（令和5年度7月時点）				
成果動向及び原因分析	(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？			
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;"> <input checked="" type="radio"/> 上がっている <input type="radio"/> どちらかといえば上がっている <input type="radio"/> 上がっていない </td> <td style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td style="width: 60%; vertical-align: top;"> <p>令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響はあるものの、利用制限や利用休止等の対応が無く、利用者数が増加した。</p> </td> </tr> </table>	<input checked="" type="radio"/> 上がっている <input type="radio"/> どちらかといえば上がっている <input type="radio"/> 上がっていない	理由 根拠	<p>令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響はあるものの、利用制限や利用休止等の対応が無く、利用者数が増加した。</p>
	<input checked="" type="radio"/> 上がっている <input type="radio"/> どちらかといえば上がっている <input type="radio"/> 上がっていない	理由 根拠	<p>令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響はあるものの、利用制限や利用休止等の対応が無く、利用者数が増加した。</p>	
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？				
成果向上余地	(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？			
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;"> <input type="radio"/> 成果向上余地 大 <input checked="" type="radio"/> 成果向上余地 中 <input type="radio"/> 成果向上余地 小 </td> <td style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td style="width: 60%; vertical-align: top;"> <p>増設された9ホールオープンにより、36ホールのコースとなることから、利用人数の増加が期待される。</p> </td> </tr> </table>	<input type="radio"/> 成果向上余地 大 <input checked="" type="radio"/> 成果向上余地 中 <input type="radio"/> 成果向上余地 小	理由 根拠	<p>増設された9ホールオープンにより、36ホールのコースとなることから、利用人数の増加が期待される。</p>
	<input type="radio"/> 成果向上余地 大 <input checked="" type="radio"/> 成果向上余地 中 <input type="radio"/> 成果向上余地 小	理由 根拠	<p>増設された9ホールオープンにより、36ホールのコースとなることから、利用人数の増加が期待される。</p>	
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？				
コスト	(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？			
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;"> <input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> なし </td> <td style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td style="width: 60%; vertical-align: top;"> <p>平成18年度から指定管理者制度を導入している。</p> </td> </tr> </table>	<input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> なし	理由 根拠	<p>平成18年度から指定管理者制度を導入している。</p>
	<input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> なし	理由 根拠	<p>平成18年度から指定管理者制度を導入している。</p>	
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？				

事業名：江別市スポーツ協会補助金

【事業番号 507】
 スポーツ課 スポーツ係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別市スポーツ協会

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	加盟団体数	団体	24	25	25	25
対象指標 2	加盟人数	人	6,876	6,960	6,727	6,500

手段（事務事業の内容、手法）

- ・スポーツ協会が行う単位協会活動費補助事業、ジュニアスポーツ育成事業、全道大会開催助成事業等に対し補助を行う。
- ・「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき、江別市スポーツ協会に対し定額を補助する。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	補助金額	千円	1,136	971	1,363	1,562
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・競技力の向上
- ・競技スポーツをする人の増加
- ・競技スポーツを指導する人の増加と資質向上

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	主催・共催事業実施数	事業	3	4	5	5
成果指標 2	有資格指導者数	人	376	336	342	440

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費 (A)		千円	1,136	971	1,363	1,562
正職員人件費 (B)		千円	763	761	760	768
総事業費 (A+B)		千円	1,899	1,732	2,123	2,330

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	江別市スポーツ協会に対し補助金を支出。	補助金	1,363千円

事業開始背景
社会教育関係団体である江別市体育協会（現：江別市スポーツ協会）について、市内スポーツ及び社会教育の振興・育成を目的として、同協会が実施する事業に対し、その費用の一部を補助する。
事業を取り巻く環境変化
新型コロナウイルス感染症の影響はあるものの、活動は回復傾向を見せている。

令和 4年度の実績による担当課の評価（令和 5年度7月時点）						
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？						
成果動向及び原因分析	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">上がっている</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠 ➔</td> <td rowspan="3" style="padding: 5px;">少年団や各種スポーツ分野において一定の登録指導者がおり、各競技種目において全道・全国大会に予選を突破して出場することが多く、競技スポーツのレベルが維持されている。</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">どちらかといえば上がっている</td> </tr> <tr> <td>上がっていない</td> </tr> </table>	上がっている	理由 根拠 ➔	少年団や各種スポーツ分野において一定の登録指導者がおり、各競技種目において全道・全国大会に予選を突破して出場することが多く、競技スポーツのレベルが維持されている。	どちらかといえば上がっている	上がっていない
上がっている	理由 根拠 ➔	少年団や各種スポーツ分野において一定の登録指導者がおり、各競技種目において全道・全国大会に予選を突破して出場することが多く、競技スポーツのレベルが維持されている。				
どちらかといえば上がっている						
上がっていない						
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？						
成果向上余地	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">成果向上余地 大</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠 ➔</td> <td rowspan="3" style="padding: 5px;">競技別の指導者養成に力を入れ、けん引役としての指導者を増やすことで、スポーツ人口の増加が期待できる。</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">成果向上余地 中</td> </tr> <tr> <td>成果向上余地 小</td> </tr> </table>	成果向上余地 大	理由 根拠 ➔	競技別の指導者養成に力を入れ、けん引役としての指導者を増やすことで、スポーツ人口の増加が期待できる。	成果向上余地 中	成果向上余地 小
成果向上余地 大	理由 根拠 ➔	競技別の指導者養成に力を入れ、けん引役としての指導者を増やすことで、スポーツ人口の増加が期待できる。				
成果向上余地 中						
成果向上余地 小						
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？						
コスト	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">ある</td> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠 ➔</td> <td rowspan="2" style="padding: 5px;">競技スポーツ振興、青少年のスポーツ技術向上の観点からコスト削減は難しい。</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">なし</td> </tr> </table>	ある	理由 根拠 ➔	競技スポーツ振興、青少年のスポーツ技術向上の観点からコスト削減は難しい。	なし	
ある	理由 根拠 ➔	競技スポーツ振興、青少年のスポーツ技術向上の観点からコスト削減は難しい。				
なし						

事業名：全国大会等開催補助事業

【事業番号 508】
スポーツ課 スポーツ係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	行事イベント補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	市民	人	119,883	119,777	119,333	119,333
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

江別市で開催される全国大会の運営経費の一部を補助する。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	全国大会件数	件	0	0	0	0
活動指標 2	補助金額	千円	0	0	0	0

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

市民が全国レベルの高度なプレーに触れることができる。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	参加者数	人	0	0	0	0
成果指標 2						

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費 (A)		千円	0	0	0	0
正職員人件費 (B)		千円	0	380	0	0
総事業費 (A+B)		千円	0	380	0	0

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
4年度	令和4年度は、市内で開催予定の大会がないため、補助金の支出なし。	なし

事業開始背景
市内で全国規模の大会が開催されることで、青少年を含む市民が高水準の技術に触れることができ、市民のスポーツ技術の向上や活動の活性化という面でスポーツ振興に資するものであるため、該当する大会に対して補助金を交付する。
事業を取り巻く環境変化
新型コロナウイルスの影響により、再開されない大会もある。

令和 4年度の実績による担当課の評価（令和 5年度7月時点）							
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？							
成果動向及び原因分析	<table border="1"> <tr> <td style="width: 30%;">上がっている</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">➔</td> <td rowspan="3">市民が全国レベルの競技スポーツに触れる機会となっている。</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">どちらかといえば上がっている</td> </tr> <tr> <td>上がっていない</td> </tr> </table>	上がっている	理由 根拠	➔	市民が全国レベルの競技スポーツに触れる機会となっている。	どちらかといえば上がっている	上がっていない
上がっている	理由 根拠	➔				市民が全国レベルの競技スポーツに触れる機会となっている。	
どちらかといえば上がっている							
上がっていない							
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？							
成果向上余地	<table border="1"> <tr> <td style="width: 30%;">成果向上余地 大</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">➔</td> <td rowspan="3">大会は随時に開催されるものであるため。</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">成果向上余地 中</td> </tr> <tr> <td>成果向上余地 小</td> </tr> </table>	成果向上余地 大	理由 根拠	➔	大会は随時に開催されるものであるため。	成果向上余地 中	成果向上余地 小
成果向上余地 大	理由 根拠	➔				大会は随時に開催されるものであるため。	
成果向上余地 中							
成果向上余地 小							
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？							
コスト	<table border="1"> <tr> <td style="width: 30%;">ある</td> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">➔</td> <td rowspan="2">大会規模により必要な経費の補助を行っている。</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">なし</td> </tr> </table>	ある	理由 根拠	➔	大会規模により必要な経費の補助を行っている。	なし	
ある	理由 根拠	➔				大会規模により必要な経費の補助を行っている。	
なし							

事業名：森林キャンプ場管理運営事業

【事業番号 512】
スポーツ課 スポーツ係

政策	07 生涯学習・文化	戦略						
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実	具体的施策						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

森林キャンプ場

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	施設数	施設	1	1	1	1
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

指定管理者制度を活用し、施設利用者へのサービス向上及び施設管理運営の効率化を図る。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	指定管理料	千円	7,777	8,705	7,782	7,652
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

施設の維持管理・運営を適切に行い、自然と触れ合う場を提供する。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	利用者数	人	14,632	5,110	9,955	13,000
成果指標 2						

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費 (A)		千円	7,777	8,705	7,782	7,652
正職員人件費 (B)		千円	763	761	760	768
総事業費 (A+B)		千円	8,540	9,466	8,542	8,420

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	施設の管理運営を指定管理者に委託する。	指定管理料	7,782千円

事業開始背景
平成18年度から指定管理者制度を導入した。
事業を取り巻く環境変化
平成16年10月から使用料を徴収している。 平成18年度から利用料金制に切替えた。

令和4年度の実績による担当課の評価（令和5年度7月時点）							
成果動向及び原因分析	(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？						
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;">上がっている</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="font-size: 2em;">➔</td> <td rowspan="3" style="padding: 5px;">新型コロナウイルス感染症発生前の入場者数には至っていないが、休場期間が無かったこともあり、回復傾向となっている。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">どちらかといえば上がっている</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">上がっていない</td> </tr> </table>	上がっている	理由 根拠	➔	新型コロナウイルス感染症発生前の入場者数には至っていないが、休場期間が無かったこともあり、回復傾向となっている。	どちらかといえば上がっている	上がっていない
	上がっている	理由 根拠				➔	新型コロナウイルス感染症発生前の入場者数には至っていないが、休場期間が無かったこともあり、回復傾向となっている。
どちらかといえば上がっている							
上がっていない							
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？							
成果向上余地	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;">成果向上余地 大</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="font-size: 2em;">➔</td> <td rowspan="3" style="padding: 5px;">野幌原始林に隣接していることや都市近郊であることを施設の特徴として、観光パンフレット等に掲載し、PRをすることによって、利用数の増が期待できる。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">成果向上余地 中</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">成果向上余地 小</td> </tr> </table>	成果向上余地 大	理由 根拠	➔	野幌原始林に隣接していることや都市近郊であることを施設の特徴として、観光パンフレット等に掲載し、PRをすることによって、利用数の増が期待できる。	成果向上余地 中	成果向上余地 小
成果向上余地 大	理由 根拠	➔				野幌原始林に隣接していることや都市近郊であることを施設の特徴として、観光パンフレット等に掲載し、PRをすることによって、利用数の増が期待できる。	
成果向上余地 中							
成果向上余地 小							
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？							
コスト	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;">ある</td> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="2" style="font-size: 2em;">➔</td> <td rowspan="2" style="padding: 5px;">平成18年度から指定管理者制度を導入し、必要最小限の予算で施設を管理している。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">なし</td> </tr> </table>	ある	理由 根拠	➔	平成18年度から指定管理者制度を導入し、必要最小限の予算で施設を管理している。	なし	
ある	理由 根拠	➔				平成18年度から指定管理者制度を導入し、必要最小限の予算で施設を管理している。	
なし							

政策	07 生涯学習・文化	戦略						
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実	具体的施策						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象 (誰、何に対して事業を行うのか)

全道大会規模以上のスポーツ大会に出場する市民

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	全道大会規模以上のスポーツ大会に出場する市民数	人	16	64	164	312
対象指標 2						

手段 (事務事業の内容、手法)

予選を経て、全道規模以上の大会に出場する市民 (個人及び大学生以下の団体) の参加負担の軽減を図るとともに、市のスポーツ支援施策として奨励金を交付する。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	補助金額	千円	62	500	1,140	2,000
活動指標 2						

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

スポーツ大会に出場する市民の経費負担を軽減し、スポーツの振興を図る。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	全道大会出場者数	人	14	20	70	141
成果指標 2	全国大会出場者数	人	2	44	94	158

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費 (A)		千円	62	500	1,140	2,000
正職員人件費 (B)		千円	381	1,521	1,521	1,537
総事業費 (A+B)		千円	443	2,021	2,661	3,537

事業内容 (主なもの)		費用内訳 (主なもの)	
4年度	予選を経て、全道大会以上に出場する市民に奨励金を交付する。 全道大会出場：小学生・中学生のみ 3,000円/人 全国大会出場：道外開催 10,000円/人、道内開催 5,000円/人 国際大会出場：10,000円～30,000円/人 (大会内容、開催地によって変動)	奨励金	1,140千円

事業開始背景
各種スポーツ大会に江別市を代表して出場する市民に対して奨励金を支給することで、スポーツの振興を図る。
事業を取り巻く環境変化
新型コロナウイルス感染症の影響により中止となっていたスポーツ大会が再開されつつある。

令和 4年度の実績による担当課の評価（令和 5年度7月時点）				
成果動向及び原因分析	(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？			
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;"> <input checked="" type="checkbox"/> 上がっている <input type="checkbox"/> どちらかといえば上がっている <input type="checkbox"/> 上がっていない </td> <td style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td style="width: 60%; vertical-align: top;"> <p>新型コロナウイルス感染症が収束に近づくに伴い、中止となっていたスポーツ大会が再開したため、増となっている。</p> </td> </tr> </table>	<input checked="" type="checkbox"/> 上がっている <input type="checkbox"/> どちらかといえば上がっている <input type="checkbox"/> 上がっていない	理由 根拠	<p>新型コロナウイルス感染症が収束に近づくに伴い、中止となっていたスポーツ大会が再開したため、増となっている。</p>
	<input checked="" type="checkbox"/> 上がっている <input type="checkbox"/> どちらかといえば上がっている <input type="checkbox"/> 上がっていない	理由 根拠	<p>新型コロナウイルス感染症が収束に近づくに伴い、中止となっていたスポーツ大会が再開したため、増となっている。</p>	
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？				
成果向上余地	(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？			
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;"> <input type="checkbox"/> 成果向上余地 大 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上余地 中 <input type="checkbox"/> 成果向上余地 小 </td> <td style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td style="width: 60%; vertical-align: top;"> <p>全国・全道大会等に出場する選手に対する経済的支援を継続することにより、競技スポーツの活性化と競技人口の拡大につながるとともに、競技レベルの向上が期待できる。</p> </td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/> 成果向上余地 大 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上余地 中 <input type="checkbox"/> 成果向上余地 小	理由 根拠	<p>全国・全道大会等に出場する選手に対する経済的支援を継続することにより、競技スポーツの活性化と競技人口の拡大につながるとともに、競技レベルの向上が期待できる。</p>
	<input type="checkbox"/> 成果向上余地 大 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上余地 中 <input type="checkbox"/> 成果向上余地 小	理由 根拠	<p>全国・全道大会等に出場する選手に対する経済的支援を継続することにより、競技スポーツの活性化と競技人口の拡大につながるとともに、競技レベルの向上が期待できる。</p>	
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？				
コスト	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;"> <input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> なし </td> <td style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td style="width: 60%; vertical-align: top;"> <p>要綱に基づき奨励金を支給しており、毎年出場者数が異なるため、コスト削減は難しい。</p> </td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> なし	理由 根拠	<p>要綱に基づき奨励金を支給しており、毎年出場者数が異なるため、コスト削減は難しい。</p>
	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> なし	理由 根拠	<p>要綱に基づき奨励金を支給しており、毎年出場者数が異なるため、コスト削減は難しい。</p>	

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

スポーツ競技団体登録児童生徒

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	スポーツ競技団体登録児童生徒数	人	856	832	909	909
対象指標 2						

手段(事務事業の内容、手法)

全国大会・全道大会で優秀な成績を収めた児童生徒を表彰する。
 ・スポーツ賞：全国大会で、優秀な成績記録を収めた者(高校生以下)
 ・スポーツ奨励賞：全道大会で1位の成績記録を収めた者(高校生以下)
 ・教育委員会賞：全道大会で2位又は3位の成績記録を収めた者(中学生以下)

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	審査会開催数	回	2	3	3	3
活動指標 2						

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

各種スポーツ競技において優秀な成績を収めた選手を表彰することによって、競技スポーツの活性化を図る。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	受賞者数	人	19	41	46	75
成果指標 2						

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費(A)		千円	835	913	1,283	2,760
正職員人件費(B)		千円	1,907	1,521	1,521	1,537
総事業費(A+B)		千円	2,742	2,434	2,804	4,297

事業内容(主なもの)		費用内訳(主なもの)	
4年度	全国大会・全道大会で優秀な成績を収めた児童生徒を表彰する。	表彰楯・記念バッジ	1,104千円

事業開始背景
スポーツ大会で顕著な活躍をした青少年を表彰し、青少年スポーツの振興奨励とその健全育成に資することを目的として、昭和58年度に事業を開始した。
事業を取り巻く環境変化
新型コロナウイルス感染症の影響により中止となっていたスポーツ大会が再開されつつある。

令和 4年度の実績による担当課の評価（令和 5年度7月時点）			
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？			
成果動向及び原因分析	<p>上がっている</p> <p>どちらかといえば上がっている</p> <p>上がっていない</p>	理由根拠	新型コロナウイルス感染症の影響により中止になっていたスポーツ大会が少しずつ再開され、スポーツ賞等の受賞者数が増になっている。
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？			
成果向上余地	<p>成果向上余地 大</p> <p>成果向上余地 中</p> <p>成果向上余地 小</p>	理由根拠	少子化により、スポーツ競技団体登録児童生徒数が減少傾向にあることから、各種スポーツの競技人口を維持することが難しくなっているが、この表彰を維持・継続し、上を目指すといった向上心の醸成を図ることにより、さらなる向上が期待できる。
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？			
コスト	<p>ある</p> <p>なし</p>	理由根拠	表彰盾などの授与物品等が値上がりしている中で、効率的に当事業を運営しており、削減は難しい。また、文化賞と同時に表彰を行っているため、事業内容を変更する場合には調整を行う必要がある。

事業名：社会人体育団体学校開放事業

【事業番号 621】
スポーツ課 スポーツ係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

スポーツ・レクリエーション活動を行うスポーツクラブ（学校部活・営利団体を除く）

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	クラブ登録数	団体	136	129	131	130
対象指標 2	クラブ登録人数	人	2,858	2,812	2,796	2,800

手段（事務事業の内容、手法）

10名以上で、かつその8割以上が市内に在住又は勤務先を有し、スポーツ・レクリエーション活動を行う団体を対象として、市内25小中学校体育館（通年）とグラウンド（夏季）の開放を行う。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	開放校数	校	25	25	25	25
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

市民のスポーツクラブが定期的にスポーツ・レクリエーション活動を行うことが可能な場を提供することによって、競技スポーツの振興と健康・体づくりとしてのスポーツに親しむ機会が増加する。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	学校開放利用人数	人	92,536	75,503	116,220	130,000
成果指標 2						

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費 (A)		千円	17	18	182	263
正職員人件費 (B)		千円	1,526	1,521	1,521	1,537
総事業費 (A+B)		千円	1,543	1,539	1,703	1,800

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	10名以上で、かつその8割以上が市内に在住又は勤務先を有し、スポーツ・レクリエーション活動を行う団体を対象として、市内25小中学校体育館（通年）とグラウンド（夏季）の開放を行う。	清掃用具・スポーツ用品等消耗品	159千円

事業開始背景
市民の心身の健全な発達と地域のスポーツ振興を図ることを目的として、市内小中学校の屋内体育館等を、学校教育活動に支障のない範囲で、社会人のスポーツ団体及びスポーツ少年団等に活動の場として提供する。
事業を取り巻く環境変化
新型コロナウイルス感染症が収束に向かっていくのに伴い、学校開放利用が増加している。

令和 4年度の実績による担当課の評価（令和 5年度7月時点）				
成果動向及び原因分析	(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？			
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;"> 上がっている どちらかといえば上がっている 上がっていない </td> <td style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">理由根拠</td> <td style="width: 60%; padding-left: 10px;"> 新型コロナウイルス感染症が収束に向かったことで、学校開放利用人数が増加している。 </td> </tr> </table>	上がっている どちらかといえば上がっている 上がっていない	理由根拠	新型コロナウイルス感染症が収束に向かったことで、学校開放利用人数が増加している。
	上がっている どちらかといえば上がっている 上がっていない	理由根拠	新型コロナウイルス感染症が収束に向かったことで、学校開放利用人数が増加している。	
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？				
成果向上余地	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;"> 成果向上余地 大 成果向上余地 中 成果向上余地 小 </td> <td style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">理由根拠</td> <td style="width: 60%; padding-left: 10px;"> 同じ開放校を利用する団体同士の連携が密となり、各学校の特性と利用団体の利用実態に合わせて効率的に開放することができれば、更に利用者数が増加することが期待できる。 </td> </tr> </table>	成果向上余地 大 成果向上余地 中 成果向上余地 小	理由根拠	同じ開放校を利用する団体同士の連携が密となり、各学校の特性と利用団体の利用実態に合わせて効率的に開放することができれば、更に利用者数が増加することが期待できる。
成果向上余地 大 成果向上余地 中 成果向上余地 小	理由根拠	同じ開放校を利用する団体同士の連携が密となり、各学校の特性と利用団体の利用実態に合わせて効率的に開放することができれば、更に利用者数が増加することが期待できる。		
コスト	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;"> ある なし </td> <td style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">理由根拠</td> <td style="width: 60%; padding-left: 10px;"> 暖房費の実費負担により、コスト削減を図っている。 </td> </tr> </table>	ある なし	理由根拠	暖房費の実費負担により、コスト削減を図っている。
ある なし	理由根拠	暖房費の実費負担により、コスト削減を図っている。		

事業名：地域スポーツ活動活性化促進事業

【事業番号 628】

スポーツ課 スポーツ係

政策	07 生涯学習・文化	戦略						
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実	具体的施策						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

学校、自治会等

指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1 学校、自治会等の数	団体	188	188	188	190
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、手法）

地域や学校、団体などにメニューを提示し、選ばれた軽スポーツメニューの指導要求に応じ、スポーツ推進委員が指導に出かける。活動場所の確保は依頼団体が行う。メニューは子どもから高齢者まで楽しめるものを多数用意している。

指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1 スポーツ推進委員数	人	25	23	22	30
活動指標 2					

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

軽スポーツ、レクリエーションに親しむ人を増やす。

指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1 出前指導派遣者数	人	6	3	5	24
成果指標 2					

事業費の推移	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費 (A)	千円	87	128	33	226
正職員人件費 (B)	千円	381	380	380	384
総事業費 (A+B)	千円	468	508	413	610

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
4年度	地域や学校、団体からの申込に応じ、スポーツ推進委員を派遣して、軽スポーツを指導・普及する。	スポーツ推進委員報酬 29千円

事業開始背景
いつでも、どこでも、だれでも気軽に楽しめる軽スポーツの普及を通じて、家庭・学校・地域におけるスポーツに親しむ機会の創出に寄与する。
事業を取り巻く環境変化
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、レクリエーション等のイベントが減少している。

令和 4年度の実績による担当課の評価（令和 5年度7月時点）						
成果動向及び原因分析	(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？					
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">上がっている</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠 ➔</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;">学校レクリエーションや自治会のイベントで普及のための指導を行うことが多いが、新型コロナウイルス感染症がある中、一定の利用があり、軽スポーツの普及に寄与している。</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">どちらかといえば上がっている</td> </tr> <tr> <td>上がっていない</td> </tr> </table>	上がっている	理由 根拠 ➔	学校レクリエーションや自治会のイベントで普及のための指導を行うことが多いが、新型コロナウイルス感染症がある中、一定の利用があり、軽スポーツの普及に寄与している。	どちらかといえば上がっている	上がっていない
	上がっている	理由 根拠 ➔			学校レクリエーションや自治会のイベントで普及のための指導を行うことが多いが、新型コロナウイルス感染症がある中、一定の利用があり、軽スポーツの普及に寄与している。	
どちらかといえば上がっている						
上がっていない						
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？						
成果向上余地	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">成果向上余地 大</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠 ➔</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;">当事業以外でも、スポーツ振興財団では軽スポーツの用具貸出を行っており、スポーツ推進委員の指導でルール等を普及し、市民が自主的に活動できるようになれば、軽スポーツ等に親しむ人が増えることにつながる。</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">成果向上余地 中</td> </tr> <tr> <td>成果向上余地 小</td> </tr> </table>	成果向上余地 大	理由 根拠 ➔	当事業以外でも、スポーツ振興財団では軽スポーツの用具貸出を行っており、スポーツ推進委員の指導でルール等を普及し、市民が自主的に活動できるようになれば、軽スポーツ等に親しむ人が増えることにつながる。	成果向上余地 中	成果向上余地 小
	成果向上余地 大	理由 根拠 ➔			当事業以外でも、スポーツ振興財団では軽スポーツの用具貸出を行っており、スポーツ推進委員の指導でルール等を普及し、市民が自主的に活動できるようになれば、軽スポーツ等に親しむ人が増えることにつながる。	
	成果向上余地 中					
成果向上余地 小						
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？						
コスト	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">ある</td> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠 ➔</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">事業の効率的な運営に努め、スリム化を図っており、削減は難しい。</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">なし</td> </tr> </table>	ある	理由 根拠 ➔	事業の効率的な運営に努め、スリム化を図っており、削減は難しい。	なし	
	ある	理由 根拠 ➔			事業の効率的な運営に努め、スリム化を図っており、削減は難しい。	
なし						

事業名：3市交流スポーツ大会開催事業

【事業番号 1019】

スポーツ課 スポーツ係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実			具体的施策					
開始年度	平成24年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	市民	人	119,883	119,777	119,333	119,333
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

江別市、札幌市厚別区、北広島市の市民を対象に実施する交流事業の一つで、スポーツ部門ではパークゴルフ大会を3市持ち回りで開催する。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	大会数	大会	0	0	0	1
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

近隣市の地域住民がスポーツ大会を通じて交流し、親睦を深めるとともに、参加者の健康増進と技術の向上を図る。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	市民の参加者数	人	0	0	0	70
成果指標 2						

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費 (A)		千円	0	0	0	120
正職員人件費 (B)		千円	381	0	0	384
総事業費 (A+B)		千円	381	0	0	504

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
4年度	パークゴルフ大会を3市で持ち回りで開催。	なし

事業開始背景
江別市、札幌市厚別区、北広島市の市民を対象にパークゴルフ大会と家庭婦人スポーツ大会（バドミントン、卓球、バレーボール）を3市持ち回りで開催し、近隣市の地域住民がスポーツ大会を通じて交流し、親睦を深めるとともに、参加者の健康増進と技術の向上を図る。交流事業は、平成6年より開始されており、これまでは厚別区が主体となり運営や経費負担を行っていたが、平成24年度からはこれを3市の持ち回り負担とした。参加者や運営者の高齢化により、平成28年度を最後に家庭婦人スポーツ交流大会は中止となった。
事業を取り巻く環境変化
新型コロナウイルス感染症の影響により、令和4年度のパークゴルフ大会は、中止となった。

令和4年度の実績による担当課の評価（令和5年度7月時点）						
成果動向及び原因分析	(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？					
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;">上がっている</td> <td rowspan="3" style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="width: 60%; padding: 5px;">新型コロナウイルス感染症拡大を受けて、パークゴルフ大会が中止となったことから、成果指標はあがっていない。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">どちらかといえば上がっている</td> </tr> <tr> <td style="background-color: black; color: white; text-align: center;">上がっていない</td> </tr> </table>	上がっている	理由 根拠	新型コロナウイルス感染症拡大を受けて、パークゴルフ大会が中止となったことから、成果指標はあがっていない。	どちらかといえば上がっている	上がっていない
	上がっている	理由 根拠			新型コロナウイルス感染症拡大を受けて、パークゴルフ大会が中止となったことから、成果指標はあがっていない。	
どちらかといえば上がっている						
上がっていない						
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？						
成果向上余地	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;">成果向上余地 大</td> <td rowspan="3" style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="width: 60%; padding: 5px;">大会の実施により、3市の競技者の交流が発展し、新たなスポーツ機会、組織の設立などが期待できる。</td> </tr> <tr> <td style="background-color: black; color: white; text-align: center;">成果向上余地 中</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">成果向上余地 小</td> </tr> </table>	成果向上余地 大	理由 根拠	大会の実施により、3市の競技者の交流が発展し、新たなスポーツ機会、組織の設立などが期待できる。	成果向上余地 中	成果向上余地 小
	成果向上余地 大	理由 根拠			大会の実施により、3市の競技者の交流が発展し、新たなスポーツ機会、組織の設立などが期待できる。	
	成果向上余地 中					
成果向上余地 小						
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？						
コスト	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;">ある</td> <td rowspan="2" style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="2" style="width: 60%; padding: 5px;">大会用品など必要最小限の経費で実施している。</td> </tr> <tr> <td style="background-color: black; color: white; text-align: center;">なし</td> </tr> </table>	ある	理由 根拠	大会用品など必要最小限の経費で実施している。	なし	
	ある	理由 根拠			大会用品など必要最小限の経費で実施している。	
なし						

事業名：スポーツ大会等振興補助事業

【事業番号 5240】
 スポーツ課 スポーツ係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

一般財団法人江別市スポーツ振興財団

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	対象団体数	団体	1	1	1	1
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

・江別市スポーツ振興財団が行う原始林クロスカントリー大会などのスポーツ大会、健康体づくり指導相談事業、スポーツ指導者養成事業に対して補助を行う。
 ・「江別市スポーツ振興財団運営費等補助金交付要領」に基づき、一般財団法人江別市スポーツ振興財団に対し定額を補助する。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	補助金額	千円	42,734	39,463	40,842	40,989
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

健康づくりに興味・関心を持ち、大会参加を視野に入れたスポーツ活動を日常的に継続できる習慣を身につけ、生涯スポーツの基盤を構築する。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	参加者数	人	3,652	2,492	5,643	7,000
成果指標 2						

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費 (A)		千円	42,734	39,463	40,842	40,989
正職員人件費 (B)		千円	763	761	760	768
総事業費 (A+B)		千円	43,497	40,224	41,602	41,757

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	一般財団法人江別市スポーツ振興財団に対し、補助金を支出。	補助金	40,842千円

事業開始背景
一般財団法人江別市スポーツ振興財団は、平成4年の設立以来、市民各層にわたるスポーツの普及・振興を図り、市民の健康・体力づくり活動を助長するとともに、市全体のスポーツ活動の活性化を目指している。同財団の目的に適合するスポーツ大会等のスポーツ振興事業が円滑に進められ、より一層の市民に対するスポーツ振興が図られるよう、補助金を交付する。
事業を取り巻く環境変化
新型コロナウイルス感染症により中止となっていた大会が再開され、参加人数も回復を見せている。

令和4年度の実績による担当課の評価（令和5年度7月時点）		
成果動向及び原因分析	(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？	
	上がっている	理由根拠
	どちらかといえば上がっている	
上がっていない		
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	成果向上余地 大	理由根拠
	成果向上余地 中	
	成果向上余地 小	
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありますか？		
コスト	ある	理由根拠
	なし	

事業名：屋内体育施設管理運営事業

【事業番号 6157】
スポーツ課 スポーツ係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実			具体的施策					
開始年度	平成26年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民体育館、大麻体育館、青年センター、東野幌体育館

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	施設数	施設	4	4	4	4
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

指定管理者制度を活用し、施設利用者へのサービス向上及び施設管理運営の効率化を図る。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	指定管理料	千円	195,592	194,176	215,119	213,149
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

施設の維持管理・運営を適切に行い、スポーツに親しむ場を提供する。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	利用者数（4館合計）	人	239,586	284,589	362,802	500,000
成果指標 2						

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費 (A)		千円	195,592	194,176	215,119	213,149
正職員人件費 (B)		千円	2,289	2,282	2,281	2,305
総事業費 (A+B)		千円	197,881	196,458	217,400	215,454

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	施設の管理運営を指定管理者へ委託する。	指定管理料	215,119千円

事業開始背景
平成18年度から指定管理者制度を導入した。
事業を取り巻く環境変化
令和4年度指定管理更新時に、指定期間を4年間から8年間に変更した。

令和4年度の実績による担当課の評価（令和5年度7月時点）						
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？						
成果動向及び原因分析	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">上がっている</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;">新型コロナウイルス感染症の影響は未だあるものの、令和4年度は閉館が無く、利用者数も回復の傾向を見せている。</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">どちらかといえば上がっている</td> </tr> <tr> <td>上がっていない</td> </tr> </table>	上がっている	理由 根拠	新型コロナウイルス感染症の影響は未だあるものの、令和4年度は閉館が無く、利用者数も回復の傾向を見せている。	どちらかといえば上がっている	上がっていない
上がっている	理由 根拠	新型コロナウイルス感染症の影響は未だあるものの、令和4年度は閉館が無く、利用者数も回復の傾向を見せている。				
どちらかといえば上がっている						
上がっていない						
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？						
成果向上余地	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">成果向上余地 大</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;">教室事業や自主事業を通じて、市民がスポーツに親しむことを習慣化できれば、スポーツに親しむ市民の増加が期待できる。</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">成果向上余地 中</td> </tr> <tr> <td>成果向上余地 小</td> </tr> </table>	成果向上余地 大	理由 根拠	教室事業や自主事業を通じて、市民がスポーツに親しむことを習慣化できれば、スポーツに親しむ市民の増加が期待できる。	成果向上余地 中	成果向上余地 小
成果向上余地 大	理由 根拠	教室事業や自主事業を通じて、市民がスポーツに親しむことを習慣化できれば、スポーツに親しむ市民の増加が期待できる。				
成果向上余地 中						
成果向上余地 小						
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？						
コスト	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">ある</td> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">平成18年度から指定管理者制度を導入している。</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">なし</td> </tr> </table>	ある	理由 根拠	平成18年度から指定管理者制度を導入している。	なし	
ある	理由 根拠	平成18年度から指定管理者制度を導入している。				
なし						

事業名：スポーツ合宿誘致推進事業

【事業番号 6185】
スポーツ課 スポーツ係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実			具体的施策					
開始年度	平成27年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	市民	人	119,883	119,777	119,333	119,333
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

「江別市スポーツ合宿誘致推進事業実施要綱」に基づき、合宿団体への支援等として、輸送バスの提供、道立野幌総合運動公園等の施設使用料の補助、市内宿泊料の補助のほか、江別の魅力を伝える特産品の提供を行い、道外からの合宿誘致を進める。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	合宿情報発信回数	回	0	1	1	4
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

スポーツ合宿の誘致、支援活動を通じ、市民の健康づくり、スポーツへの関心度を高めるとともに、アスリートなどとの交流により、スポーツ技術の向上と市民スポーツ活動の活性化を図る。
また、江別市の紹介や人的交流を通じたシティプロモートも進めていく。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	合宿を行った団体数（道外）	団体	1	3	6	3
成果指標 2	市民との交流事業数	回	1	3	6	6

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費 (A)		千円	260	725	1,456	860
正職員人件費 (B)		千円	6,103	6,086	5,323	5,378
総事業費 (A+B)		千円	6,363	6,811	6,779	6,238

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	<ul style="list-style-type: none"> 道外スポーツ団体への送迎バス等による輸送に関する支援 道立野幌総合運動公園等の市内施設利用料の補助 市内宿泊団体への宿泊施設利用料の補助 シティプロモートのための江別の特産品提供 	<ul style="list-style-type: none"> 送迎バス等賃借料 933千円 市内宿泊施設利用料補助 361千円 特産品提供経費 162千円 	

事業開始背景
東京オリンピック・パラリンピックの開催決定を契機にシティプロモートの一環としてスポーツ合宿誘致を進め、合宿を通じて江別市のスポーツ推進を図る。
事業を取り巻く環境変化
新型コロナウイルス感染症の影響も薄れ、上昇傾向にある。

令和 4年度の実績による担当課の評価（令和 5年度7月時点）				
成果動向及び原因分析	(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？			
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;"> <p>上がっている</p> <hr style="border: 2px solid black;"/> <p>どちらかといえば上がっている</p> <p>上がっていない</p> </td> <td style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td style="width: 60%; padding-left: 20px;"> <p>新型コロナウイルス感染症の影響も薄れ、上昇傾向にある。</p> </td> </tr> </table>	<p>上がっている</p> <hr style="border: 2px solid black;"/> <p>どちらかといえば上がっている</p> <p>上がっていない</p>	理由 根拠	<p>新型コロナウイルス感染症の影響も薄れ、上昇傾向にある。</p>
	<p>上がっている</p> <hr style="border: 2px solid black;"/> <p>どちらかといえば上がっている</p> <p>上がっていない</p>	理由 根拠	<p>新型コロナウイルス感染症の影響も薄れ、上昇傾向にある。</p>	
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？				
成果向上余地	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;"> <p>成果向上余地 大</p> <hr style="border: 2px solid black;"/> <p>成果向上余地 中</p> <p>成果向上余地 小</p> </td> <td style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td style="width: 60%; padding-left: 20px;"> <p>継続して誘致PRを行うことで、合宿団体の増加に繋がると考えられる。</p> </td> </tr> </table>	<p>成果向上余地 大</p> <hr style="border: 2px solid black;"/> <p>成果向上余地 中</p> <p>成果向上余地 小</p>	理由 根拠	<p>継続して誘致PRを行うことで、合宿団体の増加に繋がると考えられる。</p>
	<p>成果向上余地 大</p> <hr style="border: 2px solid black;"/> <p>成果向上余地 中</p> <p>成果向上余地 小</p>	理由 根拠	<p>継続して誘致PRを行うことで、合宿団体の増加に繋がると考えられる。</p>	
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありますか？				
コスト	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;"> <p>ある</p> <hr style="border: 2px solid black;"/> <p>なし</p> </td> <td style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td style="width: 60%; padding-left: 20px;"> <p>補助対象項目の見直しや補助上限額の見直しを行っており、現状ではこれ以上の削減は難しい。</p> </td> </tr> </table>	<p>ある</p> <hr style="border: 2px solid black;"/> <p>なし</p>	理由 根拠	<p>補助対象項目の見直しや補助上限額の見直しを行っており、現状ではこれ以上の削減は難しい。</p>
	<p>ある</p> <hr style="border: 2px solid black;"/> <p>なし</p>	理由 根拠	<p>補助対象項目の見直しや補助上限額の見直しを行っており、現状ではこれ以上の削減は難しい。</p>	

事業名：総合型地域スポーツクラブ支援事業 スポーツ課 スポーツ係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実			具体的施策					
開始年度	平成29年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	市民	人	119,883	119,777	119,333	119,333
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

総合型地域スポーツクラブのPRを支援し、市民に情報提供を行う。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	PR支援回数	回	3	3	3	3
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

総合型地域スポーツクラブの活動が活性化することにより、市民のスポーツの機会が充実する。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	クラブ数	団体	3	3	3	3
成果指標 2	クラブ会員数	人	712	450	363	500

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費 (A)		千円	0	0	0	0
正職員人件費 (B)		千円	381	380	380	384
総事業費 (A+B)		千円	381	380	380	384

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	市内の総合型地域スポーツクラブを広報等で紹介し、市民に情報提供を行う。	人件費事業のため予算措置なし	

事業開始背景
市内で活動する他のスポーツクラブを支援することを目的として、事業を開始した。
事業を取り巻く環境変化
新型コロナウイルス感染症の影響により、会員数が減少傾向となっている。

令和 4年度の実績による担当課の評価（令和 5年度7月時点）							
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？							
成果動向及び原因分析	<table border="1"> <tr> <td style="width: 30%;">上がっている</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="font-size: 2em;">➔</td> <td rowspan="3">現在市内で活動している総合型地域スポーツクラブは、自主財源により運営しており、一定の会員数を確保してきたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、会員数は減少した。</td> </tr> <tr> <td>どちらかといえば上がっている</td> </tr> <tr> <td style="background-color: black; color: white;">上がっていない</td> </tr> </table>	上がっている	理由 根拠	➔	現在市内で活動している総合型地域スポーツクラブは、自主財源により運営しており、一定の会員数を確保してきたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、会員数は減少した。	どちらかといえば上がっている	上がっていない
上がっている	理由 根拠	➔				現在市内で活動している総合型地域スポーツクラブは、自主財源により運営しており、一定の会員数を確保してきたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、会員数は減少した。	
どちらかといえば上がっている							
上がっていない							
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？							
成果向上余地	<table border="1"> <tr> <td style="width: 30%;">成果向上余地 大</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="font-size: 2em;">➔</td> <td rowspan="3">地域住民によって自主的に運営される総合型地域スポーツクラブの創設、また既存の総合型地域スポーツクラブの活動拡充などにより、市民のスポーツ機会の充実につながる。</td> </tr> <tr> <td style="background-color: black; color: white;">成果向上余地 中</td> </tr> <tr> <td>成果向上余地 小</td> </tr> </table>	成果向上余地 大	理由 根拠	➔	地域住民によって自主的に運営される総合型地域スポーツクラブの創設、また既存の総合型地域スポーツクラブの活動拡充などにより、市民のスポーツ機会の充実につながる。	成果向上余地 中	成果向上余地 小
成果向上余地 大	理由 根拠	➔				地域住民によって自主的に運営される総合型地域スポーツクラブの創設、また既存の総合型地域スポーツクラブの活動拡充などにより、市民のスポーツ機会の充実につながる。	
成果向上余地 中							
成果向上余地 小							
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？							
コスト	<table border="1"> <tr> <td style="width: 30%;">ある</td> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="2" style="font-size: 2em;">➔</td> <td rowspan="2">人件費事業であるため。</td> </tr> <tr> <td style="background-color: black; color: white;">なし</td> </tr> </table>	ある	理由 根拠	➔	人件費事業であるため。	なし	
ある	理由 根拠	➔				人件費事業であるため。	
なし							

事業名：特別支援学校フットサル大会開催支援事業 スポーツ課 スポーツ係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実			具体的施策					
開始年度	令和 4年度	終了年度	—	区分1	新規	区分2	単独	補助金	行事イベント補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	市民	人	0	0	119,333	119,333
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

最寄駅等から会場まで送迎バスによる輸送を行うなど、障がい者のスポーツ大会の開催を支援する。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	大会参加学校数	校	0	0	15	30
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

障がい者のスポーツ競技の大会開催を支えていくことで、障がい者（児）への理解を深め、多様な主体がスポーツに取り組める環境づくりを図る。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	来場者数	人	0	0	710	860
成果指標 2						

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費 (A)		千円	0	0	617	380
正職員人件費 (B)		千円	0	0	380	384
総事業費 (A+B)		千円	0	0	997	764

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	最寄駅等から会場までの送迎支援 優勝旗等の贈呈	最寄駅等から会場までのバス運行に係る経費 110千円 優勝旗等贈呈経費 507千円	

事業開始背景

障がい者に対する理解を深め、市民が多様なスポーツに取り組む意識の醸成を促進し、多様な主体が交流できる「共生のまち」の実現へつなげていくため、障がい者スポーツ大会を支援していく。

事業を取り巻く環境変化

江別市に移転開催が令和2年度からスタートする予定だったがコロナのため令和2年、3年は中止。令和4年度からの開催となった。

令和4年度の実績による担当課の評価（令和5年度7月時点）

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	<p>上がっている</p> <p>どちらかといえば上がっている</p> <p>上がっていない</p>	<p>理由根拠</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により中止となっていたが、令和4年度に再開し、江別市での初開催となった。</p>
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	<p>成果向上余地 大</p> <p>成果向上余地 中</p> <p>成果向上余地 小</p>	<p>理由根拠</p> <p>新型コロナウイルス感染症による影響が少なくなり、参加校が増える可能性がある。</p>
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？		
コスト	<p>ある</p> <p>なし</p>	<p>理由根拠</p> <p>優勝旗作成コストは初年度のみ経費であり、2年目以降は経費が減少する。</p>

事業名：あけぼのパークゴルフ場改修整備事業 スポーツ課 スポーツ係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実			具体的施策					
開始年度	令和 3年度	終了年度	令和 4年度	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	市民	人	0	119,777	119,333	0
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

令和3年度 現況測量・実施設計
令和4年度 増設工事

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	事業費	千円	0	5,610	82,432	0
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

あけぼのパークゴルフ場のコースを増設（1コース9ホール）し、市民スポーツの環境向上と健康増進を図る。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	増設されたホール数	ホール	0	0	9	0
成果指標 2						

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費 (A)		千円	0	0	82,431	0
正職員人件費 (B)		千円	0	0	3,042	0
総事業費 (A+B)		千円	0	0	85,473	0

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	9ホール増設工事の実施	工事費	81,969千円

事業開始背景
3コース27ホールで運営していたが、多くの市民から一般的な4コース36ホールに増設をかねてから要望されていたこと。また、市内民間パークゴルフ場閉鎖により、競技者の活動場所が減少していた状況を解消するため、増設が決定された。
事業を取り巻く環境変化
令和3年度 現況測量、工事実施設計 令和4年度 工事実施

令和4年度の実績による担当課の評価（令和5年度7月時点）		
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	上がっている	理由根拠
	どちらかといえば上がっている	
	上がっていない	
9ホール増設工事が無事完成した。		
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	成果向上余地 大	理由根拠
	成果向上余地 中	
	成果向上余地 小	
工事完成による。		
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？		
コスト	ある	理由根拠
	なし	
令和4年度で事業終了となった。		

事業名： 高校総体北海道大会開催事業

【事業番号 6978】
スポーツ課参事(高校総体推進)

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実			具体的施策					
開始年度	令和 4年度	終了年度	—	区分1	新規	区分2	単独	補助金	団体運営補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

市民

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	市民	人	0	0	119,333	119,333
対象指標 2						

手段(事務事業の内容、手法)

令和5年度全国高校総体北海道大会が江別市のスポーツ振興につながるよう、市内開催競技の実施に向けた体制整備を進める。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	大会実施競技数	種目	0	0	0	2
活動指標 2	実行委員会開催数	回	0	0	2	2

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

令和5年度全国高校総体北海道大会を通じ、市民のスポーツへの関心を高め、市民スポーツの振興を図る。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	来場者数	人	0	0	0	20,000
成果指標 2						

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費(A)		千円	0	0	2,081	34,238
正職員人件費(B)		千円	0	0	16,729	16,903
総事業費(A+B)		千円	0	0	18,810	51,141

事業内容(主なもの)		費用内訳(主なもの)	
4年度	令和5年度全国高校総体北海道大会の開催に係る開催市実行委員会への負担金の支出 ・江別市実行委員会設立 ・令和4年度全国高校総体四国大会視察 ・事務局として大会運営に係る調整業務	主な負担金の内容 ・令和4年度全国高校総体四国大会視察旅費 1,396千円 ・競技種目別ポスター表彰報償費 29千円 ・実行委員会事務局運営等費用 284千円	

事業開始背景

全国高校総体は、全国を9ブロックに分けブロックごとの輪番による開催であり、令和5年度は、北海道ブロックでの開催となる。当市では、北海道との調整によりホッケー、競泳、飛込の3種目の開催が決定した。

事業を取り巻く環境変化

江別市で開催が決まっていた飛込について、令和4年10月、会場施設を所管する北海道が設備の不具合を理由に北海道での開催を中止したことに伴い、江別市開催競技は、ホッケーと競泳の2種目になった。

令和4年度の実績による担当課の評価（令和5年度7月時点）

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？

成果動向及び原因分析	上がっている	理由 根拠	▶	令和5年度開催の大会である。
	どちらかといえば上がっている			
	上がっていない			

(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地	成果向上余地 大	理由 根拠	▶	令和5年度開催の大会であるため。
	成果向上余地 中			
	成果向上余地 小			

(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？

コスト	ある	理由 根拠	▶	必要最小限の経費により事業を推進している。
	なし			

事業名：小中学生国内交流研修事業

【事業番号 539】
生涯学習課 青少年係

政策	08 協働			戦略					
取組の基本方針	01 協働のまちづくりの推進			具体的施策					
開始年度	平成 5年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

国内交流研修訪問団（小中学生、引率者）

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	研修訪問団構成員数	人	0	0	0	16
対象指標 2	土佐市からの研修訪問人数	人	0	0	0	16

手段（事務事業の内容、手法）

- ・友好都市土佐市との相互交流
派遣：＜事前研修＞8月下旬～10月上旬／土佐市・江別市の概要学習、交流会プログラム企画等
＜実地交流研修＞10月中旬／ホームステイ、体験入学、体験学習、施設見学
受入：＜土佐市訪問団受入＞1月中旬／ホームステイ、体験入学、体験学習、施設見学
- ・事業集録作成
- ・交流研修訪問団に対し、「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき補助金を支出する。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	補助金額	千円	0	0	0	1,095
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

土佐市との教育交流の中から児童生徒の友好都市への認識を深めるとともに、様々な生活文化や風土にふれ、豊かな感性が養われるようになる。また、異なる文化等に触れることで、自分の住む地域を見つめ直し、江別市への理解を深めて郷土愛を育む。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	交流イベント参加者数	人	0	0	0	3,660
成果指標 2	訪問した学校の生徒数	人	0	0	0	1,013

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費 (A)		千円	0	0	0	1,515
正職員人件費 (B)		千円	2,289	2,282	1,901	2,305
総事業費 (A+B)		千円	2,289	2,282	1,901	3,820

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	＜派遣＞事前研修、実地交流研修の実施 ＜受入＞体験入学、施設見学 ＜事業集録作成＞ ※中止のためいずれも実施なし	・引率教諭、同行職員旅費 ・研修訪問団への補助金	0千円 0千円

事業開始背景
友好都市高知県土佐市との相互交流により、子どもたちが他市における歴史・文化・産業等を学ぶとともに、自分の住むまちを見つめ直すことで、郷土を愛する心を育むことを目的として、平成5年度に開始された。
事業を取り巻く環境変化
令和元年度が第27回目の実施となり、これまでに464名が土佐市を訪問し、527名の受入を行っている。平成29年度からは、さらなる交流促進のため、派遣する小学生を2名、引率教諭を1名増員し、土佐市訪問団の人数と同数とした。令和2年度から令和4年度まで、新型コロナウイルス感染症の影響により、相互交流を中止している。

令和 4年度の実績による担当課の評価（令和 5年度7月時点）		
成果動向及び原因分析	(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？	
	上がっている	理由根拠
	どちらかといえば上がっている	
上がっていない		
<p>令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、事業を中止していることから成果は上がっていない。</p>		
成果向上余地	(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？	
	成果向上余地 大	理由根拠
	成果向上余地 中	
成果向上余地 小		
<p>両市間において、派遣と受入を交互に行う事業の性質から、参加人数は限られており、参加者数の定員を増やすことは難しい。また、江別市が土佐市に参加者を派遣した際の体験プログラムは土佐市が企画立案していることから、プログラムの見直しによる成果向上余地は小さい。一方、コロナ禍で相互派遣ができない中であっても、両市の歴史・文化・産業等の違いを学ぶことができる代替の取組を行うことで、成果を向上させる余地がある。</p>		
コスト	(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？	
	ある	理由根拠
	なし	
なし		
<p>滞在中の安全確保と生活指導面を考慮すると、これ以上の体制の見直しは困難である。また、航空運賃等は、年度により変動が生じるため、実勢価格による補助金交付が好ましい。</p>		

事業名：国際交流情報提供事業

生涯学習課 生涯学習係

政策	08 協働			戦略					
取組の基本方針	02 国際交流の推進			具体的施策					
開始年度	平成10年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・市民
・市内通勤、通学者

指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1 市民	人	119,883	119,777	119,333	119,333
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、手法）

日本語に堪能で地域の国際化事業に理解と意欲のある外国人を市国際交流員（CIR）として継続的に雇用し以下の事業を実施する。
 1. 文書、刊行物等の翻訳、監修
 2. 国際交流事業の企画、立案、実施協力
 3. 地域住民・市職員に対する語学指導への協力
 4. 地域住民の異文化理解交流活動への協力
 5. 海外との連絡・調整、通訳、訪問客の接遇
 6. 在住外国人へのサポート

指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1 国際交流員が係った地域国際化のための講座・イベント等開催回数	回	75	122	177	190
活動指標 2 海外と江別市とで交わした行政文書等の数	通	272	141	200	700

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

1. 地域住民等が国際感覚や国際意識を持つ
 2. 地域住民等の異文化に対する理解が深まる
 3. 在住外国人にも住みやすいまちになる

指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1 国際交流員が係った地域国際化のための講座・イベント等の参加者数	人	67	238	846	1,400
成果指標 2					

事業費の推移	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費 (A)	千円	5,566	5,439	3,730	4,015
正職員人件費 (B)	千円	1,144	1,141	1,141	1,152
総事業費 (A+B)	千円	6,710	6,580	4,871	5,167

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
4年度	<ul style="list-style-type: none"> 各種講演（出前講座、語学教室等） 刊行物等の翻訳 市ホームページの作成、更新 姉妹都市グresham市との連絡調整、文書作成等 在住外国人への情報提供 ほか 	<ul style="list-style-type: none"> 国際交流員報酬 3,720千円 国際交流員費用弁償 10千円

事業開始背景

地域住民の国際理解や在住外国人にとって住みやすいまちづくりを推進するため、日本語が堪能で地域の国際化事業に理解と意欲のある外国人を市国際交流員として雇用することとした。

事業を取り巻く環境変化

社会のグローバル化が進むにつれ、将来を担う子どもをはじめとする市民が、国際感覚や国際意識を持って国際理解を深めることやコミュニケーションスキルを向上させる必要性が高まっており、そのための情報発信や諸外国からの情報収集はますます重要となっている。
令和元年度以降は、新型コロナウイルスの影響により、海外への渡航等も安全を確保できない状況となり、外国人の入出国も困難な時期が発生するなど、直接的なコミュニケーションの機会を設けることが難しい状況となっていることから、オンラインを積極的に活用するなど停滞することのないよう取り組んでいる。

令和 4年度の実績による担当課の評価（令和 5年度7月時点）

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	上がっている	理由根拠
	どちらかといえば上がっている	
	上がっていない	
<p>新型コロナウイルスの影響により、令和2年度から3年度にかけて、国際交流員による江別国際センターでの英会話教室、子育て支援施設「ほこあほこ」での幼児向け英語教室が一部休講となったほか、国際交流イベントが縮小開催または中止を余儀なくされるなど、参加者数の減少が続いていたが、その間も在住外国人をはじめとする地域住民に対する情報提供を充実させるなど環境整備を進めていた。 令和4年度は、情報発信をより一層強化したことや行動制限の緩和等により講座等の開催回数が増加したことにより、参加者数が回復し、成果の向上に繋がった。</p>		
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	成果向上余地 大	理由根拠
	成果向上余地 中	
	成果向上余地 小	
<p>国際交流員の活動は、地域住民にも広く受け入れられており、市民の国際感覚や国際意識を高め、異文化に対する理解を促進するなど一定の成果を上げている。 国際交流員は、特に市ホームページや講座、イベント等での情報発信を強化するとともに、在住外国人を含めた地域住民とのコミュニケーションを積極的に図り、交流の機会を増やしていることから、在住外国人にとっても住みやすいまちづくりの推進に繋がっている。 市内の在住外国人は年々増加傾向にあり、今後こうした国際交流員の活動に対するニーズが高まると想定されることから、さらなる成果の向上が期待できる。</p>		
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？		
コスト	ある	理由根拠
	なし	
<p>国際交流員の報酬については、業務内容に即したもので、かつ一定レベルの生活保障が必要不可欠であるため、これ以上のコスト削減は困難である。 なお、そのほかの経費について実費弁償とするなど、必要最小限の支出にすることで、可能な限りコスト削減を図っている。</p>		

事業名：中学生国際交流事業

【事業番号 537】

生涯学習課 生涯学習係

政策	08 協働			戦略					
取組の基本方針	02 国際交流の推進			具体的施策					
開始年度	平成 7年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

海外交流研修訪問団（中学生、引率者）

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	研修訪問団構成員数	人	0	0	0	8
対象指標 2	グレシャムからの訪問人数	人	0	0	0	7

手段（事務事業の内容、手法）

○姉妹都市グレシャム市との相互交流を行う。
 ・派遣：＜事前研修＞8月下旬～11月下旬／グレシャム市・江別市の概要学習、語学研修、交流会プログラム企画等
 ＜実地研修＞12月上旬／ホームステイ、体験入学、施設見学、体験学習
 ・受入：＜グレシャム市訪問団受入＞2月上旬／ホームステイ、体験入学、施設見学、体験学習
 ・事業報告書作成
 ○研修訪問団に対し、「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき補助金を交付する。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	補助金額	千円	0	0	0	1,773
活動指標 2	アメリカ文化習得のための学習会開催回数	回	0	0	0	9

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

グレシャム市との相互交流を通じ、自国と相手国の文化や歴史に対する理解を深め、国際社会に通用する豊かな国際感覚が養われるようになる。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	交流イベント参加者数	人	0	0	0	1,016
成果指標 2						

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費 (A)		千円	0	0	0	2,930
正職員人件費 (B)		千円	2,289	2,282	1,901	1,921
総事業費 (A+B)		千円	2,289	2,282	1,901	4,851

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	＜派遣＞事前研修、実地研修の実施 ＜受入＞体験入学、施設見学 ＜事業収録作成＞	・引率教諭旅費 0円 ・国際交流員旅費 0円 ・研修訪問団への補助金 0円	

事業開始背景
姉妹都市米国オレゴン州グレシャム市とは、札幌市がポートランド市と姉妹都市提携を締結していたことをきっかけに、ポートランド市とグレシャム市の関係が札幌市と江別市との関係に類似していること、また地理的条件が類似していることから、グレシャム市から江別市に働きかけがあり、昭和52年5月20日に姉妹都市提携を提携し、様々な形で交流を続ける中で、平成7年度から中学生の相互交流事業を開始した。
事業を取り巻く環境変化
中学生の相互交流事業は、平成13年度、15年度、16年度に財政上の理由等により一時中断したが、平成17年度に再開し、その後令和元年度までに延べ183名を派遣、189名を受入れた。 令和2年度以降は、新型コロナウイルスの影響により事業を中止している。

令和 4年度の実績による担当課の評価（令和 5年度7月時点）		
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	上がっている	理由根拠
	どちらかといえば上がっている	
	上がっていない	
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	成果向上余地 大	理由根拠
	成果向上余地 中	
	成果向上余地 小	
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？		
コスト	ある	理由根拠
	なし	

事業名：江別市都市提携委員会補助金

【事業番号 540】
生涯学習課 生涯学習係

政策	08 協働			戦略					
取組の基本方針	02 国際交流の推進			具体的施策					
開始年度	昭和52年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	団体運営補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別市都市提携委員会

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	江別市都市提携委員会委員数	人	44	44	44	44
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

姉妹・友好都市交流を行う江別市都市提携委員会に対し、その事業費を補助する。
補助金内訳：高校生相互交流にかかる経費 ほか
(江別市都市提携委員会補助金交付要綱)

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	補助金額	千円	100	100	100	1,030
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

江別市都市提携委員会に補助を行うことで、当委員会が以下の成果をあげることができる。
1. 異文化を理解し、広い視野をもった市民を増やす 2. 市民ボランティアとして活躍出来る人を増やす
3. 姉妹・友好都市との交流を通じて自分のまちの歴史や状況を客観的に理解し、郷土を愛する心を育むとともに、国際感覚を身につけ国際社会やまちづくりに貢献する

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	姉妹都市・友好都市派遣人数	人	0	0	0	3
成果指標 2	姉妹都市・友好都市受入人数	人	0	0	0	3

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費 (A)		千円	100	100	100	1,030
正職員人件費 (B)		千円	381	380	380	384
総事業費 (A+B)		千円	481	480	480	1,414

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
4年度	以下の事業を実施する江別市都市提携委員会に対し補助金を支出する。 ・姉妹都市グresham市との高校生相互オンライン交流事業 ・姉妹都市、友好都市に関する市民PR ・国際交流イベントへの参加及び展示物等出展協力	江別市都市提携委員会の事業実施に対する補助金 100千円

事業開始背景

江別市都市提携委員会は、江別市と米国オレゴン州グレシャム市との姉妹都市、江別市と高知県土佐市との友好都市の提携に伴い、教育、文化、産業、経済等の交流を図るための諸事業を積極的に推進し、相互の友好親善の中心的役割を担うことを目的に昭和53年に設立された。

事業を取り巻く環境変化

姉妹都市や友好都市との交流の懸け橋として、市内各種団体で構成する都市提携委員会に求められる役割は重要となっている。また、姉妹都市高校生相互派遣事業について、グレシャム市への派遣を希望する生徒が年々増加傾向にあったことから、国際交流及び国際理解への関心の高さが伺えたが、新型コロナウイルスの影響により、令和2年度以降中止が続いている。令和4年度においては、事業の中止に伴う姉妹都市交流の停滞や市民の国際交流及び国際理解への関心の低下を避けるため、代替事業として、オンラインによる交流を実施した。

令和 4年度の実績による担当課の評価（令和 5年度7月時点）

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	上がっている	理由根拠
	どちらかといえば上がっている	
	上がっていない	
<p>令和2年度以降、新型コロナウイルスの影響により、姉妹都市グレシャム市との高校生相互派遣事業の中止が続いていることから、成果の向上には至らなかった。 一方で、代替事業として、オンラインによる交流を実施し、生徒が異文化に触れる貴重な機会となり、姉妹都市との友好の絆を再確認できたことから、コロナ収束後の事業再開に向け、良い契機となった。</p>		
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	成果向上余地 大	理由根拠
	成果向上余地 中	
	成果向上余地 小	
<p>新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが変更となり、水際対策等が緩和されたことにより、今後、姉妹都市グレシャム市との高校生相互派遣事業の再開が見込まれる。 この事業は、その後の学校生活や将来の職業、生活にとって大きな経験となるもので、その経験を様々なイベントやツールを通して広く市民に発信することにより、より一層の成果の向上に繋げていく。</p>		
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？		
コスト	ある	理由根拠
	なし	
<p>原油価格の高騰等による航空運賃の値上げが続く中、今後再開が見込まれる高校生相互派遣事業をはじめ、姉妹都市及び友好都市の架け橋としての事業に必要最小限のコストで取り組んでいるため、これ以上の削減は事業の縮小に繋がり、当委員会の成果の低下へと繋がる。</p>		

政策	08 協働			戦略					
取組の基本方針	02 国際交流の推進			具体的施策					
開始年度	令和元年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	団体運営補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

江別市国際交流推進協議会

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	江別市国際交流推進協議会の構成団体数	団体	25	24	24	25
対象指標 2						

手段(事務事業の内容、手法)

江別市内の国際交流団体等で構成された組織である「江別市国際交流推進協議会」に対し、同協議会が運営している「江別国際センター」の維持管理にかかる経費の一部を補助する。
 補助金内訳：施設管理費、人件費等の一部
 (江別国際センター補助金交付要綱)

※令和元年12月「市民交流施設ぷらっと」へ移転以降の実績(前事業名：江別国際センター施設管理費等補助金)

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	補助金額	千円	2,163	2,222	2,322	2,523
活動指標 2						

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

国際交流施設の運営が安定することにより、国際交流事業が積極的に推進される。

※令和元年12月「市民交流施設ぷらっと」へ移転以降の実績(前事業名：江別国際センター施設管理費等補助金)

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	利用者数	人	6,188	4,941	7,393	6,831
成果指標 2						

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費(A)		千円	2,163	2,222	2,322	2,523
正職員人件費(B)		千円	1,144	1,141	1,141	1,152
総事業費(A+B)		千円	3,307	3,363	3,463	3,675

事業内容(主なもの)		費用内訳(主なもの)	
4年度	以下の事業を実施する江別国際交流推進協議会に対し、活動拠点となる江別国際センターの施設維持管理のための補助金を支出する。 <ul style="list-style-type: none"> 外国人と市民の交流イベントの実施 会報、ホームページ等での広報、情報提供 外国人に対するホームステイや通訳等のサポート支援 主に外国人技能実習生を対象とした日本語教室の開講 	江別国際センター施設管理等に対する補助金 2,322千円	

事業開始背景

江別国際センターは、市民や各国際交流団体が事業や交流活動を行うための活動拠点として平成8年に開設され、地域の国際理解・国際交流の推進に大きな役割を担う団体として市内の大学や各国際交流団体等で構成された「江別市国際交流推進協議会」が管理・運営を行うこととなった。

事業を取り巻く環境変化

当初の開設場所から平成24年7月の商業施設内への仮移転後は、より一層、語学教室やイベント等が積極的に開催され、利用者が増加した。令和元年12月には、野幌駅南口の「市民交流施設ぶらっと」に移転し、さらなる利便性の向上が図られた。令和2年度以降は、新型コロナウイルスの影響により、施設利用者の一時的な減少は見られたものの、従来からの事業継続に加え、施設内の「市民活動センター・あい」との連携による事業を模索するなど、新規利用者の増加に向けて取り組んでいる。

令和 4年度の実績による担当課の評価（令和 5年度7月時点）

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	上がっている	理由 根拠 ➡
	どちらかといえば上がっている	
	上がっていない	
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	成果向上余地 大	理由 根拠 ➡
	成果向上余地 中	
	成果向上余地 小	
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？		
コスト	ある	理由 根拠 ➡
	なし	

江別国際センターは、多様な活動を通じて地域の国際理解・国際交流の推進に大きな役割を果たしているとともに、市内在住外国人が安心して快適に暮らすためのサポート機能も担っている。
新型コロナウイルスの影響により、特に令和2年度から3年度にかけて、語学教室の休講や各種イベントの縮小開催または中止を余儀なくされたことで、利用者数が一時的に減少したが、その中でも当該センターの役割やサポート機能を低下させることのないよう、工夫を凝らしながら可能な範囲で運営を続けた。その結果、令和4年度は、行動制限の緩和等もあり、施設利用者数が増加し、成果の向上に繋がった。

市内の大学や各国際交流団体等で構成された組織である江別市国際交流推進協議会に対し、同協議会が管理・運営する江別国際センターの維持管理経費の一部を補助することにより、市内の国際理解・国際交流に係る安定的な活動拠点が確保できている。
さらに、市内の在住外国人が年々増加傾向にあり、江別国際センターに対するニーズが高まっていることから、新型コロナウイルスの収束とともに利用者数が増加し、成果向上に繋がる可能性は高い。

光熱水費等については、固定的な費用であり、高騰が続く中、これ以上のコスト削減は、江別国際センターの安定的な運営に支障をきたす可能性があるため、難しい。今後は、既存事業の拡大や施設の利便性を活かした新たな事業の実施などを検討し、安定的な自主財源の確保に努める。

政策	99 政策の総合推進			戦略					
取組の基本方針	01 政策の総合推進			具体的施策					
開始年度	令和 4年度	終了年度	—	区分1	新規	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別市民及びグresham市民

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	江別市民、グresham市民	人	0	0	230,954	230,954
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

姉妹都市提携45周年を記念した交流事業の実施

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	事業費	千円	0	0	250	0
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

市民の姉妹都市に対する理解を深め、今後の都市間交流の充実と円滑化を図る

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	交流事業の両市参加者数	人	0	0	0	0
成果指標 2						

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費 (A)		千円	0	0	250	0
正職員人件費 (B)		千円	0	0	1,141	0
総事業費 (A+B)		千円	0	0	1,391	0

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・オンラインを活用した交流 ・記念品の交換 	<ul style="list-style-type: none"> ・記念交流実施経費（江別PR用動画・記念品製作） 250千円	

事業開始背景

米国オレゴン州グresham市との姉妹都市提携が令和4年度に45周年を迎えることから、この節目を祝うとともに両市の友好の絆を一層深めるため、記念事業を実施する。

事業を取り巻く環境変化

原則、5年毎の周年事業（相互訪問等）の実施は、両市の市民が異文化に触れる貴重な機会となっており、国際交流及び国際理解の推進に寄与していることから、継続実施が重要である。
45周年となる令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により相互訪問が困難な状況であるため、両市長をはじめとする関係者でのオンライン会談を実施を計画した。

令和 4年度の実績による担当課の評価（令和 5年度7月時点）

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	上がっている	理由根拠
	どちらかといえば上がっている	
	上がっていない	
<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、相互訪問は困難となったが、姉妹都市との記念すべき節目に、これまでの交流を振り返りながら、今後の交流の充実と円滑化を図り、両市の友好親善を深めるため、両市長をはじめとする関係者によるオンライン会談での記念交流を計画した。江別PR用動画を製作するなど準備を進めていたが、諸事情により直前に中止となり、成果の向上には至らなかった。 なお、郵送にて記念品の贈呈を行うなど、両市の友好の絆を再確認する機会となった。</p>		
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	成果向上余地 大	理由根拠
	成果向上余地 中	
	成果向上余地 小	
<p>周年事業のため、事業は完了となる。 ※5年毎の事業をきっかけに、姉妹都市との友好親善が深まり、市民の国際理解の高まりや国際交流の推進に繋がることは期待できる。</p>		
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？		
コスト	ある	理由根拠
	なし	
<p>周年事業のため、事業は完了となる。</p>		